

令和4年度

群馬高専レビュー

第 41 号

2022

THE GUNMA-KOSEN REVIEW

No. 41

目 次

National Geographic の Our World リーダーズ案内——世界市民のためのグレイデッド・リーダー ——	横山 孝一.. 1
小説家、若桜木虔——昭和のヒット・ノベルズ——	横山 孝一..13
若桜木虔のノベライゼーション——昭和の人気アニメ・漫画・ドラマの小説化——	横山 孝一..25
戦後復興期の群馬県の蚕糸業—稚蚕共同飼育を中心として—	石関 正典..37
Hidden symmetries of hyperbolic reflection groups	吉田 はん..47
野外採取ホンモンジゴケからの初代培養確立方法の検討	大岡 久子・渡邊 一冴・高原 美規..51
徳富蘆花記念文学館蔵『伊香保縁起』解題・翻刻	大島 由紀夫..57
『讃岐典侍日記』—「タブー」の境界線—	太田 たまき..69

CONTENTS

A Guide to National Geographic's <i>Our World</i> , the Graded Reader Series for World Citizens	Koichi YOKOYAMA . . 1
Ken WAKASAKI's Hit Novels in the Showa Era	Koichi YOKOYAMA . . 13
Ken WAKASAKI's Novelization: Japan's Best Anime and Manga Stories around the Early 1980s	Koichi YOKOYAMA . . 25
The Silk Industry in Gunma Prefecture in the Post-War Reconstruction Period — Focusing on joint rearing of juvenile silkworms —	Masanori ISHIZEKI . . 37
Hidden symmetries of hyperbolic reflection groups	Han Yoshida . . 47
Investigation of methods to establish aseptic primary culture from field-collected copper moss, <i>Scopelophila cataractae</i>	Hisako OOKA, Issa WATANABE, Yoshinori TAKAHARA . . 51
An Introduction and a Reprint of <i>Ikaho-Engi</i>	Yukio OSHIMA . . 57
<i>The Dairy of Sanuki-no-Suke</i> —The criteria for judging what is taboo—	Tamaki OTA . . 69

National Geographicの Our Worldリーダーズ案内 ——世界市民のためのグレイディッド・リーダー——

横山 孝一*

(2022年11月30日受理)

はじめに

センテージ・ラーニング社の一部門ナショナル・ジオグラフィック・ラーニングの〈Our World〉シリーズは、Level 1 から Level 6 まで各 9 冊ずつ、合計 54 冊からなるグレイディッド・リーダーである。英語のレベルを見てみると、Level 1 の最初の話は小学校 1 年生の教室らしく、

Hi. This is my classroom.

Let's play a game.

It's on the wall.

It's a circle.

What is it?

It's a clock.

(Kim Young, *What's in My Classroom?* 2-4)

と、1 文ずつ改行されて内容も分量も少ないが、Level 2 になると、イソップ物語も登場して読み物として満足できる。以下は、有名な『北風と太陽』の一節だ。

One day the Sun and the North Wind see a man. It is a cold day.

The man is wearing boots, jeans, a sweater, and a coat.

Wind says, "I am strong! I can blow the man's coat off."

Sun says, "Really? Show me."

(Jill Korey O'Sullivan, *The North Wind and the Sun*, 2-3)

最後の Level 6 になると、仮定法もふんだんに使われて、内容も現代の生体工学とあって読み応えがある。

Imagine if you lost a hand. Wouldn't you wish for an artificial hand that could hold, touch,

and feel just like the hand you lost? If you became blind or deaf, you would probably wish you had an implant that could help you see or hear again. And what if you were paralyzed? You might wish you could control objects with your mind. These ideas may sound like science fiction, but some of them are becoming possible through the science of bionics.

(Lee Wagner, *Better Lives with Bionics*, 2)

とはいえ、Level 6 でも英文の量は少なめの小冊子なので、学習者は毎日無理なく読み進めることができる。

〈Our World〉の特色は題名が示すとおり「私たちの世界」を扱っていることだ。従来の白人中心の英語教本ではなく、掲載写真や挿絵もアジア（もちろん日本人や日本文化も載る）・アフリカ・アラブなど様々な人種と文化が取り上げられ、一見、どこの国で出版されているのかわからないほどだ。英語は多様な国際社会の共通語として位置づけられており、この国際語を学ぶ最適の本と感じられる。

具体的には、世界各国の民話がシリーズを構成する本として採用され、巻末にはそれを補う形で世界の珍しい風習や景色などを興味深く紹介している。昔の物語だけがつづく単調なので、現代社会の実話も織り交ぜる。読者は、自国が絶対ではなく他国にも魅力があることを自然と学ぶことになる。要するに、全世界へ関心が向くように編集されているのだ。もちろん、現代の環境問題にも注目するよう工夫されており、21世紀の現代世界を発展させてゆく若い世代向けの教材である。

以下、54冊のあらすじを英語も交えて紹介しよう。

Level 1

1) *What's in My Classroom?* (Kim Young)

教室にあるものを当てるゲーム。壁にある丸いものは、

壁時計(a clock)。ちなみに、鳩時計はcuckoo clock、目覚まし時計は alarm clock、腕時計は wrist watch。壁を占める大きな長方形(rectangle)は？ 黒板(the board)。小さい緑色の生き物は？ 答えは「シェリー！ 私たちが飼っている雌のカメです」(It's Shelly! She's our turtle.)

2) Where Are the Animals? (Frankie Ramirez)

鳥は木に、蛙は花に、蝶は葉にとまっている。動物は山にいる(The animals are on the mountain.)。すべての鳥は、卵から生れる (All birds come from eggs.)。ハチドリ(hummingbird)は小さな卵から、ダチョウ(ostrich)は大きな卵から生れる。

3) We All Pull (John Porell)

うちの畑の大きなカブをおじいちゃん、おばあちゃん、父、母、姉、そしてぼくも加わって引っ張り、地面から引き抜く。

家族でするのは何？ 本を読む(read)、遊ぶ(play)、食べる(eat)、ハグする(hug)。巻末の pullの解説写真では、紅白帽を被る日本の児童が綱引きをしている。

4) The Three Bears (Tom Davison)

金髪の女の子ゴルディロックスはクマー家の留守宅に入り、クマの子の食事を平らげ、椅子を壊し、ベッドで眠る。帰宅した子グマに見つかり、あわてて逃げだす。

巻末では、「クマは自分の巣穴で何か月もえさを食べずに眠る！」(Bears sleep in their dens for months without eating!)と、クマの冬眠を紹介する。シロクマは雪の中に巣穴を掘ってそこで出産するという。

5) The King's New Clothes (Anna Olivia)

「頭のいい人にしか見えない」魔法の上着・帽子・靴を王様自身見えないくせに、国民の前で見せびらかす。大人たちはほめそやすが、「Tシャツと靴下しか身につけていないじゃないの！」と少女が指摘する。王様は、みんなに笑われてお城へ逃げていく。

表紙には「デンマークの民話」とあるが、もちろんアンデルセンの「裸の王様」が原作だ。吹き出しの漫画形式。裸では差しさわりのある国もあるのだろう。下着のシャツを着せる上品な変更を行なっている。巻末では、メキシコ(Mexico)、東ティモール(East Timor)、ケニア(Kenya)、オマーン(Oman)、インド(India)、カナダ(Canada)の民族衣装の写真を掲載し、「服は世界中どこでも同じというわけではありません」(Clothes are not the same everywhere in the world.)と若い読者に注意を促している。

6) The Toys (Jill Korey O'Sullivan)

窓から外を見た人形の女の子が、部屋で遊ぶおもちゃたちに注意する。「見て！ 彼女が帰ってきたわよ！」(Look! She's home!)と。あわててあるべき場所に移動させる。「ボールは、このおもちゃ箱に飛び込んで！」(Ball, bounce into this toy chest!)

「操り人形は、棚の上にあがってちょうだい！」(Puppet! Get up on the shelf!) 何とか間に合った。帰宅した少女は、床に転がっているお気に入りの人形を見て喜び、「遊ぼう」と呼びかける。

巻末では、世界の風変わりな人形を紹介。わが国のこけし(kokeshi dolls from Japan)や、ロシアのマトリョーシカ(matryoshka)、トウモロコシの皮(corn husk)で作ったネイティブ・アメリカンの人形の写真を掲載。

7) My Body, Your Body (Cynthia Makishi)

人間(黒人・白人・黄色人の子供)と動物の体を比較。目の色・口の大きさ・髪の長さに違いがあるが、ともに自分の体が気に入っている。

ちなみに、クマの柔毛はfur、鼻は snoutと呼ぶ。

8) Little Red Hen is Cooking (Rob Arego)

メンドリがスープを作っているときもクッキーを作っているときも手伝いを断ったネコが、おいしそうに食事するメンドリを見て「わたしもスープとクッキーをいただいてもよろしいでしょうか？」(May I have soup and cookies, please?)と丁寧に頼む。虫が良すぎる態度を戒めるためだろうか、「食べるのを手伝ってくれなくて結構よ！」(You can't help me eat!)とメンドリに叱られる。

9) Too Many Animals (Sofia Feldman)

雨が降ってきて、小屋に蝶が避難し、その後、蛙・小鳥2羽・アヒル2羽・ヤギ2匹・馬が加わる。全部で9。そこへ牛が加わると、動物の数は？ 小屋は満員で壊れ、「多すぎた！」(There are too many animals!)

アヒル(duck)の赤ちゃんはduckling、牛の赤ちゃんはcalf、馬の赤ちゃんはfoal、ヤギ(goat)の赤ちゃんは？ kid!

Level 2

10) Art Class (Yuko Okamura)

5人の子供たちがテーブルでポスターを作っている。クレヨン(crayons)、ハサミ(scissors)、のり(glue)、マーカーペン(markers)を女性の先生に頼む。何ができ

るのか楽しみに待っていると、子供たちは「We love art」と書かれたポスターを掲げる。美術を教えている女先生は「すばらしいポスターね！」(What a wonderful poster!)と大喜びする。この本の著者は日本人女性だ。

赤・黄・青を「原色」(primary colors)と呼ぶ。巻末で、赤+黄=オレンジ、青+黄=緑、青+赤=紫になることを教えている。応用で、red+green=brownも。

11) The North Wind and the Sun

(Jill Korey O'Sullivan)

寒い日に、北風は「おれは強い！あの男のコートを吹き飛ばしてみせる」と太陽に豪語するが、男がコートを押さえたため失敗に終わる。太陽は「見ていなさい」と、ひたすら日を照らす。男は暑くなり自分からコートを脱ぐ。風は負けを認め、「お日さま、あなたはとても頭がいい」("You are very smart, Sun.")と称賛する。

おなじみの「イソップ物語」(Aesop's Fable)だが、描かれる男性はジーンズをはく現代の若者である。巻末では温度計を特集。「温度計は温度を測る。温度はものがどれだけ熱いか冷たいかを表わす」(A thermometer measures temperature. Temperature is how hot or cold something is.)冷たいものとして「雪ダルマ」(snowman)を一例にあげる。写真で氷が温度計の0℃、太陽がもたらす暑さが100°Fであることを示している。

12) The Ant and the Grasshopper (John Porell)

"I'm getting ready for winter."と言って、春から冬に備えて忙しく働いているアリに対して、仕事嫌いで遊んでばかりいるキリギリス。春はバスケットボール、夏は野球、秋はサッカーをしようと声をかけるが、アリはひたすら冬の準備をする。そして冬になると、食料が揃った暖かなアリの家を、凍えたキリギリスが訪れて、働くことの大切さをやっと認めるのだった。

これもイソップ物語だが、「Come in」とアリが招き入れる穏やかな結末に変更されている。巻末の特集は球技なので、これでは1年中ボール遊びに興じるキリギリスに人気が集まりそうだ。ちなみにバスケットボールは「ボールを弾ませ、リングに投げ入れる」(You bounce a basketball and throw it through a hoop.)とルールを説明している。

13) The Three Pigs (Lee Petrokis)

3匹のブタの兄弟の家が3軒並んでいるが、それぞれ材質が違う。ペドロのわらの家とパコの木の家は、やって来たオオカミに吹き飛ばされてしまう。2匹は、パブロの頑丈なレンガの家に避難。昼食に3兄弟を食うつもりのおオオカミは煙突から侵入し、暖炉の火でやけど

して大慌てで逃げていく。

巻末「世界中で人びとは様々な種類の家で暮らしている」(People live in different kinds of houses all around the world.)と世界の家を紹介。モンゴルの移動式住居ゲルと日本の城に似た和風住宅の写真が異彩を放っている。

14) My Day (Emiliano Bermejo)

朝から夜まで人間と動物の行動の違いと共通点を写真で描く。朝にシャワーを浴びるのは、人間もゾウも同じ。シリアル好きの子供に対して、カメレオンは朝食に昆虫を食べるのが好きだ。午後、子供たちが放課後に友達と遊ぶのと同じように、馬も仲間と遊ぶ。夕食後に家族とくつろぐのは、サル的一家も同じ。雪の中、温泉でくつろいでいる。宿題を終えて夜寝る女の子に対して、コウモリは夜はずっと起きていて、昼間に眠る。

動物には「夜行動物」(nocturnal animals)と「昼行動物」(diurnal animals)がいる。巻末の写真によると、タランチュラ(tarantula)やジャガー(jaguar)は前者で、オランウータン(orangutan)は後者である。

15) Hare Is Scared (Elizabeth Emende)

アフリカの民話。ウサギが家に帰ると、暗がりから目がにらみ、「入ったら、食ってやるぞ！」と脅してきた。怪物かとおびえるウサギは、サルに助けを求めるが、「おまえも食ってやる！」と言われ、サルも震え上がる。結局、ゾウを呼んでくる。「大きなおれは食えまい！」とすごむと、出てきたのは一匹の小さなネズミ。ところがゾウはネズミが大の苦手な「キヤー」(Eeek!)と悲鳴を上げて逃げ去り、笑い話となる。

「ペットは自分の感情を表わす特別な方法を持っている」(Pets have special ways to show their feelings.)と、巻末では、おびえるネコと満足しているネコの動作の違いを写真で解説している。

16) A Big Lesson for Little Frog

(Jill Korey O'Sullivan)

サルは木にぶら下がりながら進むことができ、オウムは空を飛ぶことができ、キリンは高いところにある木の葉を食べることができる。「どれもできない」と悲しがるカエルに、キリンは「僕たちにできないことができるじゃないか」と教える。カエルはびよんと跳んだり、泳いだり、舌を伸ばして虫を捕ることができる。ようやく自信を持ち、小さな蛙は満足する。

巻末では、カエルの擬態に注目して、木や葉に同化した写真を載せている。すばらしい写真でカエルの特性がよくわかる。

17) **What Jobs Do They Do?** (Jimena Reyes)

毎日あなたは学校へ行くが、大人は働きに出る。どんな職業があるのだろうか？ クイズ形式でヒントを与え、答えを次頁に見開き写真で示す。獣医(vet)、料理人(chef)、消防士(firefighter)、医師(doctor)、その他として歯科医(dentist)、サッカー選手(soccer player)、バスの運転手(bus driver)、パイロット(pilot)をあげて「将来、大人になったら、あなたは何になりたい？」(Someday when you grow up, what do you want to do?)と問いかけている。

写真に写る獣医・医師・歯科医はみな女性である。医者とは男性という性差別的な固定観念を破りたいのだろう。巻末では、働く犬を紹介。そりを引く(pull a sled)写真がメインだが、救助犬・牧羊犬・盲導犬以外に、カメラのフラッシュライトを浴びながらレッドカーペットを歩く映画スター(movie star)犬もいる！

18) **Stone Soup** (Mary Quinn)

フランスの民話。腹をすかせた無一文の兵士が街中で「石のスープを作っている」と言って注意を引き、味を良くするためニンジン、豆、トウモロコシ、トマトを人々からもらい、出来上がったスープをみんなに振舞う。

巻末では「ニンジンとジャガイモは地面の下で育つ」(Carrots and potatoes grow under the ground.)、「トマトとブドウは地面の上で育つ」(Tomatoes and Grapes grow above the ground.)と教えている。写真で単語の意味を教える用語解説(Glossary)では、「兵士」(soldier)に迷彩服を着て敬礼する女性の写真を掲げる。女性の雇用を軍隊でも促進したいようだ。

Level 3

19) **Caring for Elephant Orphans**

(Jill Korey O'Sullivan)

1979年に百万頭いたゾウが半減している。ケニアでは、親を殺された子ゾウを5〜7歳になるまで育てている。飼育員がやさしく抱き、サッカーボールと一緒に遊び、ミルクを飲ませ、一緒に寝る。ゾウは生息地に戻ったあとも、この母親代わりの男性飼育員に、怪我して助けを求めたり、生まれたゾウの赤ちゃんを見せに來たりすることもある。

親切そうなケニア人男性飼育員になついているゾウの子供の交流写真が感動的だ。「アフリカのゾウの中には絶滅の危機に瀕しているものもある」(Some African elephants are endangered.) 下線部の英語の意味を「地球から消え去る危険があるほど個体数が減ること」

と説明している。

20) **Country Mouse Visits City Mouse**

(Jill Korey O'Sullivan)

家でくつろぐ田舎のネズミがいとこから電話をもらい、電車でパリを訪れる。美術館と図書館を見せられて感心し、パン屋でおいしいパンを買い、エッフェル塔の下で食べて別れる。都会は気に入ったが、いまでも田舎の家に満足している。

巻末では、美術館と博物館(ミイラと恐竜の写真付)を紹介。「世界で最も有名な絵の一つ」の写真解説には、「『モナ・リザ』は毎年600万人以上の人が見に訪れる」(Over six million people see the *Mona Lisa* each year.)と書かれている。

21) **Getting to School Around the World** (Dan Adams)

場所が違えば、通学方法も異なる。メキシコは家族の車で、アメリカはスクールバス、マレーシアやボツワナは舟で(by boat)、インドやケニアは徒歩で(on foot)、日本の首都東京は道路がとても渋滞するので地下鉄で(by subway)、ベトナムは自転車やスクーターで(by scooter)、カナダのイヌイットの子はスノーモービルで、モンゴル(Mongolia)の子供はラクダで学校へ通っている。

世界の多様性を通学手段で示すユニークな本。掲載された写真が楽しい。巻末では、1903年のライト兄弟(The Wright Brothers)の飛行機から1961年の有人ロケットまで、乗り物の変遷を珍しい写真で示している。

22) **The Four Blind Men** (Vikram Gulaty)

インドの民話。ジャングルで4人の盲人が遭遇したのは何？ それぞれ触感から、へび、ロープ、木、家の壁だと主張するが、同じ動物の異なる部分を触っていたのだ。正体はゾウ。大きな鳴き声を聞いて一同は納得する。

巻末では、チョウ、サメ、コウモリ、カメレオン、ホシバナモグラの驚異的感覚を紹介。「サメは1マイル(約1.6キロ)以上離れたところから、1滴のごくわずかな血のにおいを嗅ぐことができる」(It can smell the tiniest drop of blood from more than a mile away.)

23) **Mouse Deer in the Rain Forest** (Anna Olivia)

インドネシアの熱帯雨林で暮らすネズミジカは小さな体ながら頭がいいことを誇っている。腹をすかせたトラに二度食われそうになるが、「ぼくを食べるのをやめれば、王様のスープを飲ませてあげます」(If you don't eat me, you can have the king's soup.)と言って泥水を飲ませ、木の上のスズメバチの巣(a hornet's hive)

を王様の太鼓と言ってだまし痛い思いをさせる。トラは二度とネズミジカに手を出さなくなった。

巻末には、インドネシアの熱帯雨林に生息する珍しい動物を写真で紹介している。特にコモドオオトカゲ (Komodo Dragon) は「世界最大のトカゲ」 (The biggest lizard in the world) であり、恐竜を彷彿とさせる姿が注意を引く。

24) Anansi's Big Dinner (George Bennet)

クモのアナンシがごちそうを作っている。カメは食事をごちそうになる代わりに食材の買い物を任される。が、戻ってくるたびに追加の買い物を命じられる。アナンシは全部自分だけで食べるつもりなのだ。感づいたカメは、「アナンシ、ここは暗いね。明かりが必要だよ」 (It is dark in here, Anansi. You need some light) と言って、アナンシの6つの手にろうそくを持たせて火をつける。そして食卓につき、先に食べはじめるのだった。

巻末は、空き缶とペットボトルのリサイクル例をあげている。前者はアルミホイル (aluminum foil)、後者はバックパック (backpacks) などになる。

25) Tortoise and Hare's Race (Zoe McLoughlin)

ジャンクフードばかり食べているウサギが公園で熱心に運動するカメと出会い「ぼくは、きみとの競走にいつでも勝てる！」 (I can win a race against you any day!) と豪語。ふたりは次の週末に競走するが、ウサギはずっと先を行ったあと、缶ジュースを飲んでベンチで眠りこけてしまう。その間、カメは追い抜き、勝利する。運動嫌いだったウサギは反省し、「明日、きみと一緒に練習してもいいかな？」 (Can I exercise with you tomorrow?) と尋ね、カメは「もちろんさ！」 (Sure!) と快諾する。「だけど、ジャンクフードはもう食べちゃいけないよ！」 (But no more junk food!) と条件をつけるのを忘れなかった。

巻末は「睡眠」を特集。人間は年齢によって、必要とする睡眠時間が異なる。新生児は18時間、子供は9～11時間、ティーンは9時間必要。また、動物によっても、睡眠時間は異なる。キリン (giraffes) は1日2時間しか眠らない。コウモリのBrown Batは、20時間も眠る。

26) Holiday Colors and Lights (Stacy McPherson)

赤が基調の中国の春節祭、カラフルな色粉を掛け合うインドのホーリー祭、「世界で最もにぎやかでカラフルなパーティー」 (the loudest, most colorful party in the world) かもしれないブラジルのカーニバル、合衆国の誕生日7月4日を祝う独立記念日 (Independence Day)、灯籠を川に流したり夜空に飛ばしたりするタイの

ローイクラトン祭りを色鮮やかな写真とともに紹介する。

巻末は、世界のダンス特集。盆踊りで手拍子を打つ日本の少女を中央に配置し、マサイ族、アイルランドの少女、ネイティブアメリカン、ニュージーランドの伝統的なマオリ族がそれぞれ踊る写真を載せている。世界の多様性がよくわかる。

27) Coyote's Weekend (Ruben Garcia)

ハイキングに行ったコヨーテの弁当を見たウサギが、そばに突き出た大きな岩が崩れてくるとだまし、支えている間に食べてしまう。翌日の日曜日の夜、コヨーテが釣った魚を見たウサギは、池に映る月を巨大なチーズが沈んでいるとだまして池の水を飲み干させる。動けなくなったコヨーテを尻目に、ウサギは魚を奪っていく。

「週末は何をしてるの？」 (What do you do on the weekend?) と問いかける巻末では、ボランティア活動を提案。壁画制作・植樹・海水浴場の清掃・読み聞かせを写真で紹介し、「あなたは週末にどんなボランティアができるかな？」 (What ways can you volunteer on the weekend?) と考えさせる。

Level 4

28) The Mirror (Nick Harris)

朝鮮の民話。農民のTae Hyunが愛妻のために村にない初めて知った鏡を買い、家の壁にかけ、妻を呼びに出る。その間、鏡を見た妻は、夫が別の女性を妻にしたと思い、母と父はそれぞれ息子が別の親を持ったと勘違いし嘆き悲しむ。Tae Hyunの息子は自分の帽子をかぶった男の子を見て、「ぼくの帽子を返して！」 (Give me back my hat!) と憤る。そこへTae Hyunが帰ってきて、4人に鏡を掲げ、誤解を解く。

巻末では、イモムシ (caterpillar) からサナギ (chrysalis) を経て蝶 (butterfly) に、オタマジャクシ (tadpole) から蛙 (frog) になる「変態」 (metamorphosis) を写真で紹介している。

29) The Empty Pot (Andrea Seargent)

チェンは園芸の才能に優れ、皇帝がじきじきに企画したコンテストに参加する。ところが、他の参加者たちは見事な花を咲かせたというのに、チェンの種はさっぱり芽を出さなかった。正直にその鉢を持っていくと、皇帝はみんなに与えた種が枯れていたことを明かし、チェンを次の皇帝に選んだ。

巻末では、種と植物を図解して、萌芽 (embryo) や茎 (stem) の役割を解説している。また、種 (seed) ⇒ 苗

(seedling)⇒木⇒蕾(bud)⇒花⇒実(fruit)⇒種に戻る
リンゴのライフ・サイクル(Life Cycle)を写真を円状に
並べてわかりやすく紹介する。

30) Rhodopis (Jill Korey O'Sullivan)

エジプト版シンデレラ。昔、金持ちの家で働いていた
ロドピスは、他の召使たちに仕事(chores)を押しつけら
れ、ファラオのパーティーにも行けなかった。川で洗濯
中に、黄金のカバ(a golden hippopotamus)が現われて、
はねた水で靴が金色に輝く。その靴の片方を鳥がくわえ
て飛び去り、ファラオに届ける。ファラオは靴の持ち主
を捜させ、靴がぴったり合ったロドピスと結婚する。

巻末では、たらいで洗濯する日本女性の古い写真を
掲げて、「何千年もの間、衣類の洗濯には、多くの時間
と労力を要した」(For thousands of years, washing
clothes took a great deal of time and effort.)と昔
の人びとの苦勞に注目させて、1908年にアメリカで発明
された電気洗濯機のありがたさを実感させている。

31) Tender Flower and the Medicine (Adam Coleman)

ネイティブアメリカンの民話。村に隣接する大きな森
を熟知する少女 Tender Flowerが愛犬の Ticと共に大雪
の中、隣村に行き、伝染病にかかった村人たちを救う薬
をもらい、苦勞して戻ってくる。芸術性の高いRon
Mazellanの挿絵が、劇的な場面を大いに盛り上げている。

巻末では、植物が薬として役立つこと、熱帯雨林が
その宝庫であることを教える。伐採が続けば、治療薬に
なるかもしれない植物が永遠に失われてしまう。「これ
が地球上の熱帯雨林を守らなければならない一つの重要
な理由だ」(This is one important reason to protect
Earth's rain forests.)

32) The Green Rabbit (Cindy Pioli)

メキシコのおとぎ話。森の中でMarisolの美しい歌声
を聴いて家までついてきた緑色のウサギは、父王に魔法
をかけられたJavier王子だった。本当に愛してくれる人
が現われるまでその姿だという。Marisolは王様に会い、
本物の愛を証明するために試練を受ける。まず、涙で樽
を満たす。それに合格すると、次は6足のブーツを履き
つづす。これも実現させて、王は「本当に息子を愛して
くれている」(You truly do love my son)と納得し魔法
を解く(broke the spell)。二人は結婚して、「末永く
幸せな、すばらしい人生をともに生きた」(lived a
wonderful, long, and happy life together)。

巻末では「美」は何かと問い、美しく見えるための
条件「黄金比」(the golden ratio)を自然界の花やギリ
シャのパルテノン神殿(the Parthenon in Greece)や、

レオナルド・ダ・ヴィンチ(Leonardo da Vinci)の絵画
を例に説明している。

33) Stormalong and the Giant Octopus (Tom Davison)

巨大なカメに乗った、大の大人の3倍もでかい赤ん坊
が浜辺に打ち上げられた。Stormyと名づけられ、漁船の
船長になる。マグロを手で捕まえ、船の錨をつかむ巨大
なタコと海中で闘い、8本脚(eight arms)を結んで悪さ
ができないようにした。

「海は驚くべき生物でいっぱいだ——巨大なもの、
醜いもの、恐ろしいものなど」(The ocean is filled
with amazing creatures—some huge, some ugly, and
some scary.)と書いて、珍しい海洋生物を紹介している。
日本でリュウグウノツカイ(竜宮の使い)と呼ばれている
Oarfishは全長15メートル以上になるものもいる。当然、
「オールフィッシュは海でもっとも長い魚の一つだ」
(The oarfish is one of the longest fish in the
sea.)

34) Sweet Surprises: Accidental Food Inventions

(Jennifer Monaghan)

電球・自動車・テレビと違って、偶然発明された人気
のスナックやデザートを紹介。溶けるものと思って入れ
たチョコレートのかけらがそのまま残ったチョコレート
チップクッキー、文句をつける客を怒らせるために薄く
切って揚げたポテトチップ、フルーツソーダを棒でかき
混ぜて外に放置してできた棒つきアイスクャンディー
(Popsicles)、1904年のセントルイス万博(the St.
Louis World's Fair)で皿がなくなりワッフルをまいて
売って人気が出たアイスクリームコーン。

巻末では、レーダーの研究者Percy Spencerが1945年
に電子レンジ(the microwave oven)を発明したいきさつ
を語っている。「最初の電子レンジは高さ1.8メートル、
350 キログラムの重量があった！」(The first
microwave ovens weighed 350 kilograms and were 1.8
meters tall!)

35) Hurum's Hobby (Jill Korey O'Sullivan)

子供のときの趣味を仕事にしたヨルン・フルム
(Jorn Hurum)。母親に読んでもらった本で化石のことを
知り、化石探しを趣味とし、13歳のとき、博物館に化石
を研究している科学者がいることを知って文通を始める。
大学で古生物学(paleontology)を学び、14歳のとき訪れ
た博物館に古生物学者(paleontologist)として勤務する
ことになる。人類につながる霊長類(primate) “Ida”の
発見者として有名。

巻末では、1万年～30億年以上昔に遡る化石の種類を

説明。生痕化石(trace fossil)は足跡など動植物の痕跡を残したものをいう。

36) The Tug-of-War (Leo Fletcher)

ジャングルで誰がいちばん強いかわ動物たちの間で議論になる。ゾウかサイか。「どっちも大したことはない」と言ったのはカメだった。カメが自分の力について話せば話すほど、動物たちはさらに笑った(The more Turtle talked about his strength, the more the animals laughed.)。カメは「よし、それなら証明してやるよ」(Okay. I'll prove it.)と言って、茂みで相手が見えないゾウとサイにつるをもたせ、もう一方をカメが持っているように見せかけて、強い者同士で綱引きをさせる。力は互角でつるが切れ、二頭が倒れると、カメは笑う。翌朝、ゾウとサイと同じくらい力持ちと認められたカメは「でも、頭は、ぼくのほうがずっといい!」(But I'm a lot smarter!)と自慢する。

巻末では、「押す」例としてブランコ(a swing)、「引く」例はキャスター付スーツケース(a suitcase on wheels)をあげる。力は運動をもたらす(Force causes motion.)が、綱引きで力が釣り合うと、運動は起こらない(no motion happens)と物語の背景を説明している。

Level 5

37) The Tale of Thunder and Lightning

(Cindy Pioli)

ナイジェリアの民話。昔むかし、羊の母である雷鳴と息子の稲妻は地上で暮らしていた。稲妻は怒りっぽく、かっとなるとすぐ角から稲妻を放ち、雷鳴は怒鳴り声をあげて叱りつけた。村の住民たちは迷惑し、王が追放を命じたが、羊の母子はジャングルで火災を起こし、村に戻ってくる。そして、ついに大空へ追放されたのだが、激しい雷雨になると、もう王にも止めることができない。

巻末では、本物の稲妻と雷鳴の発生原理を解説する。稲妻は1秒に150キロの速度で進み周囲の気温を33,000℃にまで上昇させる。その時に雷が起こるが、音は光よりもずっと遅い。そのため常に、ピカッと稲妻が光るのを見たあとにゴロゴロと雷鳴を聞くことになるのだ! (This is why you'll always see a flash of lightning before a crash of thgunder!)

38) How Tiger Got His Stripes (Anna Olivia)

ベトナムの民話。何年も昔、トラには縞がなかった。オレンジ色の毛皮は目立ち、獲物はなかなか捕まらない。ある日、弱そうに見える人間におとなしく使われている

水牛を見て不思議に思い尋ねると、人間は知恵(wisdom)を持っているという。トラは農夫に知恵をくれと頼み、木に黒いロープで縛られる。それで黒い縞がついてしまった。しかし、おかげで獲物がとれるようになった。

巻末ではカムフラージュを特集。カムフラージュは、陸でも海でも、大きな動物が獲物を狩るのにも、小さな動物が捕食動物から身を守るのにも両方役立つ。(Camouflage helps animals, both big and small, on land and in the sea, to stay alive.) 具体例として、ヒョウ(leopard)、ナナフシ(walking stick insect)、ヒラメ(speckled sanddab)を写真で紹介している。

39) The Songbirds' Flute (Eileen Silvers)

グアテマラの民話。音楽が大好きで楽しそうに歌っていた王女がふさぎ込む。王は娘をほほ笑ませようと国中の音楽家を集め、部屋いっぱいの黄金(a room full of gold)を賞品としてコンサートを開く。王女に一目惚れした若者が愛を込めて歌い、彼女をほほ笑ませることに成功する。若者が黄金よりも王女との結婚を求めると、王女は「あなたが森の鳥と同じくらい美しく歌うことができるようになったら、結婚します」(If you can learn to sing as sweetly as the songbirds in the forest, I will marry you.)と条件をつける。若者は森で修業。あきらめかけたときにワシから鳥の笛を贈られ、王女の前で演奏して、彼女と結婚することができた。

巻末では、2008年にヨーロッパの洞窟で約4万年前のフルートが発見されたことをあげて、世界最古の楽器の一つであるフルートは世界中で様々な種類があるとし、わが国の尺八(the shakuhachi)も写真入りで紹介する。

40) How the Milky Way Began

(Jill Korey O'Sullivan)

アメリカ原住民チェロキー族の伝説。昔、夜空には月しかなかった。銀河はどのように誕生したのか? 老人と妻が倉庫に保管したトウモロコシが何者かによって盗まれた。同じ部族に泥棒などいないので、動物がやったのだらうと思い、二人で見張る。犬だった。しかし、唯の犬ではない。宇宙に住む霊的な犬。その犬はまた盗みに来て、今度はバスケットをくわえて夜空に飛び去った。そのときこぼれ落ちたトウモロコシがキラキラと輝いて星になり、その星々が銀河になったのだ。

昔の人たちが「不吉なことが起こる前兆」(signs of bad things to come)と見なした彗星は岩やガスを取り込んだ巨大な氷にすぎない。もっとも有名なハレー彗星はエドマンド・ハレー(Edmund Halley)の計算どおり、太陽に接近する76年ごとに(every 76 years)見ることができる。1986年に戻ってきたので「次に姿を現わすのは

2061年だ」(The next time it will show up is 2061.)

41) The Cave People of the Karawari:

A Disappearing Culture (Jennifer Carlson)

パプアニューギニアのジャングルでいくつもの洞穴を移動しながら生活している50人ほどの部族。男は裸足、腰蓑だけをつけた姿で、手製の弓矢や槍を使って狩りを行なう。粘土からつくる塗料で伝統的に壁に残す手形には、2万年前と推定されるものさえある！(Some may be up to 20,000 years old!) アメリカの人類学者や自国の研究者が政府に文化保存を働きかける一方、Tシャツなど現代の衣服も着るようになり、洞穴の移動も減って、学校や診療所のある村に定住する方向へと変化している。

巻末は、オーストラリアのアボリジニや、インドの地方や、ナイジェリアに見られる儀式用の珍しい「頭飾り」(headdress)を特集する。

42) Two Brothers, Two Rewards (Andrea Seargent)

日本の民話。「私は、他者を助けることが人生でもっとも大切なことだと信じております」(I believe that helping others is the most important thing in life)と言った弟は、傷ついたスズメ(sparrow)を助けて、黄金や宝石が詰まったカボチャがなる種を贈られ村一番の金持ちになる。それを知ったお金にしか興味がない兄はスズメを毆で傷つけ、世話をして褒美を要求。目当ての種を手に入れるが、臭い木が空に伸びるばかり。上に宝の実がなっていると思いつきまで登って行ったが、そこで木が枯れてしまい、月面に取り残される。満月には、いまでもこの欲張りな兄の顔を見ることができそう。

世界には40万種類の植物が存在し、なかには驚くべき植物もある。昆虫を食う袋葉植物(pitcher plant) ペリカンバナ(pelican flower)、花も咲く世界最小の植物のミジンコウキクサ(watermeal plant)を写真入りで紹介する。

43) Popocatepetl and Iztaccihuatl (Joey Acra)

メキシコの神話。アステカの王女イスタシワトルは、ポポカテペトルを愛していた。軍隊のリーダーである彼は、侵略してきた敵を撃退すれば結婚を許すと王に言われ、戦地に赴く。帰りを待つイスタシワトルは、勝利の報とともに恋人が戦死したと聞き、悲しみのあまり亡くなってしまう。しかし、それは誤報であった。帰還したポポカテペトルは嘆き悲しみ、イスタシワトルの遺体を谷間の聖地に運び、「なぜ私を残して逝ってしまったんだ？」(Why did you leave me?)と大声で天に叫んだ。二つ塚を築いて、一方にイスタシワトルを横たえ、もう一方に自分も横になって飲食を断ち自殺。アステカの

神々はこの恋人たちを記念して、二人を火山に変えた。イスタシワトル山は休止状態にある(dormant)が、ポポカテペトル山はときどき噴火する。現地の人びとの間では「いまだに天に向かって呼びかけているのだ」と思われている。

巻末は火山の解説。1,250℃にも達する溶岩が噴出し、流れ出る写真が掲げられている。今日、地球上には、約1,500もの活火山があり、毎年70回ほど噴火する。

44) The Tailor and His Coat

(Jill Korey O'Sullivan)

ロシアの民話。父の洋服店を手伝っていたJoseph少年は、蝶の羽のような生地で自分用のコートを作りたいと願っていたところ、客が持ってきた生地があまり、夢が叶う。そのコートがきっかけでAnnaと結婚し、コートを帽子、さらに蝶ネクタイに作り直し、娘や孫との貴重な思い出になる。蝶ネクタイは紛失してしまったが、蝶になって飛んで行ったのかもしれない。しかし、思い出はいつまでも心の中に残る。

巻末で、ごみを減らすためのリサイクルを紹介する。炭酸飲料のペットボトル5本でTシャツが1枚つくれる。(It takes five plastic soda bottles to make one T-shirt.) 古タイヤは長靴に変わり、古着は新しい衣料に生まれ変わる。矢印で、リサイクル後の魅力的な新製品の写真を示している。

45) Amazing Beaches (Maria Spalliero)

ギネスブック(The Guinness Book of World Records)によると、もっとも白い砂浜は、オーストラリアのハイアムズ・ビーチ(Hyams Beach)。プリンスエドワード島(Prince Edward Island)の砂浜は酸化鉄で赤く、白い砂と赤い貝殻が混じるバミューダ(Bermuda)はピンク色。ハワイのプナルウ(Panalu'u)は溶岩によって黒い砂浜である。イスラエルとヨルダンの国境にある死海(the Dead Sea)は塩分が大洋の10倍(It's ten times saltier than the ocean.)もあって魚は住めないが、私たち人間は水面に体が浮きやすいので水遊びに最適だ。大都会の砂浜なら、ブラジルのリオデジャネイロ(Rio de Janeiro)、サーフィンならタヒチ(Tahiti)、スキューバダイビングならボネール島(Bonaire)、珍しい野生生物を見たいなら、19の島からなるガラパゴス諸島(the Galapagos)がお勧めできる。

巻末では、サンゴ礁(coral reefs)を特集。何でできているのか、どうやって形成するのか、なぜ重要なのかを美しい1枚の写真を掲げて説明している。面積は海底の0.2%ながら、サンゴ礁には全海洋生物の少なくとも25%が集まっている。

Level 6

46) Young Cu Chulainn: Athlete and Future Warrior
(Micheal O Suileabhain)

アイルランドの英雄クー・フーリンは神と人間の女性の子で、幼い頃からハーリングの名選手だった。ある日、飛来した鳥から最高の戦士になる運命だと告げられて、指示された王立学校へ。身体の大きな年長の少年たちのハーリングの試合に許可なく飛び入りで参加し、ゴールを決める。怒った少年たちがレスリングでやっつけようとするが、全員投げ倒してしまう。それを見ていた軍の指揮官が、「ほんの子供なのですが、ライオンのように獰猛で、ひとりで大人の男20人と戦えるほど強いのです！」(He is just a little boy, but he is as fierce as a lion and as strong as twenty men!)と王に報告し、王様も自分の目で確かめる。晴れて入学した少年は学校一の戦士となり、要人に仕えて、予言どおり、アイルランド一の英雄になった。

巻末では、1976年のモントリオール・オリンピックの体操で初めて10点満点を出したルーマニアのコマネチ(Nadia Comaneci)、1984年から1996年のオリンピックで9個の金メダルを獲った陸上のカール・ルイス(Carl Lewis)、アテネと北京のウエイトリフティングで2大会連続の金メダリストになった中国人女性(138キロを上げた)陳上清(Chen Yanqing)を「驚くべき運動選手」(Incredible athletes)として紹介している。

47) King Midas and His Golden Touch (Anna Olivia)

昔、フリュギア(Phrygia)のミダス王は金貨を数えるのが大好きだった。ある日、道に迷った男を歓待して、その友人のディオニュソス神(Dionysus)から触れば何でも黄金に変わる力を授かる。ミダス王は、木や花が金になるのを喜んでいたが、食べ物ばかりか愛する娘までが金になってしまい困り果てる。結局、ディオニュソスに再び頼んで、川で魔力を洗い流し、娘を取り戻す。

金は加工がしやすく錆びず希少なため、世界中の国々がお金として使用した。「エジプト人は紀元前1,500年もの昔に金をお金として使った。」(Egyptians used gold as money as early as 1,500 B.C.)

48) How Quetzalcoatl Brought Chocolate to the People (Lynn Mesh)

アステカ族の伝説。昔むかし、チョコレートは神々の独占物だったが、人びとに農耕を教えた気前の良い神ケツァルコアトルは、人間が神殿をつくって彼を崇拝しはじめたことに気をよくして、カカオの木を与えチョコ

レートを作りを教えた。すぐに人びとのお気に入りの飲み物になったが、天上の神々はこれを怒り、最大の敵テスカトリポカ神が老婆に化けてケツァルコアトルに毒を飲ませ、地上にあるカカオの木をすべて焼き払った。ケツァルコアトルは海に消える前、釣り人にカカオの実を託したので、地上には再びカカオの木が増え、チョコレートの人気はさらに高まった。

巻末はチョコレートにまつわる事実を紹介。世界一の消費量を誇るスイスでは、毎年1人当たり10キロ以上チョコレートを食べる。(The Swiss eat more than 10 kilograms of chocolate per person each year.)

49) The River Dragons (Anna Olivia)

昔、中国には川も湖もなく、人びとは水不足に苦しんでいた。心やさしい4匹の竜が天帝に雨を降らせるよう頼んだが実行してくれないので、自分たちで海水を口で運び、雲でろ過して必要な水の人びとに与えた。しかし、勝手なまねをしたと天帝が怒り、竜をそれぞれ山の下敷きにした。人間思いの竜たちは、大きな川になって援助をつづけることにした。こうして黒竜江、黄河、長江、珠江が誕生したという。

巻末では、水の循環を図解。地上の水は限られており、同じ水が何度も「蒸発」(evaporation)⇒「凝縮」(condensation)⇒「降水」(precipitation)⇒集合(collection)を繰り返す。それは、恐竜が何百万年も前に飲んだ水と同じかもしれない。(It may be the same water a dinosaur drank millions of years ago.)

50) Odon and the Tiny Creatures

(Jill Korey O'Sullivan)

昔、人びとが協力して暮らすフィリピンの村にオドンという巨人が出現。毎日、家を蹴散らし、果樹や家畜をむさぼり食った。村人たちはオドンの洞穴を大岩でふさいだり、村の周りに木の塀を築いたりしたが無駄だった。そこでオウムが登場。小さい仲間たちとオドン宅に隠れ、蚊は耳の中へ飛びこみ、蟻は鼻にかみつ、ヤドカリは顎をはさみ、オウムは暖炉の灰を顔にかける。こうして見事、巨人を追い払ったのだった！(And that's how four tiny friends solved one giant problem!)

巻末では、世界に800万種以上いる生物の中から驚くほど小さな生き物を紹介。世界最小の猿で平均身長が12.7センチほどしかないピグミーマーモセット(pygmy marmoset)、ヨーロッパ最小のコウモリとして知られるピピストゥレルコウモリ(Pipistrelle bat)、そして、2012年マダガスカルで発見された世界最小のカメレオン、ミクロヒメカメレオン(Brookesia micra chameleon)。指先に乗る写真で、その小ささに驚嘆させられる。

51) Advertising Techniques: Do You Buy It?

(Jill Korey O'Sullivan)

私たちを取り巻く広告のテクニックを紹介。医師など専門家（金をもらっている）を使った薬のコマーシャル、有名な歌手を起用した炭酸飲料（実生活で飲んでいるか疑問）のCM、仲間に取り残されないように買えと勧めるジーンズ（それで仲間になれる？）の宣伝、履けば個人的になれるというジーンズ（宣伝文句に従うのが個人的？）、髪に輝きを与えるというシャンプー（統計の数字が出て曖昧）、商品と関係のない感情に訴えるクリームチーズの広告——結論は、「広告にだまされない、賢い消費者になりましょう」(Be an informed viewer and a smart consumer.)

巻末では、十代の女子があこがれるモデルでさえも、照明・メイク・コンピューターの画像処理がなければ、完璧ではないと力説している。

52) The Shark King's Cave (Eli Hill)

ハワイの民話。プニアの父は海の洞穴からロブスターを獲って生活していたが、そこにサメの王が棲みつき、殺された。成長したプニア少年は、サメの王が出かけたすきを狙って、留守番のサメたちを魚やアザラシを模した道具でおびき出し、洞穴からロブスターを獲る。怒った王は、役立たずの従者たちをみな追い出して、プニアを食おうとする。だが大きな口を開けたとき、プニアは両顎の間に木の板を入れて閉じられないようにし、腹の中に入って火を焚いて懲らしめる。二度と戻ってこない約束させて追放し、プニアは父がしていたように毎日、村にロブスターを持ち帰るようになる。

「地球の表面下にはおそらく何百万もの洞穴があり、謎にみちた闇の世界の多くは、いまでも探検されていないままになっている」(As there are probably millions of caves below the earth's surface, much of the dark and mysterious world of caves still remains unexplored.)と前置きし、巻末では、発見されている洞穴を3つ紹介する。メキシコの366メートル以上ある垂直洞窟、スワローズの洞窟(Cave of Swallows)、オーストリアにある氷穴、アイスリーゼンヴェルト(Eisriesenwelt Cave)、中国にある鍾乳洞の蘆笛岩(Reed Flute Cave)。どれも神秘的だ。

53) Better Lives with Bionics (Lee Wagner)

バイオニクスとは、バイオロジー（生物学）とエレクトロニクス（電子工学）を合わせた造語で、生物の機能に着目して手・足・耳・目の代わりとなる機械の開発をめざす学問である。片腕を自動車事故で失ったアマンダ

は、切断跡の筋肉に電極とワイヤをつないで人工の腕を取りつけた。脳の指令として出される衝撃電流を電極が拾い、腕と手が動く。慣れるにはたくさんの練習が必要だが、アマンダが笑顔でマスタードをかけている写真が掲載されている。

このほか、実用化が進んでいる埋め込み式の人工の耳、精度アップが期待できる人工の目、巻末では、電子メールを音声化するプログラムを紹介。世界でもっとも有名な科学者の一人、スティーブン・ホーキングが頰の筋肉を動かしてコンピューターを操り意思を伝えている写真を載せている。

54) The Flying Dutchman (John Porell)

1849年の月夜、大型の快速帆船(clipper ship)がサンフランシスコからニューヨークへ航行中、幽霊船に遭遇。ウインドキャッチャーの船長はフライングダッチマン号だとわかった。最年長の船員サムが語る。——17世紀、フライングダッチマンはヨーロッパへ貴重な積荷を運ぶ強力な船だったが、1641年、海賊ルクレールに襲撃され、船長と乗組員は救命ボートで追い出され、海賊船に変身した。大砲を使って宝を奪い、ルクレールは世界一金持ちの海賊になり、フライングダッチマン号は海上でもっとも恐れられる船となった。しかし、さらなる宝を求め、インド洋に向かう途中、大嵐に逢っても、ルクレールが引き返すのを拒んだため沈没してしまった。200年後のいま、幽霊船となったフライングダッチマンは警告するために現われるという。「この幽霊船を見て引き返さないと、恐ろしいことが起こる！」ウインドキャッチャーの船長は引き返すことに決め、フライングダッチマンは暗闇に姿を消した。

海賊は実在した。1600年代初頭から1700年代初頭までが「海賊行為の黄金時代」(The Golden Age of Piracy)と知られている。海賊たちはアフリカや南米から貴重な積荷を運ぶ船を襲い、金・銀・宝石・シルク・香辛料を手に入れた。船自体を盗むこともあり、船員たちは奴隷にされるか、自ら海賊になったという。

A Guide to National Geographic's *Our World*, the Graded Reader Series for World Citizens

Koichi YOKOYAMA

This is a guide to National Geographic's *Our World*, the graded reader series of 54 books from Level 1 to Level 6. It seems that the first level is for small children just starting elementary school, but as the level goes up, the series books become more and more appropriate for foreign learners of English, especially junior high school or even high school students. Actually, Lee Wagner's *Better Lives with Bionics* from Level 6 is worth reading due to both the subjunctive mood and the theme of modern technology, like "Imagine if you lost a hand. Wouldn't you wish for an artificial hand that could hold, touch, and feel just like the hand you lost?"

As the famous publisher's well-chosen title *Our World* shows, this series is made up from the ideal viewpoint of world citizens, regardless of race, religion, or sex. If you missed seeing the publisher's name, you would not know in what country these books were published. In fact, despite the fact that the books were printed in the United States, people could believe that they came out in Japan because one of the authors is a Japanese woman named Yuko OKAMURA, and in the series there are pictures of a Japanese-style house, a Japanese traditional musical instrument *shakuhachi*, and a Japanese girl dancing the Bon festival dance.

The fact is, *Our World* series can be read with familiarity by any people all over the world just because these books mention your country and unique culture somewhere. Unlike the outdated 20th century English textbooks by pure white, English-speaking writers, this series is a work of worldwide collaboration for world citizens, focusing on a diversity of races and their cultures including white people in the United States and the United Kingdom instead of these native speakers of English and their Western civilization only.

Our World books consist mainly of old folktales and legends from around the world such as *Hare Is Scared* from Africa, *Stone Soup* from France, *The Four Blind Men* from India, *Mouse Deer in the Rain Forest* from Indonesia, *The Mirror* from Korea, *The Empty Pot* from China, *Rhodopis* from Egypt, *The Green Rabbit* from Mexico, *How Tiger Got His Stripes* from Vietnam, *Two Brothers*, *Two Rewards* from Japan, *The Tailor and His Coat* from Russia, and so forth. Compared with other publishers' series, these stories are freshly unknown to the average reader, so even adults will find them fascinating, impressed with their unique but understandable ways of thinking.

As supplements to the above-mentioned folk stories, modern-day, curious related facts are described with wonderful photographs at the last pages of each book. Whether young or old, you will realize that our world is quite interesting, surely wanting to know more about it through the international language, English.

小説家、若桜木虔 ——昭和のヒット・ノベルズ——

横山 孝一*

(2022年11月30日受理)

はじめに

若桜木虔（1947－）とはどんな作家か。昭和の最後に書いた小説『「三日で修得できる速読法」殺人事件』で殺される橋本は著者自身をモデルにしているので、橋本を本人に置き換えて自己紹介を引用してみよう。「失礼ですが、若桜木氏というのは、そんなに有名な人物なんですか？　ここにいる我々の誰一人として、若桜木氏の名前を存じ上げなかったんですが——」（以下、60 頁）と問われた秘書は「それは、無理もないかもしれません。若桜木先生は、本来はジュニア作家でして、小中学生の読者を対象に、ジュヴナイル小説ばかりを書いていた方ですから」と答えながらも、若い世代には「著名人」と認め、「まず、ティーン・エイジャーでしたら、三人に二人は、若桜木先生の作品を知っているでしょう」と断言している。本書裏表紙【略歴】には「この4月から予備校の生物学の教壇に立つ」と記されているが、それまでの10年間、氏は筆一本で立つ人気作家だったのだ。

東大を大学院博士課程まで進んだ若桜木虔は遺伝学者のエリートコースを捨てて、実力がものをいう文芸の道に進んだ。『ストレスパワー』（光文社、1988）によると、ワープロのない時代に細字サインペンで1日90枚以上の「超速筆」（216）を誇ったそうだが、本稿で紹介するその黄金時代の出版数がそれを裏づけている。1977年から1988年までの間、若い読者は若桜木虔の推理サスペンスとSF青春ものに魅了されたのだ。ファンクラブの中高生が書いた秀作ショート・ショート集『タイムマシン金融KK』（秋元文庫、1982）には「若桜木作品のほか、アニメの本等、沢山買ってやっている行きつけの本屋」（62）が登場するが、当時の少年少女はお小遣いの一部を若桜木作品にあてていたのである。

黄色い背表紙の秋元文庫で〈少年検事白鳥暁〉〈SF学園〉〈超能力者〉〈サイボーグ〉シリーズを展開し、集英社では心臓疾患のある卓球少女を描く名作『白球を叩け！』で人気に火がつき、十代の少女を主人公にした小説（一人称もある！）を執筆、人気絶頂期に発刊され

た文化出版局のポケットメイツ（水色の背表紙が目印）は若桜木虔の独擅場だった。そして愛読者の成長に合わせるかのように、本格推理小説を引っさげて光文社文庫に進出、高名なミステリー文学評論家の中島河太郎から「有力な新鋭を迎えた」（「解説」『妖精の罟』272）と絶賛されている。

若桜木文学は昭和50年代を色濃く反映して、UF0・超能力・催眠術・宝探しがキリスト教の結婚観・黙示録（サタンが暗躍する終末）と絡み合う。東大周辺が舞台となり、東大出身の登場人物が目立つのもが特色だろう。読み継がれるべき、ベスト7として、最後は時代ものに落ち着いた作家の原点『小説 沖田総司』、卓球の知識と経験を活かし映画化もされた傑作『白球を叩け！』、両親を亡くした無名の少女の成長を圧倒的な筆力で描いた実話『青春に涙はいらない』、アニメのノベライズを数多く手掛けた成果『宇宙戦艦ムサシ』、好みのSFを理論面から煮詰めた大作『開戦前夜・パラレルワールド大戦』、推理小説からは、予想外の結末に驚く第1作目の『コバルトブルー誘拐事件』、奇抜な設定の『殺人狂株式会社』をお勧めしたい。以下、昭和の若桜木作品を発表順に紹介しよう。

1) 小説 沖田総司（秋元書房、1977）9月

15歳の総司は、天然理心流試衛館道場師範代。伊賀忍者の子孫で密偵をしている2歳年上の美しいお蓉を助け、一方的に好かれてしまう。子供と遊ぶのが大好きな彼は女性は苦手はどう扱っていいかわからぬまま年上の近藤勇・土方歳三と京に上り、新選組を結成。討幕派を震え上がらせる活躍を見せる一方、規律を守るため、女にうつつを抜かす神道無念流の達人で局長を務める芹沢鴨を斬り殺すことになる。その直後、切先を受けた胸は労咳に冒され、池田屋事変の切り込みでは咯血しながら長州のクーデターを阻止。やっと夫婦になったお蓉との生活は悲劇に終わる。（「悲運の天才剣士」の魅力を約200頁で伝える。新選組入門編として最適の小説。簡潔な文章で、総司の強さと純真さを描き出している。）

2) コバルトブルー誘拐事件 (秋元書房、1977) 10 月

天才少年・白鳥暁は 14 歳にして東京地検の検事補。ユタ州のブリガム・ヤング大学大学院で 10 歳のときに法学博士号を取り、11 歳で司法試験に合格した。宗教上お茶も飲まず、神に謙虚に祈る敬虔なモルモン教徒である。その彼の初事件は、コバルトブルーのワンピース姿でさらわれた、光菱商事社長の同じ歳の令嬢真由美の誘拐事件。要求された 3 億円は銀座で宝石に換えられ、伊豆でラジコン飛行機に乗せられ、海で待つイルカの口の中へ消えた。真由美は催眠術をかけられた状態で発見されたが、容疑者の大学生も同様に操られていた。

(〈少年検事 白鳥暁〉シリーズの記念すべき第 1 作である。警察に的確に指示を出して名推理で事件を追うが、犯人のほう一枚上手だった。著者がモリアティ教授をイメージしたという著者自身と同じ東京大学農学部出身の仁科晴美はイルカの研究者で、イルカを操って台湾で宝石を入手。換金して金庫に入れて輸入した。3 億円は競馬競輪で稼いだと言い張り、貸金庫に外れ馬券と車券 3 億円分を税金対策用に保管。暁は検挙を断念する。)

3) ダークブラウン強奪事件 (秋元書房、1977) 12 月

白鳥少年が真由美と出かけたモルモン教のクリスマスパーティー中に、ブラウン神父を名のる犯行グループが予告したとおり、事件を起こす。都内の大手デパートで一斉に発煙筒が焚かれ、二千ある銀行の非常ベルが鳴った。今回は真由美が活躍。犯人の目当ては日銀本店と見抜く。犯人グループはトンネルを掘って地下金庫の金塊とダイヤを強奪し、築地と神田市場の鼠十万匹を操って捜査陣を襲い脱出に成功。暁も負傷し入院。手がかりは、金庫の鍵の一本を持つ店長を足止めするため、孫をランボルギーニ・カウンタックで誘拐した犯人。ダークブラウンのカウンタックは外交特権を持つフランス大使の車だけだったが、真由美は、色を塗り替えやすいレッドを所有する化学会社社長の松岡に目をつけ、運転する大学生の息子・松岡慎平を追う。

(専門知識を持つ工学部の学生が揃った完全犯罪研究会の存在が明らかになる。盗まれた十トンの金塊は六艘のヨットの錨と金庫になっていた。スーパーカー・ブームの最中に書かれた作品だが、カウンタックが表紙にも本編中の挿絵にも描かれていないのが残念だ。)

4) 白球を叩け! (集英社、1978) 2 月

先天性心臓疾患の中学生・鮎沢久美子は体育の授業も受けられないのに、ラケットを押し売りされ、日本代表になる大学生・峯岸と出会う。ビール瓶に砂を詰めて振る手首のトレーニングを開始。地元小田原の市民大会で優勝し、峯岸がコーチを務める光華学院卓球部に入り、

25種類のサーブを学び、心臓発作の寸前まで闘って高校 7 冠王の偉業を達成。ずっとあこがれていた峯岸は菊川主将と婚約してしまうが、それは久美子の才能を生かすために聖書の「愛」に裏打ちされた選択だった。全日本代表として親善試合であっさりと中国のエースを破った彼女は、卓球が人生になっていた。

(中学から大学まで卓球部生活を送り某大学でコーチも務めた著者は、専門知識と経験を活かし、心臓病を患いながら韓国のエースとして活躍した崔正淑をモデルに、この小説を書き上げ、映画化もされた。これがきっかけで、若桜木は淑徳短期大学卓球部監督に就任した。)

5) 沖田総司惜別詩 (秋元書房、1978) 3 月

後妻にする約束を破り、大和屋庄兵衛は美しい明美を妾にするつもりだった。たまたま事情を聞いた新選組が味方して、大和屋お抱えの相撲取りたちを斬ることになるが、この商人こそ、油の値段をつりあげて天誅組と長州に軍資金を流す黒幕だった。策士の桂小五郎は新選組に刺客を潜入させるが、クーデターで天皇をさらって政権を取ろうとする長州の陰謀は池田屋事変で新選組が阻止する。吐血した総司は愛刀菊一文字が折れショックを受けるが、それをきっかけに銘刀が模作だったことを知って、本物を手に入れることになる。4 年前、試衛館に道場破りに来て年下の総司に敗れ食客となった総長の山南敬助は、総司が尊敬するまじめな男だった。総司に金を借り、島原の遊女になっていた明美を身請けし妻としたが、新たに参謀になった伊東甲子太郎がいずれ組の団結を乱すと見て屯所を本願寺に移す案に反対。却下されると山南は脱走してわざと捕まり、切腹の刑を受ける。総司は、山南が離縁していた明美を呼んで最後の別れをさせたあと介錯。棺には折れた最初の菊一文字を入れた。明美は身籠っていたことを伝えられなかったと残念がるが、その後流産し、山南の墓の前で自害した。

(『小説 沖田総司』を別れの観点から語り直した姉妹編。芹沢鴨暗殺や池田屋の切り込みなどが再び描かれる。重複もあるが、総司とお蓉の関係は背景となり、山南と明美の悲恋に焦点が当てられて、前作とは違った感動が味わえる。)

6) グリーン予告殺人事件 (秋元書房、1978) 4 月

経団連会長・奈良辰雄(78 歳)の元に「命が惜しければ 10 億円を用意しろ」と緑色のペンで書かれた脅迫状が届く。心配する孫娘の美貴子が真由美と白鳥暁に相談。警察が警備するが、ゴルフ大会中に雀蜂の大群に襲われ、奈良は他の 5 人とともに死んでしまう。フェロモンを使った殺人と判明。犯人は財界要人を脅迫し、青木みどりの口座に 55 億円を集める。警察は、現金を引き落とし

た原島武雄を逮捕して、妻に先立たれた奈良が再婚した愛人のみどり（若葉グリーンハイツで暮らしていた東大経済学部卒 26 歳）を主犯と見なす。

（「グリーン予告殺人」は、学生時代に金がなく振られたことを恨む原島の復讐だった。フェロモンを冷蔵庫のカルピスに、青木みどり名義のキャッシュカードの磁気データを音楽テープに隠していた。お金が好きなみどりは、子を産んで遺産の 3 分の 2 を手に入れるつもりだったが、出産で死亡。55 億円を脅し取った原島とよりを戻していたが、産んだ男の子は奈良の子供だった。祖父の冥福を願う美貴子は暁に頼んでモルモン教の〈死者のためのバプテスマ〉を受ける。「あとがき」で作者は、フットボールで全日本チームを破ったブリガム・ヤング大学のことを書き、モルモン教を宣伝している。）

7) スカイブルー失踪事件（秋元書房、1978） 7 月

麗子の父で帝都大学工学部の若月助教授が、出張先から「アスヨルヒカリデカエル」と電報を寄こして失踪。級友の真由美が白鳥暁検事補に助けを求める。やがて、若い義母がダンス教室の男とレンタカーの中で心中し、浜名湖で若月の服を着た大阪北大の助手が溺死体で発見される。スカイブルー一色の 5 月の空の下、若月は浮気妻と愛人を殺し、自分の身代わりを立てたのか？

（真由美は大阪北大の田中教授が東大時代の後輩・若月の論文を盗用していたことを発見する。また暁の指示で、若月が調べていた山河楽器の工場排水が基準値の 10 倍以上であることが明らかになる。田中教授は保身のため若月を殺してザリガニのえさにし、アリバイ工作で助手を若月に変装させて浜松へ行かせた。そこで企業に口封じを依頼された総会屋が若月本人だと思って殺したのだった。真由美が大胆な罠を仕掛け、やくざは警官で固めた喫茶店に現われて逮捕される。麗子は日曜学校で暁が教えた「コリント人への手紙」第 10 章を心の糧に生きていく決心をする。）

8) ワインレッド殺人事件（秋元書房、1978） 10 月

名古屋から単身で転校してきた夏原由香が学校を無断欠席している。名探偵を気どる真由美が調査を開始すると、赤坂の東急ホテルで絞殺されていた。白鳥暁検事補に助けを求め、殺人事件の謎に取り組む。由香は家出した過去があり、芸能界にあこがれて劇団薔薇座に所属していた。おじが亡くなって大金を相続することになったが、養子の昇が彼女を脅して遺産放棄の書類を書かせていた。その筆跡が、日記を残していた由香のものと違うことが判明。由香はワインレッドの服が大好きで同色のスカーフで絞殺されたほどだが、以前はグリーンを偏愛していた。転校後、様子もだいぶ変わったようだ。

（過去の由香と殺された由香は瓜二つで共に芸能界志望だったが、色の好みが違う別人だった。本物の由香は家を出て恋人も作ったが、夢破れて多摩川で自殺していた。会社が倒産しそうだった由香の父・夏原清造は、釧路市から集団就職で上京していた啓子を雇って娘を演じさせ、保険金めあてに殺害したのだった。〈金持が天国に入るのは、駱駝が針の目を通るよりも難しい〉と暁は聖句を引いて、お金の魔力の恐ろしさを真由美に語る。本作は〈白鳥暁〉シリーズ⑤の最終作。テーマはいいが、女優になりたかった二人の悲劇は描き切れていない。）

9) 盗まれた結婚式（集英社、1978） 11 月

冒頭、梅ヶ丘高校の生徒間で起きたビル転落事件の謎を解いた早乙女薫は警察署長の娘。好きだった中学時代の先輩・都築史朗は 19 歳で東京地検の検事補になっていた。求婚されフィアンセになった薫は、史朗の初仕事となった薫の従姉・真紀子の結婚をめぐる事件に関わる。真紀子と瓜二つの偽者が同日にすぐ近くで結婚式を挙げ、先に婚姻届を出して、大胆にも実家の荷物を全部鎌倉に移して、戸籍と財産を押さえてしまった。しかも、ポリグラフも筆跡もパスし、大学では本物が休んだ日に入れ替わっていた。結婚式には親戚も多く呼んでいて、偽者のほうが有利だ。カギを握る真紀子の父・中林真一郎は脳溢血で倒れ、偽者の父は自動車事故で焼死していた。

（偽者の真紀子と結婚した宗像は東大でも有名な名外科医で催眠術の名人だった。彼は、妹がイタイイタイ病で苦しむのを見て、カドミウム廃水をたれ流した新川電工の中林真一郎工場長の一家に復讐したのだ。）

10) 盗まれた超高層ホテル（集英社、1979） 3 月

婚姻届を出し、青山プリンス・ホテルに部屋をとった都築史朗検事と薫。外出して戻ると、青酸ガスにより宿泊客 2,357 人が殺される大事件が発生していた。史朗が陣頭指揮に立ち、捜査が開始される。ホテルの重役は全員死亡。森田副社長の乗っ取り計画が明らかになる。

（森田は、サラ金の被害者たちを宿泊させて動機を隠し、大国組のやくざに青酸ガスによる大量殺人を準備させたが、別の青酸ガスで実行したのはプロ作家をめざす水沼茂夫だった。彼の作品と恋人を盗んで芥川賞を受賞したホテルの常客・中島林太郎に復讐したのだ。しかし文芸評論家によると、盗作とはいえ中島が手を入れなかったら賞はとれなかった。）

11) アポロンの剣闘士（集英社、1979） 6 月

地球防衛軍のアラン・M・西城中尉は婚約者を自動車事故で亡くし、行方不明になった植民宇宙船シリウスを捜す任務を引き受ける。2021 年、人口が 60 億となり貧民

の失業対策が宇宙への移住だった。アランは地球とよく似た星にたどり着く。シリウスの着陸から30年がたっていて、子孫が暮らしていた。アランはノエラという野性的な美女に好かれ、姉のエレオノーラに一目惚れする。4年に1回開催されるアポロンの大競技会に出場して、貴族の身分と、聖美姫に選ばれたエレオノーラとの結婚をめざして勝ち進む。弓部門に参加していたノエラは、身を引くためわざと矢に当たり死去。アランは二刀流で決勝に臨むが引き分け。結婚はかなわず、アポロンの祭司長アンドロメダは、エレオノーラを太陽神への生贄にしようとする。死ではなく、永遠の美を得たのだという。アンドロメダはノエラを蘇らせ、一緒に悪魔族を退治するよう命じる。それを果たせば、神々の星への道を示すというのである。アランはノエラの他に従者エリアスと槍の使い手ミノスを連れて大冒険の末に、悪魔族の宇宙基地に潜入し、緑の星々を破壊しようと貯蔵された大量の核兵器を発見。とても敵う相手ではない。アランは、盗まれていた愛機を取り戻し、仲間と脱出する。

(キリスト教聖書に似た『太陽の書』の謎が残る。)

12) 未知からの侵略者 (秋元書房、1979) 6月

杉並区富士見ヶ丘にある星華学院は東大レベルの大学工学部が有名な総合学園。学内は最新のコンピューターで管理されSF的雰囲気がある。地名の頭文字をとって通称〈SF学園〉と呼ばれている。その中等部が舞台。

UF0騒ぎの後、学園にゾウ並に大きな宇宙グモが出現。糸を張りめぐらせ、なぜか周辺の気温が低下する。退治に來たレインジャー部隊は全滅し、クモは東京じゅうに増殖を開始。自衛隊の戦車も溶かしてしまい、天文部の貞包美枝子と理科部部長の武本英一を中心とする中等部の生徒たちが危険を冒してクモの特性を観察。コンピューターも駆使し、宇宙グモが高性能ロボットであることを突きとめ、トランシーバーを改造し、宇宙グモを操る冥王星人との交信に成功する。地表温度低下に悩む彼らは熱エネルギーを集めるためにこのロボットを送り込んだのだ。美枝子は無人の水星と金星を代わりに紹介し、地球から去らせる。

(〈SF学園〉シリーズ第1作。新宿の超高層ビル群が宇宙グモの糸でつながれ上空を自衛隊のヘリが飛ぶ表紙絵は、依光隆が描いている。本編中にも迫力ある挿絵がつき、巨大な宇宙グモの絵は47頁に掲載されている。)

13) 恐怖の異次元大地震 (秋元書房、1980) 2月

潜水艦で海底牧場を見学しに行った星華学院の勇人は海底地震に遭い、気づくと、ムー大陸とアトランティス大陸からなる別次元の地球のヒラニブラ国大統領になっていた。エリカという美人の恋人がいるが、第一秘書の

カオルが潜水艦で一緒だった級友の聖子と入れ替わっていることを知る。エネルギー工業省の物理学者フジモリの次元転送研究に端を発し、第二次大戦中の次元漂流者アドルフがナチス第三帝国を復活させようともくろむ。次期大統領選挙前に勇人は命を狙われるが、聖子と一緒に学校に無事戻ることができた。

(海底旅行から1週間、星華学院では、大統領と秘書が勇人と聖子の体で生活していた。体が元に戻る直前には、二人は授業に適應できず廊下に立たされていた。並行して描けば、もっとおもしろい小説になっただろう。)

14) 白球よ輝け! (集英社、1980) 3月

小5のとき、いじめっ子の信行のせいで転倒して耳が聞こえなくなった小田島由香は静岡県ろう学校で寮生活を始め、誘われるまま卓球部に入部。重大なハンディも努力で克服できるという日下監督を信じ、卓球ノートを作って頭を使うプレーで実力をつけていく。信行を許し、全国大会で惨敗させられた森下久視子を目標に努力を重ね、インターハイの決勝戦で勝利が見えかけたが、アキレス腱を切断。特訓してくれたあこがれの栗田に求婚されるが、同情を嫌って断る。保母になるべく短大進学を決めた矢先、富士生命にスカウトされる。カットマンから前陣速攻型選手に転向して卓球を続けることにする。

(『白球を叩け!』の単なる二番煎じではない。実在の高知ろう学校3選手をモデルに由香を創造したのだ。図で要点を示す由香の卓球ノートは本文中に掲載されて、卓球がうまくなりたい読者の要望に応えている。)

15) 青春に涙はいらない (秋元書房、1980) 6月

ドキュメンタリー小説。十歳のときに母を結核で亡くし、その三年後に父を癌で失った群馬県の正木恵子さんの20歳までの成長を追う。半年の新婚生活しか送れなかった継母は4人の子を見捨てなかった。この無私の愛に支えられ、恵子は貧しい母子家庭でも夢を持って努力しつづける。アメリカ留学と全日空のスチュワーデスの道は幻となり外大も落ちるが、乃木神社で1年働き、新聞配達店のまかないの仕事しながら駿台予備校に通って、東大法学部をめざす。もう一息だったが、店が経営難で新聞配達をさせられ脊髄神経炎になり、二次試験に失敗。とりあえず日本女子大に籍を置いて、東大舞踏研究会に参加。競技ダンスに青春を捧げ、志賀高原での特訓にも耐え、大学学生選手権大会で東大優勝に貢献する。

(ガニ股でドジな昭和の女の子が誰からも好かれ人気者に育っていく。生来の楽天家がさまざまな逆境や失敗にもめげず自分の夢をつかむ姿はじつに爽やかだ。彼女の日常が無駄のない文章で楽しく劇的に表現されていて、共感と感動を存分に味わえる。)

16) 二つの影の挑戦 (秋元書房、1980) 8月

星華学院のコンピューター制御室で赤い光る目を持つ二つの影が名門バスケット・ボール部キャプテン正博を襲う。栄光学舎の弱小バスケ部を黒須監督が最強チームに変え、有能な部員たちを引き抜く。柔道部の山本監督も同じことをしており、柔道部員の兄を持つバスケ部のマネージャー香織が異変に気づく。記憶を失った正博に代わって彼女が黒須を追う。謎の炎人間も登場する。

(影人間は地球侵略を企むフェルン星人。地球上のコンピューターを乗っ取ろうとしたが、炎人間であるアベルキット星連邦の監視員がそれを阻止し、地球保守の命令を受けたコンピューター「ミーカム」が重力バリアーを形成。監視員は殺されてしまうが、記憶が戻った正博と香織らが地球を守りきる。フェルン星人は連邦から独立するため、若い地球人を戦士に養成して戦争に送り込むつもりだった。)

17) 消失人間の謎 (秋元書房、1980) 10月

星華学院の教室の温度が上昇。先生が鉄パイプでコンピューターを破壊したのが原因だった。屋上で取っ組み合いの喧嘩をしていた先生の一人が部活中の生徒の目の前に転落し、服を残して消失する。バレー部員の友恵はアレルギー性鼻炎で最近「ハックション!」とくしゃみを連発。原因は、生物部顧問の奥野教授が温室で育てている珍しい蘭の花。おいしそうな実がなり、問題を起こした先生たちはそれを食べていた。そして級友の佐和子もメロンとバナナが混ざったような味を試食した。その後、様子がおかしくなり、トラックにはねられ、血液が蒸発して死亡。血と内臓を養分として心臓の中で種子が芽を出していた。奥野教授が米国アリゾナ州の隕石から採取した宇宙植物が体内で生長していたのだった。花は井之頭公園など東京中に増殖し、自衛隊と機動隊が合同で火炎放射器を使って除去作業を始めることになった。

(SF学園シリーズ第4話。第1話の逆パターンから始まる姉妹編だ。)

18) 宇宙戦艦ムサシ (文化出版局、1980) 12月

ノストラダムスの予言(扉頁に五島勉訳を掲げる)が当たり、1999年7月14日、突如、パラノア銀河帝国に侵略され植民地になりさがった地球が舞台。2020年、パラノア人が地球の女性に産ませたエメラルドの髪に碧眼を持つ混血の「パンテラ」はひどい差別を受けている。猛・悠樹・鵬麗(母が中国人)はそれぞれテレポート・テレキネシス・透視の超能力を持ち、沈没船から金塊や宝石類を見つけ出すサルベージ業で大金を稼いでいた。ある日、日本海軍の戦艦ムサシを発見し、宇宙船に改造して父を訪ねる計画を思いつく。六菱重工の高島技師長

らが請け負い、3人は残金を払うため、日本海溝に墜落した宇宙貨物船内の宝石ヒュペリオンを回収する。ところがパラノア星で皇帝が暗殺され帝国は崩壊。ファー・イースト(旧日本)政庁が防衛のために宇宙戦艦の建造を発注し、六菱がパンテラを裏切る。宇宙戦艦ムサシ没収のために差し向けた連合艦隊に対し、猛はテレポートで弾薬庫を次々に爆破。3人は自分たちの国を建設しようと、ムサシで宇宙に飛び立つ。

(ノベライズを手掛けた『宇宙戦艦ヤマト』に影響を受け、このあと開始する〈エスパー〉シリーズのアイデアで統合した秀作SF。洗練された内容で、無駄がない。「ゆくゆくは、SF版「太閤記」のようにしたい」と書いた著者の希望が実現しなかったことを残念に思う。)

19) 日本タイム・パトロール (文化出版局、1980) 12月

横浜の聖マリア学院に通う女子高生・小川由香里は、忘れ物に気づいてバスを降り、難を逃れた。下車直後、バスが爆破され乗客のほとんどが死んだのだ。命を狙われている。駅では背中を押され、入ってきた列車に轢かれそうになるが、時間が止まり、40世紀から来た時航艇に救助される。由香里の子孫となる奥村広太郎氏がこのタイム・パトロール隊を創設した。太陽系宇宙支配を企むSS結社が、由香里を暗殺することでパトロール隊を消滅させようとしたのだが、無理とわかると今度は第二次世界大戦の勝敗を逆転させようと暗躍する。由香里は隊員の高辻や雅美とテレパシーの訓練を受け、変装マシーンで戦前の女性に扮して山本五十六邸に女中として潜入し、ミッドウェー海戦の現場に赴いた高辻をサポートする。日本軍を勝たせようと指示を出すSS結社に対し、二人は歴史どおりアメリカ軍が勝つように仕向ける。負け戦を見届けた高辻を収容した時航艇は由香里を1980年の元の世界に送り返す。セーラー服に戻った由香里は、時航艇に助けられて数分しかたっていないことを知る。

20) タイムトラベル3501 (文化出版局、1980) 12月

親友の久美子が〈入らずの山〉で神隠しにあい、その1年後。摩耶は彼女を捜しに行きタイムトンネルを抜けて3501年のアスティール帝国へ。歴史法によって過去を知ることを禁じる専制国家だ。現地の男性に好かれるが、摩耶はテレパシー能力に目覚め、反逆罪で電気椅子送りになる。がそれはテレパスを支配層の貴族院に招き入れる隠れ蓑だった。摩耶はアルヌール皇太子の妃に迎えられ、先々代皇帝の妃として隠居生活を送っている88歳の久美子と再会を果たす。そして間もなく大隕石群の襲来で人々は地球を脱出。アスティールが、残った人々が「アトランティス」を築くことになる過去の世界だったことを知る。

21) 死者のデビュー曲（文化出版局、1980）12月

新人歌手の順子が、長安弁護士事務所に助けを求める。師である売れっ子作曲家の津田が殺人容疑で逮捕されてしまったのだ。顔面を割られた死体を自宅に投げ込まれただけという津田のため、拘留中に真犯人を見つけ出そうと、事務員の珠貴が奮闘する。殺されたのはタレント志望の恵里子らしかったが、彼女は、元代議士の富豪・野田老人に気に入られ、養女になる話もあった。

（顔面損傷死体は真菜美のものだった。身代わりとして野田家の暗室で殺されて、恵里子の服と交換して津田邸に投げ入れられたのだ。そして、眠らされた恵里子は、鉄橋から落とされて準急列車にはねられバラバラ死体になっていた。野田の養子・拓也に手伝わせた殺人犯は、恵里子の東大出の父が再婚した銀座のクラブホステスの連れ子で姉となった看護婦の千恵。母親は野田老人の元妾で、野田が千恵の実父だったが、野田が恵里子を養女にしようと考えているのを知って、妾の娘であるコンプレックスと積年の憎しみが爆発したのだ。結局、芸能界とは無関係で期待外れの感もあるが、重いテーマだ。）

22) アンドロイド ジュディ（文化出版局、1980）12月

ロボットに代わって一般家庭で購入され、奴隷としてこき使われているアンドロイド。ジュディは、第四都市（旧名古屋）郊外の家で熱田夫人にムチを振るわれみじめな生活を開始するが、息子の熱田英樹が帰ってくると、家を出て一緒に暮らすようになる。ジュディは、アンドロイド解放運動の闘士で英樹のプロポーズを断った松崎潤子に似せて造られた特注品だった。額に刻まれた数字以外は人間と変わらない。ジュディは英樹に自由を与えられ、アルバート（富沢孝雄）の組織に加わり、八木と英子の残虐なアンドロイド狩りに遭遇したりして、自分のオリジナルである潤子の面影を追う。（第一部）

23) 未来変更作戦（秋元書房、1981）2月

星華学院の学園祭に工学部の福井教授が作ったタイムマシンが展示され、優之・知佐・好行・香が試乗。模型のはずが地震が起こり、4人は、恐竜のいる原始時代、古墳時代、そして江戸時代へと飛んで、享保の大飢饉をもたらしたウンカの大群に追われながらタイムトンネルを抜けて学校へ戻ってくる。ウンカは体育館に閉じ込めて冷却することにしたが、4人はガルガンチュア星人の宇宙船に拉致されてしまう。ここでタイムトラベルの謎が明かされる。宇宙ウンカの大群に遭遇し次元航行装置が故障したとき、現在に戻るため、たまたま4人が利用されたのだった。自分の失策を4人になすりつけようとするパトモスに対し、違法を感知したコンピューター「ミューン」が再び4人を助ける。しかし、地球に戻っ

た4人は宇宙ウンカの大群で壊滅した東京をまのあたりにする。金属を食うウンカが体育館から逃げ出してこうなつたと知り、4人は過去にさかのぼってウンカを江戸時代に送り返し、平和な日常へと帰還する。

（『SF学園』シリーズ5作目。スケールは大きいですが、理系の作者にしてはタイムマシンの設定が安っぽい。優之と知佐のロマンスをていねいに描き込めば、もっといい作品になったかもしれない。）

24) アンドロイド ジュディ II

（文化出版局、1981）5月

アンドロイドの暴動で世界が無政府状態になる中、各都市の頭脳が連結され、巨大電子頭脳に統合されてゆく。ジュディはそこにアクセスして自己認識に近づいてゆく。大統領から暴動防止を任された能代徹は旧公爵家の令嬢西園寺純子博士の美貌に魅了され、彼女の罠にかかって、すべては純子の計画どおり進む。南極と北極の氷が溶けて大洪水ですべての都市が水没。アンドロイドは、機械文明で無気力になって進歩を忘れた人類を一掃する道具にすぎなかった。暗殺されたアンドロイド解放運動家の松崎潤子もまたアンドロイドだった。その潤子を模したジュディには、とてつもなく大きな役割が用意されていた。一からやり直す人類を巨大電子頭脳で何万年も見守って新たな文明に導くこと。旧約聖書の『イザヤ書』に預言された壮大な計画の担い手である。熱田英樹にもう未練はない。

（まじめな大作だが、書き始めの意図とは途中から違う方向に流れてしまった印象を受ける。）

25) 次元侵略者を探せ！（秋元書房、1981）6月

星華学院高等部2年生の美穂が主役。新しい研究所の建設工事中に、数万年前のコンピューターが発見される。コンピューター研究所の井本博士がそれを学校のコンピューターにつないだ後、美穂は恋人の祐士がB組の竹原幸世と密会している現場を何度も目撃して嫉妬するが、それは偽物の祐士だった。宇宙からの移住者が数万年前に文明を築き、遺伝子から体を再生する機械を滅亡前に残したが、学校のコンピューターとつないだために生徒の情報が混じって、そっくりの顔になったという。彼らは高等部と中等部の体育館から金属を取って講堂を宇宙船に改造。大学の体育館を機動隊が見張る中、美穂たちは、メルサス星に帰るといって彼らを助け、井本博士のコンピューターを取りつけた講堂が飛び立つのを見送る。

（SF学園シリーズ6作目。オチが明かされるまで祐士の浮気を疑う美穂の嫉妬がえんえんと描かれており、これが本筋よりもおもしろく読める。本の題名は内容と一致していない感じがする。）

26) **タイム・ジャック1582**（文化出版局、1981）6月

歴史を改変して日本の実権を握ろうとする秘密組織SS結社は、本能寺の変で明智光秀に加担し暗躍している。日本タイム・パトロール隊は睡眠学習マシンで16世紀の知識を習得させ変装マシンで小姓に仕立てた由香里と雅美を送り込み、この時代で行方不明になった雅美のフィアンセで資料研究部員の桜井を捜索しながら、光線銃まで使わせて露骨に時代に干渉し始めたSS結社と交戦。史実どおりに進むよう、終いには時航艇同士の空中戦にまで発展する。土民に襲撃される落ち武者の光秀が行方不明の桜井研究部員とわかって、竹槍で刺される寸前に時間を止めて救出。本物の光秀は僧になって徳川家康に仕えることがわかり、歴史は守られた。

（著者好みの歴史ものとSFを組み合わせた作品。信長の暗殺をめぐる史実に関して、秀吉と家康が知られているよりもずっとしたたかであったと解釈している。）

27) **乙女座からきた少女**（文化出版局、1981）7月

ハッペ山中にUF0が不時着し、地球防衛軍の新田浩史中尉と同期の上田が、記憶を失った少女を発見。2年後、スピカと名づけられた彼女は土星の火山・天王星の湖・冥王星の地下にある宝石を3つそろえた男性と結婚すると宣言。新造されたカノープス号の艦長になった浩史は、恋敵のミッターマイヤーとマッケンローと競いながら、土星ネズミ・電気クラゲ・発狂電磁波の妨害を乗り越え、冥王星地下に眠る宇宙船を3つの宝石で目覚めさせ曳航し、地球に帰還する。スピカの正体は銀河帝国の王女で、父の後を継ぐ皇帝を探しに来たのだった。選ばれた浩史は彼女レオーナ姫と結婚し、銀河帝国皇帝となる。

28) **時空域1180の危機**（文化出版局、1981）11月

日本タイム・パトロール第3弾。修学旅行で新幹線が到着したのは広島ではなく西京。神聖ローマ帝国と世界の二大強国の座を占める大日本帝国の首都。生徒たちは治安維持法で逮捕され、かろうじて由香里のみが逃走し、歴史が1180年の源平の争乱中に改変されたことを知る。拘束された生徒の中から超能力を持つ男女5名をテレパシーで呼び、所持していた小型時間停止器で救出。特訓の末、スペース・シャトルを奪って時航艇ステーションを探す。見つけたのは、敵であるSS結社の基地で、結婚して男女の仲になっていた松橋はあっけなく殺されてしまう。代わりに、運命として予告されていた地下組織『自由軍』のゲリラ・村上吉嗣と出会って恋に落ち再婚する。二人の子孫が40世紀にタイム・パトロール隊を組織することになるのだ。SS結社が見張る世界で、由香里たちは元の歴史に戻すため奮闘。相模川の合戦で平家軍を頼朝と義経の軍に挟み撃ちにさせて勝利に導く。松橋

の子を妊娠して片腕を失った由香里はもう一人の自分と会うことになるが、復活した日本タイム・パトロール隊がすべてを丸く収める。大冒険を終えた由香里は、再会した村上と婚姻届を出しに行く。

29) **洞爺湖よ 君の伝説を語れ**（集英社、1981）12月

高2の智子と家庭教師を務める東大生の成之はUF0を見たドライブの帰り、ガードレールに突っ込む車と遭遇。運転手は、火の気がないのに黒焦げの死体と化していた。東大で根岸が作ったUF0研究会のメンバーだ。近くには時価1千万円のルビーが転がる。その後、刑事らも黒焦げになる。UF0のレーザー光線？ 成之と智子は、失踪した根岸のアパートで新選組の永倉新八が書いた日記のコピーを発見。土方歳三が影武者を立てて生きのびて、武田信玄の埋蔵金百万両とフランスが軍資金として提供したルビーを洞爺湖に隠したという。昭和神山がUF0の墜落でできたと主張していた根岸はUF0研究会を隠れ蓑に埋蔵金を探していたのだ。婚約して男女の仲になった成之と智子は根岸が付き合っていた美岐と、根岸らが誘拐した千代美の父で土方歳三の子孫という歳氏と洞爺湖中島の祠から洞穴に入って昭和神山地下を探検し、二人の腐乱死体と黄金の山を発見する。六百億円の大金持ちになった成之と智子は、親から結婚を許される。

（その後、再会した美岐が一瞬のうちに黒焦げ死体と化し、成之と智子は殺人の疑いをかけられるが、一連の謎の死をもたらしたのはO型の血液にのみ反応するコレラの新種と判明。UF0の墜落は本当で宇宙コレラ菌が金塊を汚染したのかもしれない。「青春伝奇小説」と銘打たれた本書は、推理小説ではない。謎は冒頭のUF0の話に戻り、伝奇的な雰囲気で行く。）

30) **超能力者集合指令**（秋元書房、1982）4月

いい加減な性格ながら頭がよく読心能力のある田久保博之は高校2年生。美少女の水戸由里は精神制御能力を持ち、彼が好きで隣の席になるよう誘導し恋人になるが刺客に襲われ、東大医科学研究所内の国家機密SP病棟に入院。これをきっかけに、二人は超能力者を特訓する東大二校に転校して、人類の奴隷化をめざすサタン人を見つけ出す任務を遂行。七五〇バイクでパトロールし、エスパー仲間にも敵が潜んでいたが、アルカロイドを浄水場に混入させて東京都民を発狂させる計画を阻止する。（〈エスパー〉シリーズの第1作。サタン人の地球侵略は聖書の黙示録にも記されており、キリストはサタン人を見張る銀河連邦の工作員だったという設定。由里は生まれてすぐサタン人の操縦装置を頭に埋め込まれており、それが彼女が写真を嫌い、写真に後光が写る冒頭の謎の答えとなる。ケシ粒大の金属球を埋め込んだ産婦人科医

がサタン人の一人で、最後に追い詰めるがUF0で去る。作者は「あとがき」で「東大とは超能力者達の寄り集まりではないか」と思ったのが執筆のきっかけと明かし、1ヶ月で1ヶ国語をマスターした語学の天才ら知人3人を例にあげている。）

31) 超能力者奪還指令 (秋元書房、1983) 5月

修善寺東高校の探検部員が北条早雲の埋蔵金探しを名目に四組のカップルでキャンプ。神野純孝は気になっていた大川裕子といい仲になり、夢のように感じるが、山でUF0を目撃後、家を焼かれ、ゾンビ化した人たちに襲われ、二人で東京に逃げる。東大の近所で、巡回中の田久保博之と水戸由里に出会い、純孝は超能力を封じるアンチ・エスパー、裕子は物質を一瞬のうちに絶対零度で凍らせる超能力者であることが判明。東大二高の夫婦寮に入り、オートバイや超能力の特訓を受ける。そして、四班に分かれ、UF0基地と化した修善寺の町へ乗り込んでいくが、それは地球を植民星にしようと企むサタン人の計画どおりだった。基地はエスパーを抹殺するための罠で、純孝たちは精神コントロールで同士討ちをさせられて多大な犠牲が出る。裕子が超能力で指令室を凍結し、なんとか町を奪還する。純孝と裕子の情報がサタン人に知られていなかったのが勝因だった。

(シリーズ中の最高傑作。高校生の純孝と裕子がやっと肉体的に結ばれるシーンで著者は「二人の間で何がどうなったかについては、この物語の大筋と関係がないので、読者の想像に任せることにし、細かい描写は省略させていただくことにする」ととぼけている。しかし、二人のロマンスを超能力者とエイリアンの壮絶な戦いとうまく組み合わせ、大いに読ませる。町が夜中に地下に沈みUF0基地と化す場面も壮大で印象に残る。)

32) パラレルワールド大混線 (集英社、1983) 5月

学校をさぼってモーター・ボートで遊びに行った私(幸代)と幼なじみの竜介は濃霧の中、恐竜に遭遇。同級生の理恵と信昭に助けられ、長崎に戻ったつもりが、大清帝国に支配されたパラレルワールドに来てしまった。危機的状況で竜介にしつこく求婚されてついに体を許しハネムーンを楽しむ一方、この世界で目覚めた超能力を駆使して九州の独立運動に参加。建設中の宇宙基地内の原子力発電所を爆破することに成功する。再び霧の中で恐竜に遭遇。元の世界に帰ってきたことを願いながら、夜、竜介と街の灯をめざす。

(コバルト・シリーズの1冊で、読者層は十代の女子。著者は一人称で女子高生になり切っている。放射能汚染を心配するなどユーモア小説にそぐわないリアルな感情も描かれる。)

33) 超能力者破壊指令 (秋元書房、1983) 7月

札幌から東京へ推薦入試を受けに行く桐尾佳恵の乗った旅客機が雲の中で不時着し、乗客は東大生の設楽教之と彼女以外、目を覚まさない。二人は異次元のアダムとイブを自覚して婚約。霧に包まれた草原を歩いて、多数の航空機が捕らえられた異次元世界だと知る。設楽教之がヘリコプターで出口を発見し、テレポーテーションで霞ヶ浦に脱出することができた。彼は異星侵略対策部の諜報員だった。二人は旅館の風呂で40日分の垢を落とし、常磐線で上京。佳恵も赤外線を感じできる超能力者として、東大で超能力の特訓を受ける。佳恵の偽者が札幌の自宅で暮らし、教之の偽者が本部に紛れ込む。サタン人は四次元世界に飛行機を捕らえ、乗客をスパイ・アンドロイドと入れ替えていたのだ。佳恵ら超能力を持つ部員たちはその亜空間要塞を破壊しに行く。再びサタン人が罠を仕掛けていたが、コンピューターの自爆装置を大川裕子が絶対零度で凍結させて、部員たちはジェット機で脱出し、要塞の最後を見届ける。

34) ホワイトデーの訪問者 (松文館、1983) 8月

東京電子化学工業の社宅でお向いさんだった相川裕司とホワイトデーにデート。『チャタレイ夫人の恋人』と一緒に見ている間に私(真由美)は気を失い、目が覚めると藤田和文の妻になっていた。私は記憶喪失だと言われ、藤田に結婚の義務を求められ、その様子を盗撮されていることに気づく。実家には自分の偽者がいるので、会社帰りの父に会って陰謀の真相を聞く。

(ソ連のミサイル防衛機能を無力化する誘導技術の発明をめぐるKGBの工作員である藤田が盗撮ビデオで父親を強請っていた。しかし藤田の言うとおり、対するCIAはもっとひどい仕打ちをする。父と私は設計図をKGBに提供することに決め、藤田は命と引き換えに任務を遂行する。私は妊娠したが、彼は本当に私を愛していて生命保険で1億円を遺してくれた。異色の恋愛小説!!)

35) 開戦前夜・パラレルワールド大戦

(松文館、1983) 8月

小惑星セレス基地で太平洋航空宇宙局PASAの朝日奈智とスチュアート隊員は夢で、地球が砕け散る平行宇宙の世界を見た。同じ高専出身の小尾尚美隊員は佐渡の実家に帰ろうとして濃霧の中で恐竜と遭遇し次元の壁を抜けて別世界へ紛れ込むが、何とか生還した。平行宇宙論を唱える天才女性学者シュリンカー博士は、平行世界が重なって消滅するカタストロフィが近づいているとし、ESP能力者を集めてそれを回避する歴史変更作戦に着手。あこがれのシュリンカー博士に筆おろしをしてもらった智は、時航艇の試験飛行で彼にあこがれ続けていた尚美

にせがまれ、清帝国が支配する九州でハネムーンを過ごしてなんとか帰還する。が、シュリンカー博士が暗殺され智は容疑者になる。尚美と過去に遡って博士を救うが、その後、博士そっくりの工作員が博士を狙う。犯人の女を捕まえた智は、大日本帝国が勝利した世界の彼女も、パラレルワールド大戦を必死に戦っていることを知る。

36) 盗まれた後樂園 (松文館、1983) 8月

爆薬を積んだラジコン飛行機を7機飛ばして、巨人・阪神戦の後樂園4万人の観客を人質に取った犯人は、600億円の身代金を要求。ところが、札幌で500億円を載せた日銀の現金輸送列車が、青森で100億円を積む前に青函トンネル内の爆発事故で埋まってしまうと、犯人はあっさり人質を解放して計画を打ち切った。

(500億円の警備に当たった警察官8人は、偽の郵袋を使って金をすべて途中駅で降ろして、モスクワへ逃亡。関わった100人分の報酬を差し引いた400億円は北霊教へ。北海道の副知事まで関わった大事件は、青函トンネルを日米の軍事施設と見なしたソ連が破壊を目的に仕組んだ。読者は本書の題名にだまされるだろう。藤田監督率いる巨人軍の原選手たちが活躍するのはわずか50頁。あとはまったく別の話となる。独身の警官8人に、KGBの美人スパイが8人ついて計画に引き込み高飛びさせたという設定がすごい。このアイデアは、平成に出した架空戦記『帝国海軍の陰謀』(サンマーク出版、1994)で応用され、海軍の学校で諜報員の教育を受けた4人のアイヌ人がニコライⅡ世の皇女4人の夫となり、ロマノフ王朝の傀儡女皇帝を戴くアイヌの独立国アムール帝国をつくる物語に発展。『盗まれた後樂園』とは対照的にソビエトは戦争で完敗して、解体される。)

37) 超能力者暗殺指令 (秋元書房、1984) 1月

亜空間要塞破壊部隊が持ち帰った情報で大平英芳総理がスパイ・アンドロイドと入れ替わっている疑いが浮上。変身能力者の高山真弓が孫の英美になりきって偽者か否かを調べた上で暗殺するよう命じられる。ところが英美として誘拐され、車で逃げるとき追跡する犯人の車ともども谷底に落ちるアクシデントに見舞われる。こうして任務は水戸由里に引き継がれる。入院した英美の親友として総理に近づき、メイドに変身して毒入りウィスキーを飲ませ急死させる。がその間、本物のメイドが殺され、犯人のボーイを飛び降り自殺させるハプニングがあり、由里は帰りの飛行機でスチュワーデスに毒を盛られてしまう。その頃、異星侵略対策部では、帰還した亜空間要塞破壊部隊61名がスパイ・アンドロイドと入れ替わっていて、総理スパイ説は偽情報であったことが判明する。由里はサタン人の命令を除去した自分のアンドロイドを

使って恋人の博之に連絡。芦ノ湖に沈むサタン人の宇宙船で、宇宙を漂流するジャンボ機内の本物の亜空間要塞破壊部隊救出へ。絶対零度で凍結されていた隊員たちを蘇生させるのは心霊治療能力を持つ弥生のアンドロイドだが、アンドロイドはみな処分される運命だった。

38) 超能力者脱獄指令 (秋元書房、1984) 4月

本物の破壊部隊の帰還と同時に逃散したアンドロイドを捕まえるためパトロール中の田久保博之と水戸由里が暴走バイク集団に襲われ、警察に逮捕され市ヶ谷駐屯地の地下に囚人として幽閉されてしまう。仲間と再会してテレキネシスや大川裕子の絶対零度の超能力を使い脱出。大平首相を暗殺した由里はKGB工作員扱いされ、サタン人は警視庁と自衛隊を使って内閣情報室異星侵略対策部をつぶす気らしい。愛人バンクの女子高生を相手にしていた防衛庁長官を脅して黒幕の田中元首相の目白御殿に乗り込んでゆくが、一行は捕まって特別監獄に入れられる。田中式部はサタン人のアンドロイドなのだ。佳恵が部屋の扉の電気回路を見つけ、裕子が冷却力を発揮して再び脱獄。羽田沖に隠したサタン人の宇宙船で銀河連邦の首都惑星に助けを求めに行くというのが由里の当初の計画だったが、博之はベッドで彼女が偽者であることに気づく。本物は飛行機で毒を盛られたときに亡くなっており、淫乱な由里はスーパー・エスパー・アンドロイド、つまり、サタン人が送り込んだスパイだった。しかし、人間の意識に目覚めた彼女は、アンドロイドを地球侵略の道具として使い捨てにするサタン人に復讐を企んでいた。40組の超能力者のカップルを乗せた宇宙船の目的地は、銀河連邦とサタン人とは無関係の居住可能な星だ。そこで超能力を持つ子供をたくさん作って地球の自由を取り返すというのである。本物に未練のある博之は必死に抵抗するが、強力な超能力で洗脳され、違和感を覚えながら由里の欲望の虜になり果ててしまう。

(全国のファンクラブ会員は2千人ちかくとなり、作者は超能力者シリーズ全5冊完結の快挙を共に喜んでいる。結末を予想できた人は「おそらく一人もないだろう」と創作に自信も深めている。確かに想像を絶するすごい終わり方だ。当時は不評が目立ったが、おもしろい。)

39) パラレルワールド大脱走 (集英社、1984) 4月

大清帝国から逃れた私(幸代)と竜介がたどり着いたのは第二次世界大戦で日本とドイツが勝った平行世界だった。中国の工作員と疑われ、大日本帝国への忠誠心を証明するために軍人数名と、アメリカのモハーベ砂漠の居住区に隔離されている日系人同胞1千万人を解放する特務を与えられる。海ではサメ、街ではFBI、砂漠では毒グモと闘いながら目的地へ。しかし、真の目的は中性

子爆弾の開発を任されている石岡博士の救出だった。私は米軍戦闘機にテレキネシスで手榴弾をぶつけて戦ったが、逃げ出した日系住民は全滅。すでに完成していた中性子爆弾を載せたトレーラーは奪還中に機銃掃射でハチの巣にされて、同乗していた博士は死んでしまう。困惑する竜介と私はまたも恐竜のいる濃霧の中、次元の壁を抜けて海を見る。どんな世界かはまだわからない。

40) サイボーグ逆亡命作戦 (秋元書房、1984) 6月

オリンピック候補の高校2年生・早川美由季は体操の練習中首の骨を折り、実の父である防衛庁長官・新実の独断で25億円の国費をかけたSG計画の手術を受けて、サイボーグ第1号となって復活する。東京の高校に転校し、国拓館高校の不良にからまれて半殺しにする実力を発揮。乃木会館に入り口がある防衛庁調査二課別室所属の特別エージェントとして、四国対抗体操競技会で来日する情報収集が目的のソ連破壊工作員の亡命を阻止する任務を与えられる。しかし亡命作戦はソ連の罠で、変身能力を持つナタリアに襲われ、サイボーグ技術が欲しいソ連へ潜水艦で送られそうになる。何とか逃れた美由季は皮肉にも仲間である自衛官たちにKGBのスパイと疑われ拘束される。あこがれの梅田准尉が本物だと気づき、連携して美由季になりきっていたナタリアを捕まえる。梅田の愛車フェアレディZの中で美由季は愛の告白をし、二人は情熱的なキスを交わす。

(サイボーグ・シリーズ第1作。著者はアメリカの人気TVドラマ『バイオニック・ジェミー』の日本版を意識して書いたことを「あとがき」で明かしている。)

41) ブラックホールの彼方で——アポロンの剣闘士II

(集英社、1984) 8月

アラン・M・西城、妻となったノエラ、従者エリアス、槍の名手ミノスの一行は小型宇宙船でシリウス村を再訪し、アランはノエラの両親から結婚の許可を得る。村人たちは敬虔なクリスチャンだが、イエス・キリストは、太陽神アポロンと兄弟関係にあり、全宇宙は6人の神々によって支配されている。創造された人類は、神々と『六つの天』で暮らしていたが、大天使『暁』の反乱に奴隷兵として加わったため、『六つの天』から14万4千個の惑星へ追放され、神々への道は閉ざされてしまった。アラン一行は、ブラックホールを利用して悪魔族の宇宙戦艦の追撃をかわし、ある星に不時着。盗賊の生贄に選ばれたナスターシャ（のちにミノスの妻となる）を救う。ソヴィエト開拓村を守ろうと闘ったのがきっかけで、神双剣を持つ盗賊団頭領のアレクサンドラが仲間に加わる。宇宙戦艦に改造した船で飛び立った一行を悪魔族がまたもつけ狙うが、ブラックホールで消滅する。神に祝福さ

れている5人は無事ブラックホールを通り抜け、つづくホワイトホールに入り、『六つの天』をめざす。

42) 黄金のジャンヌ・ダルク (集英社、1984) 11月

英仏百年戦争の真の原因は、シーザーの莫大な財宝の隠し場所を刻んだ一対の黄金のペンダントにあった。一枚はイギリスの摂政エドワード・ベッドフォードが持ち、もう一枚はイザベル王妃の不義の子ジャンヌ・ダルクが首に掛けている。まだ20歳くらいのジャンヌは、銀色に輝く天界の船に乗っている大天使ミカエルから、超空間通信装置をとおして「主の御言葉」を聞き、それに従ってオルレアンをイギリス軍から解放する。一方、女占い師のカトリーヌは悪魔の頭領ルシフェルに気に入られ、肉体の虜にした男たちを使って、ジャンヌを犯させようと試みる。純潔を失えば、大天使ミカエルに見放されてフランスは負けることになる。誘惑には負けまいとジャンヌが決意する中、カトリーヌをお抱え占い師としたベッドフォードは祖父エドワード三世の遺言状を読み、黄金のペンダントの秘密を知る。ジャンヌのペンダントを奪い取るため、彼女を捕虜にしようと策を練る。

43) サイボーグ核配備作戦 (秋元書房、1985) 4月

東京の開城高校に通う防衛庁のサイボーグ早川美由季は、クラスメートの三浦友恵が校舎から飛び降り自殺し、自分にも言い寄った久保先生と秋子先輩を怪しみ、二人をタクシーで追い、ラブ・ホテルに入るのを目撃。恋人になった梅田准尉と隣の部屋に入り、二人が売春組織を作って儲けていることを盗聴で知る。ついでに美由季も梅田と愛を確かめ合い、大人になったことを実感する。その直後、国会議事堂前駅地下に極秘に配備されている核ミサイルから核弾頭がKGB工作員によって盗み出され、1兆円と、サイボーグ第1号である美由季を要求される。グリコ森永事件に似た駆引き後、ガソリン・スタンドでの戦いの末に、連れ去られた美由季を助けたのは、内閣情報室の超能力エージェントの田久保博之と恋人の水戸由里だった。核弾頭を取り戻した美由季は、貨物列車の屋根に飛び移って逃げることに成功する。

44) 聖火の身代金 (勁文社、1985) 10月

メディア・プロデューサーの藤堂竜之介が与論島町長に依頼されて企画した与論カップ・マラソンの1週間前、目玉であるギリシャから貸与されたオリンピックの聖火が入った3つのランプが羽田プリンス・ホテルの貴賓室から盗まれる。警備員6人は青酸ガスで殺されていた。犯人は10億円を要求。ジュラルミンケース5個分の現金を銀座の宝石チェーン店でダイヤモンドに換えさせて、東名高速を走らせるが現われず、今度はダイヤを返して

銀河商事の株を買うよう指示してきた。

（青酸ガスは消火器に仕込まれ、ランプはプロペラ付きのロボットマウスが運んだ。宝石チェーン店の親会社である銀河商事が、与論島のリゾート開発と会社立て直しのために起こした犯罪だった。）

45) サイボーグ大予言作戦（秋元書房、1985）11月

東京湾に沈めたKGBがシージャックしたフェリーから1兆円が消えた。駅では、朴明鮮を救世主と崇める世界キリスト者原理統一教会が偽の募金活動を行なっている。それを告白した女性が水死体で発見される。研修道場の秘密を知った久保先生と秋子はあっさり殺されてしまう。そこでは、宮之原という超能力者が聖書の黙示録をもとにハルマゲドン的人类滅亡から教祖様が救ってくださると信者を洗脳している。美由季は異星侵略対策部員たちと、1兆円を隠す教会の倉庫へ。未知のアルカロイド「霊水」で強化された宮之原ら敵超能力者と闘って勝利する。KGBも500万人の信者がいる統一教会も、地球侵略を企むサタン人が操っているらしい。

46) 一緒にアクシア（光文社、1986）1月

新宿の喫茶店で、銃撃されたフランス人弁護士が聖蘭女学院の優貴に「アクシア」とダイニング・メッセージを残す。超能力研究会の部長同士で会っていた麻布学園の智彦と共に事件を追い、超能力が働いたのか偶然に、コインロッカーに遺されたアクシアのカセットテープを発見。アンデルセンの『鉛の兵隊』がフランス語で吹き込まれていたが、そのテープをめぐる優貴は日仏合作映画チームを装った犯罪グループにヒロインに抜擢すると騙され、ロケ地と偽った山の中でさらわれそうになる。幸い、鍾乳洞に逃げ込んで智彦に助けられ、真相に至る。（アクシアはフランスの小さな村の名前だった。鍾乳洞につづくその山荘に、大富豪が大金をかけた世界中の玩具が保管されていた。遺族を退けて相続人に指名されたのは、大東亜戦争中に、日本軍の処刑から彼を救った優貴の祖父。倒産してしまったが玩具工場の元経営者で、その価値がわかるからと。『鉛の兵隊』の朗読テープは宝庫の扉を開くために必要だった。異色の宝探し譚。）

47) あどけない悪魔（光文社、1986）9月

警視庁捜査一課のハンサムな倉岡刑事はモスグリーンのセーラー服が似合う美穂に一目惚れするが相手にされず、代わりに彼女の親友でベビーフェイスの百合に好かれ男女の仲にまで発展する。百合は事件を嗅ぎつけるとくしゃみをする超能力があり、生徒会長の美奈が団地の駐車場の車の下で殺されて死んでいるのを発見。倉岡の上司で東大法学部卒ながら警部どまりの龍崎警部に疑わ

れた百合と美穂は「野次馬探偵団」を結成して、学校をさぼり、独自に真犯人を見つけようと調査を開始する。

（生徒会の金庫から3,500万円もの通帳を発見。さらにワープロのフロッピーディスクに隠された文書にもアクセスして、名門の桜楓学院生徒会で、医者や弁護士などの金持ちを会員とする愛人バンクの存在が明らかになる。しかも、殺人犯はジャガーズ事務所の甘柿隊からソロで独立したアイドル原田敏彦。会員の一人で、弟分の干柿隊と乱暴を働いて、美奈に抗議され、ロケ地から殺しに行った。アリバイがないことを知る与論島の愛人・朱実に美穂が化け、意表を突いてダイバースーツを着て海から殺しに現われた原田を、見張っていた倉岡刑事が逮捕する。「長編ユーモア推理小説」と銘打っているものの、倉岡刑事が美穂に強制されて百合との結婚誓約書に署名捺印させられる場面や、ジャニーズ事務所の田原俊彦をターゲットにした露骨なパロディは笑えない。それでも、「同じクリスチャン」のケント・ギルバートが「解説」を寄せて「本年発表作品の中のお薦め品の一つ」と絶賛している。）

48) 妖精の罠（光文社、1987）3月

倉岡刑事が百合と公園のベンチで早朝デート。一段落すると、百合がクシャミをして、またも死体を発見する。父子家庭の同級生・森川奈保子が自宅で黒い皮ベルトを首に巻きつけて死んでいた。龍崎警部は例によって第一発見者を疑い、なんと倉岡刑事が容疑者として逮捕されてしまう。百合は親友の美穂に助けを求め、再び野次馬探偵団が独自捜査を開始。男性教員の指紋を集めて警察に提供し、英語教師の和田島の指紋がベルトのバックルに残された指紋と一致する。倉岡刑事は自由の身となり、新たに容疑者となった和田島の聴取にかかる。和田島は、奈保子と男女の仲であったこと、他に5人の教え子とも関係していたことをあっさり認め、殺していないと主張。彼は理事長の姪と結婚することを決めて、「ストレスはよくない」という人生観に基づく自由恋愛論を展開する。（美穂は、校内の恋人たちと会って全員シロと確信した。森川宅で、事件の謎を解く鍵となる本を発見。和田島の裏切りに気づいた奈保子が、自殺して復讐の罠にかけたのだと知る。）

49) 美貌の悪魔（光文社、1987）7月

東京女子大学に進学するフィアンセの百合がマネキンごっこの最中にくしゃみをして、倉岡刑事はまたも事件に遭遇。ホテルの隣部屋で桜楓学院の島本先生が刺殺されていた。彼は理事長に認められ姪の今日子先生と見合い結婚したものの、美人妻は不細工な彼に嫌悪感を抱き奴隷のように扱っていたという。それで浮気したのか？

今日子は修学旅行の引率でアリバイがあった。その後、野次馬探偵団の百合と美穂は今日子と一緒に新宿の映画館に出かけ、近くのホテルのトイレで山村弁護士が刺殺される。今日子がトイレに立った時間中だった。近くの喫茶店から同僚の寺沢先生が彼女の姿を見たと言し、龍崎警部が山村の妻である美由紀と交換殺人を行なったと見なして今日子を逮捕。銀行口座に20万円を振り込まれていた百合も口止め料受領の疑いで身柄を拘束される。倉岡刑事と美穂は別行動で真相を追う。

(東大に入学が決まっている美穂は探偵として、山村に捨てられた元同棲相手の明美のマンションに忍び込む。本人が帰ってきてベッドの下に隠れ、電話の会話を録音し、今日子と結婚して理事の座が欲しい寺沢先生が明美の交換殺人の共犯者であることがわかった。明美は司法試験合格まで支えてきた東大卒の山村が水商売の自分を捨てて裕福な家の美由紀と結婚したことが許せず、復讐したのだ。美穂は、頭を殴られて気絶する。明美の車のトランクに入れられ軽井沢で殺されそうになるが、なんとか逃げ切り、明美は車ごと沼に落ちて死ぬ。自由の身になった百合は喫茶店のウェイトレスを装い、アリバイのない寺沢先生を脅しておびき寄せ、山村のときと同じように首を絞めたところを倉岡刑事に逮捕してもらう。命がけの活躍が光る野次馬探偵団のシリーズ最終作。)

50) 殺人狂株式会社 (実業之日本社、1988) 3月

高級喫茶店を装った株式会社「殺人狂」。美しい土門江利子が経営する殺人請負会社である。警視庁捜査一課の工藤刑事はその存在を知って調査を開始。彼女は新宿西口バス放火事件で父を亡くし、同様の被害者が協力しているらしい。やがて妻に迷惑ばかりかけてきた池原が

1億円の生命保険を掛けられてガードマン勤務の初日にマグナム弾で射殺される。さらに、かっとなって高校生群れに車で突っ込んで滅多刺しにしながら精神鑑定で無罪になった和田が、パチンコ・チェーン店経営家族を毒蛇のブラックマンバで皆殺しにされ、婚姻届を出してもなくレストランで狙撃されて死ぬ。

(江利子は、アフリカ飢餓救済援助協会理事の顔も持ち、どちらの事件も、多額の寄付でつながりの深いアフリカの某共和国の外交官特権を利用して、復讐に手を貸したらしい。色仕掛けで和田を丸め込んだ未亡人の千代子は、和田家の全財産300億円をこの援助協会に寄付。見事な完全犯罪に、工藤刑事は脱帽する。)

51) 「三日で修得できる速読法」殺人事件

(光文社、1988) 5月

沼津で新日本速読研究会広報担当の作家・橋本健一郎が全裸でマンションから墜死。妻が売春していると密告電話をもらって帰宅した夫が容疑者として逮捕される。夫人の松倉泰子は失踪した。橋本の無実を信じる秘書の沙知代が調査を開始。生徒を取り合うライバルの全日本速読学会の組織ぐるみの犯行と睨む。沼津支部長の靱山が一家心中を擬装して殺され大打撃を受ける中、両派は速読のスピードと精度をテレビ番組で競う。新日本が勝ち、沙知代は全日本の三重名簿の不正を告発する。

(全日本はヤクザに強請られ、以前から韓国総本部への上納金をごまかしていた会長が教祖の会計監査におびえ、資金調達のため新日本をつぶすことを画策。スパイとして沙知代の恋人・影山を引き込んでいた。影山は沙知代を人質にヘリで逃げようとするが墜死。姿を消していた松倉泰子は教祖に気に入られ、海外で出世する。)

Ken WAKASAKI's Hit Novels in the Showa Era

Koichi YOKOYAMA

Ken WAKASAKI (1947-) is a Japanese novelist whose works are familiar to those who spent their youth in the late Showa era: 1978 to 1989. In fact, in those days, he was very popular among teenagers through his tireless novelization of all the *Space Battleship Yamato* series and other well-known anime and manga such as *The Galaxy Express 999*, *Mu's White Whale*, and *Triton of the Sea*. Although his fame appears to have been from these novelizations, he has written a large number of entertaining novels out of his own imagination.

This paper introduces Ken WAKASAKI's 51 original novels for young people published during the later years of the reign of Emperor Showa. Aside from his readable *OKITA Souji*, which deals with the historical figure, the best swordsman of the Shinsengumi police force in old Kyoto, and his best-seller *Hakkyuu-wo-tatake! (Hit a Smash!)*, which describes how a female high school table tennis player with heart trouble wins championships, WAKASAKI's favorite genres were science fiction and mystery: above all, the *Esper* series, which consists of five novels about exciting battles between the high school students of various superhuman abilities and the wickedly powerful Satan people from outer space, is excellent. The mystery counterpart is the series of Akira SHIRATORI, the 14-year-old boy who is a Tokyo public prosecutor as well as a devout Mormon, the best of which is the first novel *Kobaruto-buruu-yuukai-jiken (Cobalt Blue Kidnapping)* with an unforgettably unexpected ending.

若桜木度のノベライゼーション ——昭和の人気アニメ・漫画・ドラマの小説化——

横山 孝一*

(2022年11月30日受理)

はじめに——若桜木度の偉業

サブカルチャーは、通常、世代を超えないらしい。クレタパブリッシングが発行する雑誌『昭和 40 年男』『昭和 50 年男』はその世代に属する人が対象読者だ。もったいない話である。作家の若桜木度 (1947-) も、世代によって評価も知名度も大いに異なっているにちがいない。氏は昭和の最後に書いた小説『「三日で修得できる速読法」殺人事件』(1988)で、ティーンエージャーなら3人に2人は作品を知っていると豪語した(60 頁)。実際、筆者の少年時代の経験では、書店で氏の名前を見ない日はなかった。秋元文庫から『小説 沖田総司』(1977)でデビューしてから昭和が終わった 1989 年1月7日までにオリジナル小説(ゲームブックは除く)を50冊以上(拙論「小説家、若桜木度—昭和のヒット・ノベルズ」参照)『宇宙戦艦ヤマト』『銀河鉄道 999』などのノベライズを27作品(本編参照)出版している。自伝を含む『ストレスパワー』(1988)によると、油性の細字サインペンを使って1日に400字詰め原稿用紙で90枚以上書いたというから、売れっ子そのものだった。

しかし21世紀に入ると、若桜木度はプロ作家を養成する仕事に打ち込み、読者も過去の輝かしい仕事を知らない者が主流になった。『超ライトノベル実践作法』(2010)ではあえて自分の過去には触れず「ウリに悩んだときは、「××学園」「××部」とアドバイスしている(147-151)。昔の世代を対象にしたジュブナイルやノベライズ小説を、若い世代は古めかしく感じるだろう。だが、〈SF 学園〉シリーズと、卓球部を舞台にした『白球を叩け!』(1978)で名声を得た氏は、そこに世代を超えた普遍的な価値を確信し、自信を持っているのだ。

本稿は2021年に国立新美術館で開催され世代を超えて好評を博した「庵野秀明展」に刺激を受け、若桜木度のノベライゼーションの仕事を再評価する試みである。クールジャパンの原点というべき1980年前後のアニメその他の代表的な名作をたった一人で小説化した偉業とその作品群は、未来の世代にも広く認知されるべきだ。

若桜木度といえば、まずは何と言っても、『宇宙戦艦ヤマト』シリーズだろう。ノベライズの初仕事である『さらば宇宙戦艦ヤマト』(1978)はベストセラーになったが、その成功のカギは夢の手法にあった。「第十五輸送補給船護衛艦隊長の古代進は、見るともなしに大パネル・スクリーンに眼をやりながら、ここ何日間もの間、繰り返して見続けている夢のことを考えていた」(6)と、星々を破壊しながら進む白色彗星の不吉な姿を思い出す。一方、フィアンセの森ユキも、結婚式の夢をこの悪夢に浸食される。「幸福の絶頂のところで、突然、夢は突進してくる白色彗星の不気味な姿に変わり、そこでユキは、ハッと眼を醒ました」(45)。悲しすぎる結末を予感させる見事な伏線だ。共に映画にはない小説独特の展開だが、これは視点を地球側に固定したことによる。アニメでは見ればすぐわかるので味方と敵は交互に描けるが、小説では視点の移動が頻繁に起こると読者は混乱してしまう。著者は(テレサは俺が眠るのを待って、また何かメッセージを伝えようとしているのかもしれない)(172)と、テレサがテレパシーで敵の様子を夢のかたちで見せる設定に変えた。つまり、古代進の目を通して読者に白色彗星帝国内でのやりとりを見せるのだ。

このアイデアで最初のノベライゼーションは大成功だった。これは奇跡的だ。というのは、他の作品ではなかなかこうはいかないからだ。事実、順番が逆でひと月後に刊行された『宇宙戦艦ヤマト』(1978)では敵であるデスラー側がさっぱり描けておらず、物足りなさが残る。もしこっちが先に出版されていたら、その後の若桜木度ブームはなかったかもしれない。とはいえ、小説ならではの利点が感じられる。例えば、初めてのワープ航法の場面。「それは外からではなく、完全に内側からの、分子、原子レベルから発生してくる衝撃だった。進の視界で、総てが陽炎のように揺らめき、存在感を希薄にしつつあった。それでいて、引きちぎられるような激痛と重圧が、もてあそぶように全身の神経細胞をさいなみ続けた。痛覚神経だけでなく、視神経、嗅神経、味覚神経の細胞までが、信じがたいことに痛みを訴えて悲鳴をあげ

た。（これがワープなのか……!!）」（65）——以上は、自身も SF 作家で、東京大学大学院博士課程で生物学に精通した者にしか書きえなかったろう。宇宙戦艦ヤマトの世界を体感できるのが若桜木作品の魅力だ。

ノベライズの仕事は若桜木度の創作にも影響を及ぼしている。『宇宙戦艦ヤマト』には、墜落した謎の宇宙船（イスカンダルから飛来したサーシャの船）を古代と島が調べに行く場面がある。

（これは！……）

息絶えて蒼ざめてはいたが、胸の奥に痛みを感じさせるほどの妖精のような女の美しさだった。

（地球外にも、地球人に瓜二つのこんなきれいな人がいるとは……）

「人間とは思えない美しさだな」と、島も言った。

「まるで銀河のオンディーヌだ……」（10-11）

若桜木度は平成時代になっても、美人の週刊誌記者・西東南（さいとう・みなみ）や静岡県警のアイドル刑事村嶋なつみ、さらには修善寺の日本旅館に実在する美人女将を登場させる（『修善寺・紅葉の誘拐ライン』2004）ほど女性の美しさにこだわる作家で、上の場面を自作の『乙女座からきた少女』（1981）でこう改作した。

「こ、これは……」

「人だ……しかも女！」

金髪の長い髪をした若い女の顔が見えた。

「美しい人だ」

「地球人と変わりませんね」

「いや、地球のどんな女性よりも美しいよ」（20）

こちらの作品では女性は生きていてまるで違った物語が展開する。『宇宙戦艦ヤマト』に影響されたことが明白な『宇宙戦艦ムサシ』（1980）もあるが、決して二番煎じではなく、若桜木度の魅力が詰まった最上のオリジナル作品になっていることは強調しておきたい。

女性、とりわけその美しさに魅了されがちな思春期において、松本零士原作の映画『銀河鉄道 999』（1979）は、西崎義展プロデューサーの『さらば宇宙戦艦ヤマト』と同じくらい人気があった。「どこまでも美しいメーテルの顔」（331）にこだわりを持つ若桜木度は、意外なほど原作に忠実に全 333 頁の完全小説化を成し遂げた。鉄郎を視点人物にしたことでメーテルの内面は見えず、謎めいた女性として印象に残るのも原作どおりだ。続編に『さよなら銀河鉄道 999』（1981）があるが、これだけは唯一の失敗作なので手にする時は注意が必要だ。推測だが、出版した 1981 年は執筆中の小説が他にもたくさん

あり、おそらく前もって書いてあったテレビ・シリーズの傑作「化石の戦士」を無理やりくっつけて映画公開に間に合わせたのではあるまいか。本編はあらずじ並みの粗さなので、前半を占める「化石の戦士」のノベライズとして読むべきである。

本編がきちんと描けていない点では『サイボーグ 009 超銀河伝説』（1980）も同様に見られるかもしれないが、こちらは映画を補うつもりで、001～009 のサイボーグ戦士の特性と活躍を伝えるエピソードを満載したため、主筋がおろそかになってしまったのである。自身の SF 作品でも〈超能力者〉と〈サイボーグ〉シリーズがあり、石森章太郎からかなり影響を受けたようだ。脱線のかたちで挿入したエピソードを短編小説と思えば、楽しめるだろう。宇宙の意思と対話するクライマックスは、通俗作家らしからぬ斬新な手法が用いられているので、それだけでも一読の価値がある。

「視点移動を頻繁に行なうべからず」（『プロ作家養成塾』2002）を鉄則としたため敵が描けないのは、『宇宙空母ブルーノア』（1980）『海のトリトン』（1982）でも同様だ。特に後者は、有名な最後のどんでん返しをめぐって読む人が多かったろうから、驚愕のラストに向けて、敵であるポセイドンの内面を丹念に描けば、伝説のアニメを上回る傑作になっただろうにと悔やまれる。

1980 年代を代表する知る人ぞ知る屈指の名作アニメ『ムーの白鯨』（1980）の小説も、味方であるべき国連軍から不本意に攻撃を受けて涙する、あの白鯨の悲しみを描ければ、小説としてすばらしいものになったかもしれない。2 巻本にして上巻に「アトランティスの襲来」という副題をつけ、地球人側の視点で突然の災難を描き、下巻の「悲劇の王女ラ・メール」で地球に帰還する敵に視点进行し、同じ出来事を最初から語り直す。これは、敵の事情をしっかりと描くための苦肉の策であった。福尾元雄が原案を出してスタッフが知恵を絞ったオリジナル TV アニメ『ムーの白鯨』は『銀河鉄道 999』と『さらば宇宙戦艦ヤマト』の影響が濃厚だ。戦艦大和や蒸気機関車が宇宙へ飛び立って、今度は白鯨かと当時思ったものだ。力のみを信じる敵アトランティスは白色彗星帝国「ガトランティス」の変種で、古代とユキの宇宙の愛は、新たに「ラ・グリル」と名づけられ、3 万年の時空を超えた剣とマドーラの大恋愛になった。転生した剣に対し、長い年月をサイボーグの体で生き抜いたマドーラは引け目を感じる。若桜木度の小説版を読むと、当時人気声優だった吉田理保子（1949-）の熱演が思い起こされるが、そのような読み方がノベライズの王道的楽しみ方だった。

「私……もう剣のいないところへ行きたい……ミュウ、あなたなら私の気持ちわかってくれるでしょう？…

…」と、マドローは言った。

「剣が好きなんだね」

マドローが大きくうなずくのを見て、剣は思わずドキリとなり、慌ててマドローに見られないように柱の陰に姿を隠した。

(やっぱりマドローは俺のことを……)

しかし、自分がどうしたらいいのか、剣には見当もつかなかった。

「剣といっしょにいれば、またいつか、人間ではない姿を見られてしまう……。剣にだけは見られたくない……。ビクビクして暮らすのは、もうイヤ！」

(上 215-216)

若桜木虔はこのあと（マドロー。君は俺を誤解しているんだ。サイボーグだからって、俺の気持はかわりやしない……）と剣の内面を描いたが、テレビを見ていた少年たちも同じ思いだったろう。

自らも多くの SF を手掛け、流行に合わせて推理小説、さらには時代小説に移っていった若桜木虔だが、人間の感情を簡潔にきちんと描ける才能があった。ノベライズ作品の中には、アーサー王伝説を扱ったアニメ『燃えろアーサー』（1980-1）やNHKが放送した幻のアニメ番組『マルコ・ポーロの冒険』（1981）もあって歴史ものにも力を発揮しているが、お薦めは、ちばあきお(1943 - 84)の漫画をコンパクトに小説化した『キャプテン』（1980）だ。『白球を叩け！』のスポーツ作家でもあるだけに、野球部の主将になった谷口タカオの努力と奮闘が共感を持って読めるように書かれている。原作を知らない人でも、スポ根ものの小説として楽しめるだろう。

同様に、美内すずえ(1951 -)の傑作少女漫画の一部を活字化した『小説 ガラスの仮面』（1982-3）の2冊も、演劇界ながら、無名の北島マヤが伝説の女優・月影千草にスカウトされ厳しい特訓を受けながら有名女優の娘・姫川亜弓に挑む物語はスポ根的で、内面と動作の的確な描写力によって原作漫画に比肩する読み応えがある。

ソフト化されていない『1年B組新八先生』（1980-1）、特に第1巻の「新八先生初登場」は小説としても秀逸で、その魅力に圧倒される。むろん重森孝子のすぐれた脚本があつてこそだが、それを自然な小説に仕上げた若桜木虔の力量は大したものである。桜中学校に赴任した新田二郎太と産休教員久美子の奮闘ぶりは、姉妹編で放映当時は人気が上がった『2年B組仙八先生』（1981-2）よりも、新米であるぶん新鮮で、感動も大きい。どちらも今では『3年B組金八先生』の陰に隠れて忘れ去られた感があるので、古本は驚きの再発見となるかもしれない。わが国の理想の教師像と学校を一変させた桜中学シリーズなので、教職の人气が落ちた今こそ、

理想の原点に立ち返ってみるのも一興だろう。

そして忘れてならないのが、『みゆき』『タッチ』でブレイクしたあだち充(1951-)の出世作を完全小説化した『ナイン』（1983-4）全5冊である。少女漫画から持ち込んだラブコメは当時、少年たちの間で新鮮に感じられたものだ。集英社のコバルトシリーズで活躍し女性ファンも多かった若桜木虔には、昭和時代の仕事を飾る集大成となった。

「その日おれたち二人は、春休み中の日曜日のせいか家族づれでゴった返す電車に乗り込んだ」（少年サンデーコミックス第1巻、6）と始まる漫画を受け、若桜木虔は一人称の「俺」を採用。あだち充はその後、主人公の新見克也を離れ、彼に見えないことも自由に描いたが、小説版は視点が限定されて、克也の目に映ったことしか描けない。高校入学後、野球部のマネージャー百合めあてに親友の唐沢と野球を始める「俺」の物語にしたため、短距離で中学新記録を出した克也の新聞切り抜き写真を、あこがれの百合が定期入れにいれて見ていたことは知るよしもない。百合と幼なじみの甲子園投手・山中の仲を疑い、原作よりも嫉妬深い主人公になった。「俺」には聞こえない二人の会話は妄想（小説第1巻、135-137）となって、原作以上にやきもきする。

一目惚れを熟知する若桜木虔は第1巻から炸裂する。「全身からドッと冷や汗が吹き出してきて、一瞬にして喉がカラカラに貼りついた。それほどのショックを与えたほどの、正真正銘の美女だった」（第1巻、16）。美しい女性を崇拜する著者は、「俺の脳味噌はショックと興奮で、味噌ナベにでもできそうなほどグラグラと煮えたぎっていた」（同、16 - 17）とユーモアを交えながら、「が、あまりに美しすぎるものは、観賞している人間の胸を苦しくするものだ。俺は酸欠状態に陥ったような息苦しさを覚えて、視線を転じた」（22）とまで書いた。大げさな表現だが、思春期の男子の気持ちをよく伝えている。「充分にチャームな美少女」（同 131）雪美にも好かれる克也が文化祭のフォークダンスで初めて百合の手を握り一緒に踊る場面は、原作ではセリフなしの数枚の絵で描かれている（少年サンデーコミックス第2巻、32, 33, 36）きりだが、若桜木は雪美も加えて次のように書いた。

俺は、手を差し出した。その手を、百合が握り返してきた。ちょっと冷んやりして、柔らかな手だった。

俺が手に力をこめると、百合の微笑が照れたように変化した。拒否の反応はなかった。

その直後、雪美が俺の前に姿を現わした。

あ、と言いたそうな顔をして、雪美はしばしそこに立って、俺と百合を見比べていた。しかし、何も言

わなかった。

その時、スピーカーから音楽が流れ始めた。俺と百合は急いで輪の中に入り、ステップを踏んで踊り始めた。踊りながら、なぜか俺は、

（ごめんね、雪美ちゃん。ごめんね）

と、何度となく胸の中でつぶやいていた。

最高に楽しくて充実していて、そのくせ胸を締めつけられるように妙にもの哀しい、文化祭のフィナーレだった。

鮮やかなオレンジの炎と黒紫色の闇とが入り乱れ交錯しているように、胸の中で深い歓喜とやるせなさ、がモザイク状に交錯し、渦巻いているのを感じながら、俺は百合と踊り続けた。これが青春の存在感というものかもしれない、と頭のどこかで感じながら……。 （第2巻、125-126）

作品の結末も暗示させながら、触覚・視覚・聴覚と順番に読む者を内側から刺激して「深い歓喜とやるせなさ」が入り混じった青春の本質を実感させる。これを読むと、当時の個人的体験までがまざまざと思い起こされてきて、文学の力に感嘆させられる。これこそ若桜木虔の一つの到達点だった。

アニメ・漫画・TV ドラマ他のノベライゼーションの需要は昭和でピークを過ぎたようだ。平成になって出た『グーデの紋章』（1990）はわずか155頁で、その大半を同名アニメ映画のスチール写真が占める。若桜木虔の『さらば宇宙戦艦ヤマト』や『銀河鉄道 999』が書店で山積みになっていた頃がなつかしい。これらの本を古臭いと愚弄する方には、クールジャパンと呼ばれるまでに成長したわが国のサブカルチャーの歴史と伝統に敬意を払っていただきたい。往年の人氣が落ちたとはいえ、『さらば宇宙戦艦ヤマト』の梓組（人類滅亡の危機）＋『銀河鉄道 999』のメーテル（亡き母に似た女性）＋『2年B組仙八先生』の悩める中学生（14歳）＋『ナイン』の学園ラブコメ（二人の美少女の間で揺れる主人公）が、21世紀のクールジャパンを牽引する庵野秀明（1960-）の『新世紀エヴァンゲリオン』（1995-6）と『シン・エヴァンゲリオン劇場版』（2021）に発展したのである。

昭和50年代に少年少女が夢中になって読んだ若桜木虔の本は、いまや見かけることがまれになって、ネット書店で流通する量も日増しに減ってきているのが現状だ。国内で出版された全書物を保存する国立国会図書館は、みんなが見たい表紙カバーを廃棄し本の価値を自ら下げている。表紙がなければ古書店では売り物にもならない。国の財産を毀損する愚劣な保管方法は即刻改める必要がある。クールジャパンを謳う文化庁は、責任をもって日本の宝を守っていただきたい。

若桜木虔のノベライズ作品概観

以下は、昭和の名作アニメを中心とする若桜木虔のノベライゼーション27作品の概要である。

1) さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち

（集英社、1978）8月 原案・西崎義展

西暦2201年、古代は白色彗星の悪夢にうなされる。結婚式の夢を見ていたユキも、同じ悪夢で目が覚める。テレサから「テレパシー」で警告のメッセージを受け、ヤマトは反逆罪覚悟で出かけ、UFO艦隊の攻撃を受ける。宇宙の墓場サルガッソを抜け、テレザート星で幽閉されている反物質のテレサを解放する。周辺の星々を滅ぼして進む白色彗星帝国は地球に向かっていて。復讐のため帝国に仕えていたデスラーが行く手を阻む。進の身代わりになってユキが撃たれ、戦いに敗れたデスラーは二人の愛に打たれ、自決する前に彗星の弱点を教える。新鋭の戦艦アンドロメダを含む地球艦隊は全滅。ヤマトは、彗星を丸裸の都市帝国にすることはできたが、凄まじい攻撃が続き、ユキが死ぬ。戦死した土方艦長の跡を継いだ古代は、真田と斉藤の自己犠牲で敵の動力源が爆破された後、日本列島ほどの大きさがある巨大戦艦を見る。沖田艦長の遺影と相談し、自分の命が最後の武器になることを知り、全員を退艦させ、ユキを隣に座らせて永遠の結婚を誓う。心打たれたテレサも戦う気になって先導。ヤマトとテレサによって超弩級戦艦は消滅し、ヤマトのおかげで地球はまたも救われた。

2) 宇宙戦艦ヤマト（集英社、1978）9月

原案・西崎義展

西暦2199年、ガミラスの遊星爆弾による放射能汚染で人類滅亡まであと1年。イスカンダルから救いのメッセージが届く。兄の守を戦いで失った古代進は沖田艦長に不信を抱きながらもヤマトに乗り込み、放射能除去装置を受け取るため、往復29万6千光年の旅に出る。美少女の森ユキと愛を育みながら、波動砲を武器に危機を乗り越え、七色星団の決戦に勝つについにイスカンダルを目前にするが、双子星であったガミラス本星に引き込まれ、死闘の末、海底火山を波動砲で撃ち、囷らずもガミラスを滅亡させてしまう。イスカンダルでは古代守が生存しており、スターシャと残る決心をする。受領したコスモ・クリーナーはヤマト艦内で組み立てられ、復讐に燃えるデスラー総統の奇襲で放射能ガスを送り込まれたときに威力を発揮するが、進を助けるために操作したユキが死んでしまう。が、デスラーの波動砲をヤマトがはね返した衝撃で甦り、古代はプロポーズする。報告を聞いた後、沖田艦長は地球を見て息を引き取る。

3) 銀河鉄道999 (集英社、1979) 8月

原作 監修・松本零士

機械化人間が支配し、貧しい生身の人間が虐げられている地球。15歳の星野哲郎は、人間狩りで両親を機械伯爵に殺されている。亡き母によく似た美女メーテルと出会い、機械の体をもらうためにSLのC62を模した銀河超特急999号の乗客となる。ドクロをデザインした母の形見のペンダントが役に立ち、大山トチローの老母から宇宙戦士の銃をもらい、大盗賊アンタレスや、トチロー、トチローを愛した女海賊エメラルダス、トチローの親友宇宙海賊キャプテン・ハーロックの支援を得、仇である機械伯爵の要塞遊星「時間城」を突きとめて、頭を撃ち抜いて復讐を果たす。終着駅の機械化母星メーテルでは女王プロメシュームに生きた部品にされそうになるが、娘メーテルは父ドクター・バンの遺志を継いで反抗する。母星は爆破され、列車内で哲郎を絞め殺そうとした女王は、哲郎に好意を寄せるガラスの体を持つウエートレス、クレアが自爆して道連れにした。すっかり成長した哲郎は、冥王星に自分の体を取り戻しに行くというメーテルと別れのキスを交わす。

4) 宇宙戦艦ヤマト 新たなる旅立ち (集英社、1979)

9月 原案・西崎義展

白色彗星帝国ゾォーダー大帝の「同志」として甦ったデスラー総統が宇宙蜚(じつは鉄食いバクテリア)を送り込んでヤマトを攻撃する。古代は白兵戦に持ち込み、負傷。デスラーは恋人を守ろうと身を投げ出した森ユキの愛に感銘を受け、復讐心を捨てて去る。仇敵は朋友に変わった。幽閉されていたテレサが身代わりとなって、地球は救われた。そして宇宙戦艦ヤマトは新たな乗組員を迎え訓練の旅に出る。一方、デスラーは別れを告げるために立ち寄った母星ガミラス星が謎の船団に盗掘されているのを見て激怒。攻撃して星自体が消滅してしまう。密かに愛していたスターシャが古代の兄・守と暮らしている双子星イスカンダルは引力を失って暴走。デスラーは救出しようと後を追ひ、この危機をヤマトに知らせる。共通の敵となった暗黒星雲帝国は星間戦争のエネルギーとしてイスカンダルの地下資源も狙う。デスラーは死を覚悟して〈超巨大戦艦ゴルバ〉を道連れにしようとするが、土壇場でスターシャが止める。赤ん坊のサーシャと夫を脱出させ、「戦争には使わせない」と降りてきた敵もろとも自らの手でイスカンダルを爆破する。

5) 宇宙空母ブルーノア (集英社、1980) 4月-5月

2052年、月と並んで居座った人工惑星ゴドムの激しい空襲を受け、地球連邦は人口の9割を失い壊滅的打撃を受ける。理工科学院の学生である日下真は瀕死の父から

ペンダントを託されて「ポイントN1へ……そこに地球の未来がある」と遺言される。学友たち、家を焼かれた美少女ケイを連れて、父が開発していた空母ブルーノア(土門艦長はケイの父親だった)にたどり着き、乗組員に志願する。シイラ艦で戦闘訓練を積み、ブルーノアの強力な反陽子砲を武器に太平洋上で敵と互角に戦いつつポイントN9に向かい、反重力ブースターを取りつけて宇宙空母ブルーノアに改造する。宇宙戦闘艦3隻を率い人工惑星と対決しようとするが、5億人の住人はすでに遺伝子データと化し、誤った指導者ザイデル総帥は処刑されていた。ブラックホールで母星を失った人びとは、ザイデルが開発した人工惑星の生命維持装置に欠陥が見つかったことを知らず、地球を自分たちの生存に適した環境に変えようとする独裁者に賛成していたわけではなかった。人工惑星は落下して地球にぶつかりそうになり、真たちは地球の未来のため体当たりを覚悟するが、それより先に人工惑星が自爆する。ケイは、仕事に没頭して母の死を顧みなかった土門艦長をずっと恨んでいたが、戦闘で負傷したこの父が死ぬ直前によく和解する。残った者たちは、ゴドムのように地球が宇宙の侵略者にならないよう復興を誓う。

6) 大江戸捜査網 (桃園書房、1980)

5月 監修・元村武

「隠密同心、左文字右京」江戸で、御家人の一人息子が死体で見つかるが、病死の届けが出ていた。同様の事件がまた起こり、将軍直属の隠密同心(十蔵、流れ星お綸、伊賀者の稲妻お竜、そして、忍びの修業をして加わった板前の右京)が捜査を開始。旗本・御家人を養子に入れ替えて島津幕府を興そうと企てる薩摩の陰謀を挫く。

「風魔忍群、血と涙の掟」右京のもとで板前の修業中の新次の姉お小夜は、使い捨ての駒にされているとも知らず、風魔忍群再興のためと信じ仲間たちと千両箱を盗み出す。上野の永昌寺を根城に討幕の軍資金を集めているのはまたも薩摩。お綸、お竜が捕らえられて阿片中毒にされる中、右京と十蔵は大陰謀を阻止するため寺に切り込む。罠だったが、罠に乗ったお小夜が爆薬を投下し、危機を救う。彼女は隠密同心の一員となるべく、愛する右京に送られて修業の地・伊賀へ旅立つ。

7) ヤマトよ永遠に (集英社、1980) 8月

西暦2202年、地球は暗黒星雲帝国の奇襲攻撃を受ける。火星基地を通過するとき人間の脳だけを破壊してみせた重核子爆弾が据えつけられ、地球は降伏を要求される。地球防衛軍本部で働く古代守は長官を逃げすために自爆。古代進たちはヤマトがある小惑星イカルスに高速連絡艇を飛ばすが、狙撃された森ユキは地上に残ることになる。

ヤマトは重核子爆弾の起爆装置を破壊するため40万光年彼方にある敵母星デザリアムへ。真田滯として乗艦したのは1年で大人の体に成長したサーシャだった。叔父に恋心を抱くが、古代はユキのことしか眼中にない。一方、ユキは敵の技術将校アルフォン少尉のもとで静養し愛を求められ、重核子爆弾の秘密を知るために地獄に落ちる覚悟もする。が、心のやさしい少尉は、わざと逃がして自分を攻撃するよう仕向ける。暗黒星雲を抜けたヤマトは200年後の地球に来てしまう。世界中の美術品を揃えて迎えた聖総統スカルダートがそう説明したが、ロダンの《考える人》が左手でポーズをとっていることに隊員が気づき、擬装とわかる。サーシャは覚悟を決めて母星本体に潜入し、起爆装置を見つけてヤマトに知らせる。聖総統がサーシャを撃ち殺しボタンを押す寸前、古代は波動砲を発射する。パルチザンに加わったユキは、瀕死のアルフォン少尉から起爆装置が母星と地上の二重構造であることを聞く。機械文明が進んだ暗黒星雲帝国の人びとは頭以外は機械のサイボーグで、人間の肉体を求めて侵略したという。幻影となったサーシャは亡き両親に迎えられ、ヤマトはユキの待つ地球へ帰る。

8) キャプテン (文化出版局、1980) 12月

原案・ちばあきお

谷口タカオは野球の名門・青葉学院中学から町工場の多い下町の墨谷二中に転校して、練習中の野球部に入部を願い出る。青葉学院のユニホームを着たとたん、待遇ががらりと変わり、尊敬される。いまさら二軍の補欠だったとは言えない。バッティングを試されると、マグレ当たりでホームラン。一躍英雄に祭り上げられ、困ったことになったと悩む。大工の父がボールをバネではじき出す機械をつくってくれて、神社で隠れて猛特訓。その甲斐あって新キャプテンに任命される。優柔不断な性格を改め、熱心に研究し、練習に力を入れる。慣例を破り有能な1年生の五十嵐を大抜擢し、全日本中学野球地区予選大会を勝ち進み、青葉学院と決勝戦を争う。惜しくも敗れるが、全国大会で日本一になった青葉学院の監督が二軍チームを試合中に一軍選手と入れ替えて14名以上使ったことが問題化して、再戦が決まる。キャプテンのタカオにとって最後の試合。試合中に指の爪がはがれ指の骨が折れても絶対に勝ちたい試合だった。キャプテンの闘志がチームに逆転サヨナラ勝ちをもたらす。

9) サイボーグ009 超銀河伝説 (文化出版局、1980)

12月 原案・石森章太郎

国際宇宙研究所で所長のコズモ博士は、すでに引退しているギルモア博士相手に、宇宙の母源ボルテックスについて解説している。すると予知能力のある赤ん坊の

001がゾアの宇宙征服の野望と敵の来襲を警告。ただちに世界各地からサイボーグ戦士が集結する。002の闘牛士ジェット、003のバレリーナ、フランソワーズ、004プロスキーヤーのハインリヒ、005のアメリカインディアン酋長ジェロニモ、006の名コック張々湖、007のシェークスピア役者グレート・ブリテン、008のアフリカ人高飛び込み選手ピュンマ、孤児で少年鑑別所出身のレーサー009の島村ジョー。コマダー星の少年サバが、宇宙船のイシュメールで助けを求めに来る。母星を襲った敵が、ボルテックスのコントロール理論を完成した父コルビン博士を連れ去ったという。それを使ってゾアは全宇宙を支配する気らしい。001とコズモ博士も基地のカデッツ要塞星に連れ去られてしまい、009らは、イシュメールを武装して救出に飛び立つ。エンジンを修理しに立ち寄ったファンタリオン星では、一つ目巨人のペンダントに幽閉されていた王女タマラを救助し、ジョーは王としてとどまるよう頼まれるが、恋人フランソワーズがいるので断る。タマラはゾアの手下に殺されてしまう。ゾアはサイボーグで、自分を造った星の文明も滅ぼしたという。要塞星に潜入すると、コルビン博士はコンピューターに知識を移され亡くなっていた。004のハインリヒがここを死に場所を選び、体内の小型原爆を爆発させてみんなの危機を救う。ボルテックスへ向かうゾアを追い、009もその中へ。対話により、ボルテックスが制御など到底できない宇宙の超生命体であることがわかった。ゾアは滅び、009たちは一瞬のうちに地球に帰り、死んだはずの004と再会する。それは、009が、ボルテックスの中で願ったことだった。009はフランソワーズと地球に帰ることも願ったと言い、003と唇を重ねる。

10) ムーの白鯨 (文化出版局、1980) 12月

原案・福尾元雄

3万年前、平和を愛するムー帝国が激戦の末、異次元に大陸ごと追いやった軍事大国アトランティス帝国が、1982年の惑星直列で突如出現。国連軍を圧倒し、地球に帰還すべく超エネルギー「オリハルコン」を捜しだす。こうなることを見越してムーの5人の戦士が剣・麗・譲・信・学として転生し、イースター島に集結。ムーの指導者ラ・ムーの脳を移した巨大な空飛ぶ白鯨に乗って決戦を挑む。上巻「アトランティスの襲来」はムー側の視点で、主人公の剣と、ラ・ムーのサイボーグ化した娘マドーラの時空を超えた愛を中心に描き、下巻「悲劇の王女ラ・メール」はアトランティスの視点から地球侵略を語り直し、幼いころに人質にとられ敵地で戦士として育ったマドーラの姉ラ・メールと、残忍な帝王ザルゴンの二男プラトスの悲恋に重点を置く。「ラ・グリル」の愛の力で、マドーラが人間になるラストが感動的だ。

11) 1年B組新八先生 (文化出版局、1980-1)

12月-3月 原案・重森孝子

①新八先生初登場

荒川区桜中学校に赴任した新米教師の新田八郎太は、産休教員の久美子先生に助けられながら、なかなか理想どおりにはいかない1年B組の担任業務に情熱を傾ける。初日にいきなり教室の割れたガラスをめぐってその反応を見守る生徒たち。スカートをはいたことがないという伊都子は男子用の学生服で登校し、それならばとピンクのブラウスを着る女子生徒も出てきて対応に苦労する。教職には体力が必要とトレーニング・ウェアで出勤して、毎日走り込む。やがて女子生徒たちの初恋の対象になり、教室で何かと反抗する小田康平にも一目置かれるようになる。「登校拒否」を続けている山本文夫は父子家庭で、長距離トラック運転手の父親は家にいないことが多い。新八は、不良とつき合う文夫に教科書を受け取ってもらおうと根気強く長屋に通う。

②成績表とラブレター

文夫はついに学校に姿を見せる。不良グループを抜けるのに殴られて負傷し、日曜日に準備した歓迎会は校長先生の許可を得て、新八の授業時間に行なわれる。1年B組は1つにまとまって、みんなは、授業が遅れている文夫を応援する。そのほか、新八は光のために万葉集を英訳してラブレターの代筆をしたり、女の勉強は無駄になるという女子生徒たちの反逆を真摯に受け止め女校長に指導を仰いだり、反抗の末、父親の転勤でアメリカに行くことを決めた岡純子が級友に送り出されたのち転勤が延期になって合わせる顔がないと悩んでいるのを教室に連れてきて大歓迎したりして、1学期が終わる。悩みに悩んでつけた成績表に生徒全員が満足し、新八は教師になってよかったと実感する。

③さよなら久美子先生

蔵原あかねが黒板に遺言を書き姿を消す。両親が離婚して悩んでいたが目立たぬ生徒だった。新八と久美子は自殺を止め、彼女が書いた詩を歌にして励ます。その後、新八は、女子高生をナンパしたと噂になっている劣等生3人組の「兄貴」としてパチンコ店、ディスコ、屋台のおでん屋に連れてゆき、興味津々の大人の世界を見せてやる。そして夏休みの終わり近くになって新八と久美子は、1年B組の思い出に残るキャンプ合宿を実施する。——始は水汲みの途中、いずみが一時帰宅するのを約束どおり理由も訊かずに待ちつづけ、夕食に遅れて先生に叱られても秘密を守りとおす。生理の予定日が狂ったのだが、始といずみにとって、初恋の美しい思い出になる。産休中の田村先生の復帰が近づく中、久美子は美人の姉にコンプレックスを抱く「デブでブス」のあけみの味方になり、自画像を描いて自己を肯定するまで導く。最後

の授業では「銀河鉄道の夜」を引用し、自分の目でものを見ることができる人間になるよう激励し、1年B組のみんなを感動させる。送別会で、生徒たちはみな新八と久美子の結婚を望んだが、新八は現実はその単純なものではないと大人の事情を垣間見せた後、教師として自信がついて機が熟したら、みんなを呼んで祝ってもらおうと約束する。久美子の目から涙があふれ出る。

12) 燃えろアーサー 円卓の騎士物語

(文化出版局、1980-1) 12月-4月

キャメロットのユーゼル王は、予言者マーリンの予言どおり王子を授かるが、そのアーサーの3歳の誕生日に王妃とともに殺されてしまう。魔女メデッサが、小国のラヴィック王をブリテンの王になれるとそそのかしたのだ。幼いアーサーは難を逃れ、エクターに育てられた。12年後、カンタベリー大寺院の礼拝堂の剣を引き抜いてキャメロット城の王子に返り咲く。ログレス諸国の王を集め王のなかの王になるつもりだったラヴィックは怒り、アーサーを殺そうと黒騎士団を差し向ける。霧とともに謎に満ちた緑の騎士が現われて助けてくれた。ユーゼル王殺しの濡れ衣を着せられ殺されたベニック国のバン王の子ランスロットとコーンウォールの王子トリスタン(愛馬ジュピターに乗り、堅琴で矢を放つ)がアーサーを守る。緑の騎士はアーサーを決闘で破り首をとろうとしたが、彼らの友情に免じて許し、マーリンの居場所を教える。そして、マーリンの口からラヴィック王こそがアーサーとランスロットの仇敵だと知らされる。しかし、支援する魔女メデッサは神剣エクスカリバーと聖なる楯ビショップがないと倒せないという。アーサーは、神剣の放つ強烈な光に耐えて、湖の妖精ビビアンからエクスカリバーを授かる。ベニック国は、ラヴィック王の手下ロスウィック公に支配されている。アーサーは、聖なる楯ビショップをもつナーシアンスを捜す。

ラヴィック王はキャメロット城の騎馬槍試合に「黒い狐」ペリノアを送り込んでアーサーを暗殺しようとしたが、メデッサが死霊「地獄の騎士」にエクスカリバーを奪わせようとするが失敗。総攻撃もレオデグランス王の援軍で敗れた。亡きユーゼル王が遺した四方円満の願いがこもる円卓で、アーサーを中心に若き騎士たちが団結。トリスタンは父王を説得し、コーンウォール国はキャメロットと同盟を結ぶ。険しいオークニーの岩山を上って竜と戦い、アーサーは隠者ナーシアンスから聖なる楯を持つにふさわしいと判断される。これで無敵となり魔女メデッサをついに退治する。ワールズ国王子ガラハッドはアーサーの助けを借り、塔に幽閉されていた母を救出。メデッサの娘である魔女メディアや、バイキングの騎士キラールセンがじゃまをするが、アーサーはラヴィック王

を神剣エクスカリバーで倒して、ログレスに平和を取り戻す。そして、美しいギネビア姫に求婚しようとするのだった。

13) 宇宙戦艦ヤマトⅢ (集英社、1981) 1月-5月

監修・西崎義展

デスラー総統のガルマン・ガミラス帝国がボラー連邦との戦闘中に放った惑星破壊ミサイルが太陽に命中して、核融合の異常増進が始まる。サイモン教授はあと1年で地球の生物は死滅すると予測。ヤマトは新しい乗組員を迎え古代新艦長のもと第二の地球探しの航海に出かける。しかし図らずも星間戦争に巻きこまれ、ボラーばかりかガルマンとも戦うはめになる。デスラー総統はそのことを知ると、ヤマトを朋友として迎え、古代進から地球の危機を聞く。ガルマンの科学力で制御を試みるが失敗し、地球型の惑星ファンタムを紹介してくれたが、その星は、人の記憶を幻として映し出す巨大なコスモ生命体だった。揚羽隊員はそこに保護されていたシャルバート教の宇宙の救世主ルダ王女を救出。虐げられた人びとが信仰する絶対平和のシャルバート星に送り届け、太陽を制御するハイドロ・コスモジェン砲を提供される。それを太陽に発射しようというときに、ボラー連邦軍の激しい攻撃を受ける。そこへデスラー総統が救援に駆けつけ、新しい乗組員の代表格である揚羽と土門の自己犠牲でなんとか命中させる。太陽は元の姿を取り戻し、地球は守られた。

14) GO GO! チアガール (文化出版局、1981) 4月

三原順子主演のテレビドラマのノベライズ。男子だけの進学校「三ツ星学園」に芸術コースが新設されて「女豹を思わせる鋭い目」をした一ノ木真弓が、ローラー・スケートを履いて転校してきた。パリ画壇で活躍する、有名日本人画家の娘だが、母を亡くして、フランス人と再婚した父親からは独立している。「生きてんのよ、私たち! 生きてんだからね!」と虎吉・熊夫ら名ばかりの情けない男たちに活を入れる。勉強しかできない学校にチア・チームを作って「姐御」と慕われ、城東高校の名門ラグビー部に運動部のエースを寄せ集めたチームで挑ませるなど、新風を巻き起こす。婿の校長は困り果てるが、明治生まれの鶴子理事長は真弓を高く評価して、チアガールの部活を公認する。

15) マルコ・ポーロの冒険 (文化出版局、1981)

5月-7月 監修・金子満

『東方見聞録』を書いたマルコ・ポーロの冒険の数々を描いたNHKアニメのノベライズ。1269年、宝石商人の父ニコロと叔父マテオが15年ぶりにヴェネチアに帰国。留守中誕生し、母を亡くしていたマルコは反発を覚えな

がらも、2年後、元の皇帝フビライ・ハーンに、新たに選出されたローマ法王の親書と聖油とキリスト教の賢者を届ける旅に同行する。派遣された僧2名は、危険な旅に恐れをなして早々と退散。マルコは、サソリや落石から守ってくれたラクダが負傷すると自分自身の手で殺し、砂漠では水がいかに貴重かということを体験で知った。ペルシャの残虐な盗賊団と戦ったり、砂嵐に遭遇したりして、厳しい砂漠の掟を学ぶ。

17歳で故郷ベネチアを立ったマルコ・ポーロは、父と叔父と一緒にシルクロードを苦労して進み、大元帝国の国際的な都・大都に到着。3年半かかって20歳になっていた。ローマ法王からの親書と聖油をフビライ・ハーンに渡す旅の目的を果たすが、命じられていた百人の賢者は連れてこなかった。不興を買いそうだったが、マルコは不老不死の木の根もとがどちらかという難問を解いて気に入られ、皇帝の代わりに国の実情を見て回る視察官に任命される。単独で旅を開始し、旅の報告書を書いただけでなく、南宋攻略にも一役買うことになる。

ジパングから定次郎が漂着し、フビライ・ハーンは黄金の国に再び兵を送るが嵐でまたも完敗する。宮廷では反乱未遂もあり、中国人に忌み嫌われる異民族の元朝は傾きだす。17年が過ぎ、60歳を過ぎた父と叔父のため、マルコはヴェネチアに帰る許可をとる。大ハーンの通行証である黄金のパイザが役に立たなくなり、コカチン姫をイル・ハーン国へ送り届け、バチカンに親書を届ける任務を兼ねて帰国の途に就く。少女の水先案内人を得てマラッカの岩礁地帯を無事通過し、スマトラ島では一角獣(サイ)と森の神様(オランウータン)を見て虎を矢で仕留める。セイロン島、コモリン岬、カリカットの港での冒険を経て、コカチン姫と皇子ガザン(当初、夫になるはずだった国王は亡くなっていた)の結婚を見届ける。フビライの死の知らせで、ローマ法王に会う仕事はなくなって、27年ぶりに故郷ヴェネチアに帰る。しかし、ジェノアとの戦いで市は疲弊し、家は遠い親戚のものになっていた。マルコは大都に戻りたくなくて船に乗るが、ジェノア軍に捕まって獄中生活を送り『東方見聞録』が口述された。結婚後、父と叔父が死去。1323年、70歳になったマルコは目を閉じて、若き日の自分を懐かしむ。

16) 新竹取物語 1000年女王 (文化出版局、1981-2)

6月-3月 原作・松本零士

雨森電子鉄工所で爆発が起こり、14歳の始は両親を亡くす。宇宙船の動力装置の設計図をめぐって1000年盗賊が暗躍。筑波山天文台所長の伯父は、惑星ラーメタルが1999年の今年9月9日零時9分9秒地球に最接近すると予測。危機が迫る。秘書の雪野弥生の正体はラーメタルから派遣された1000年女王(本名アンドロメダ・プロメ

シューム)。人間を奴隷として母星へ送り込むのが役目だった。そして、敵と思っていた1000年盗賊は地球を守ろうと1000年女王の座を降りた姉セレンだった。弥生も、他者のために命を懸ける始との交流で愛に目覚め、地球人類を守ることを決意。新たに送り込まれた1000年女王を倒し、ラーメタルの接近で富士山が噴火して伊豆七島が沈む中、母ゴッド・マザーを説得しようとするが失敗。母星が暗黒彗星とペアで移動していることを知り、育ててくれた三食ラーメン堂の老父母（記憶を植えつけられた地球人）と始に別れを告げて、隕石エネルギーを動力とする大宇宙船で突入する。始は、約束した地球の再建に張り切る。

17) 2年B組仙八先生（集英社、1981-2）7月-2月

原作・重森孝子

世田谷から下町の桜中学校に転任してきた伊達仙八郎（仙八先生）は、熊本大学卒の新任・細川安子（生徒からアンコ先生とあだ名をつけられる）と大衆食堂『おふくろ』に下宿し、二人で2年B組を受け持つ。生徒たちが河原で教科書を焼いてしまう事件をいきなり起こしても、口ひげを生やした仙八は掃除させてガリ版の教科書を用意する。経験を積んでいるので自信があり、教師と生徒の関係を崩さず、楓二中との集団決闘を仕切ったり、生徒指導で怒鳴ったり頬を平手で打つことも躊躇しない。

小学6年生のときに書いた作文「2年後の私」を見て早くも夢を打ち砕かれた生徒たちに仙八は「あるがまま生き抜く」ことを勧める。努力してもライバルの典子に得意の数学で勝てなかった賢三には、今日の競争社会で戦う敵は自分自身だと教える。能力の限界を感じている優等生の博には、自分を見つめ直せとアドバイスする。友達の評価に絶望する学級委員の和子には、半分は批判だが残りは高評価であることを指摘して、すべてが思いどおりになるとは限らないのが現実だとし、自分の信念を守りとおす大切さを説く。

アンコ先生は、父を亡くした克也を下宿に呼んで個人指導をつづける。克也は恋心を抱きラブレターを送るが、まだ早いと言われ、暴走族に加わる。アンコ先生は止めようとしてはねられ重傷を負い、6か月の休職と決まるが、克也を教室に戻すため車イスを押させて学校へ行き、最後の授業を行なう。（後任は23歳の榊原解子。実践的英語教育で生徒たちを鍛え直す。）何のために生きるのかと問う悦子に、仙八先生はそれについて考え悩むことがすばらしいのだと説く。転校生の朔子を無理やり引き込んで狂言自殺で誰が自分を一番思ってくれているか試そうとした真美に対しては、平手で二度殴り本気で叱る。

珠子・由子・典子はデブの神田勇をからかい、ひとみが好きだと言っていると嘘をついてメガネをコンタクト

に替えさせ、ダイエットを始めさせたばかりか坊主刈りに誘導。仙八先生は、人の心をもてあそぶのはクズだと3人組を怒鳴りつけ、引きこもる勇には堂々と屈辱に耐えて二度とからかわれるなど檄を飛ばす。虚無的な転校生・上田夏彦が飛び出しナイフで楓二中で問題を起こし、桜中3年の番長が克也に処分を依頼してくる。父ばかりか母親まで亡くした克也はやけになり、ナイフで夏彦と決闘。仙八が間に入って、もみ合いになっている二人を止める。先生に諭されて、克也は卒業式の「お礼参り」と次期番長の座を断念する。転校が決まっていた夏彦は、下宿して桜中学にとどまる。半年が過ぎ、アンコ先生が帰ってくる。

18) さよなら銀河鉄道999（集英社、1981）8月

原作 監修・松本零士

あれから2年。地球に帰った星野哲郎はパルチザンに入り、機械化兵と戦っている。そこへ「哲郎、999に乗りなさい」とメーテルのメッセージが届く。仲間たちが命を懸けて送り、荒廃した中央大ステーションから999が飛び立つ。行き先は機関車しか知らないとおなじみの車掌が言う。哲郎は、化石化ガス雲の襲来で彫像のようになってしまった新妻を救うため999のパスを奪った「化石の戦士」を回想する。停車駅のラーメタル星でも機械化人と人間が戦っている。哲郎はパルチザンのミヤウダーとキャプテン・ハーロックに助けられ、メーテルと再会する。終着駅はアンドロメダ大星雲の中心にある惑星プロメシューム。メーテルは跡を継ぐ新女王と見なされるが、星自体として生き続ける母を殺すのが目的だった。哲郎は、工場で人間が生命の火を抜き取られ、それを入れたカプセルが機械化人の食料になっていることを知る。ミヤウダーの死体も見て怒りに燃える。クレアの後任ウェイトレスのメタルメナは改心して味方として死ぬ。立ち上がる黒騎士ファウスト（ハーロックの旧友で、哲郎の父）と銃の決闘で勝った哲郎は〈サイレンの魔女〉と呼ばれる大暗黒彗星に呑み込まれそうになるが、999で脱出。ついに惑星プロメシュームは滅びる。メーテルはラーメタルのホームで、地球行きの999に再び乗ろうとはせず、それが永遠の別れになる。

19) 燃えろアーサー 白馬の王子（文化出版局、1981）

8月-9月

悪王ラヴィックが減んで3年。あれは替え玉で、北欧ノルマンに本物が生きているという噂を聞き、アーサーは身分を隠して調査の旅に出る。バイキングからお宝を奪った二人の少年ボスマンとピート、オウムのサンデー、ムク犬のバロンを連れて旅する。ドジなアーサーを演じ、危機になると白馬ペガサスを呼んで神剣エクスカリバー

と聖なる楯ビショップをもつ「白馬の王子」を名のって戦う。「北の魔王」の砂金増産・けしの花栽培・火薬の製造を阻止する。サクソン城で海賊船にさらわれそうになった婚約者ギネビア姫を救出したりもする。

「北の魔王」はラヴィック王だった。巨大フィヨルドの奥地に立てたバイキング城で、魔女メデッサの靈魂を照魔鏡で呼び出し助けを求める。白馬の王子がアーサーらしいと気づき、殺そうと手下を差し向ける。偽のギネビア姫、秘密兵器「火を吐く竜」を操るドラゴン、魔女ギアナ、雪の魔女などと戦い、アーサー一行は、ついにバイキング城へ。ヘリウムガスで飛ぶ海賊船をぶん捕ったランスロット、トリスタン、ギネビア姫も助けに駆けつける。メデッサの照魔鏡はエクスカリバーで割って、ウルドの壺の中へ。「北の魔王」ラヴィックは仲間割れして塔で争っているところを自分で仕掛けた火薬が爆発して死す。アーサーはキャメロット城へ帰る。

20) 宇宙戦士バルディオス（文化出版局、1981）11月

原作・酒井あきよし

放射能で汚染されたS-1星。レイガン博士は放射能濾過循環システムの開発を急いでいたが、軍国主義が台頭、老皇帝とともに暗殺される。総統に就任したガットラーは、亜空間戦隊アルデバロンを率いて地球侵略に着手。一足先に地球に到着したレイガンの息子マリンは父の敵討ちと地球の自然保護のため、月影指令長官のもとブルーフィクサー・シークレットに入隊し、雷太、オリバーとともに戦闘ロボット『バルディオス』に合体して戦う。しかし、総統の女指揮官アフロディアが弟の仇敵としてマリンを憎悪する。地球側は、BFSを排除しようとする勢力が巨大ロボットを新造したり、平和を望む世界放送が地球のために戦っているBFSを敵視してガットラーに平和会議を申し入れたりして、さらに犠牲者をだすはめになる。地球を守るマリンもしょせんS-1星人だと売り渡されそうになるが、彼は地球の味方を貫き通す。

21) 海のトリトン（集英社、1982）6月

原作・手塚治虫

一平じいさんに13歳まで育てられた緑色の髪の少年、トリトンは白いイルカのルカーから自分がトリトン族の生き残りでポセイドン族が命を狙っていると知らされる。確かに家には証拠となるトリトン族の短剣と衣装が隠されていた。巨大な海獣が村を襲い、トリトンはルカーに乗って海に出ざるをえなくなる。亡き両親のメッセージの入ったホラ貝を預かっていた大ウミガメのメドンも、トリトン族の生き残りの少女（成人前で人魚の姿）ピピをかくまっていた老アザラシのプロテウスもポセイドン族の攻撃を受けて死ぬ。トリトンは赤く光る強力なオリ

ハルコンの短剣を武器に不気味な女海人ドリテア、巨大アンコウに乗るポリペイモス、催眠術を使うレハール、女戦士ヘプタボーダ、巨大イソギンチャクのアーモン、緑色の半魚人ゴルセノスらを打ち負かして、わがままなピピの信頼を得て大西洋に入り、ポセイドンの神殿に乗り込んでゆく。巨大な神像と戦うことになるが、自分のせいでポセイドン族の住民が絶滅し、そもそもトリトン族の源流であるアトランチス人が、ポセイドン族を生贄にして苦しめていたことを知る。正義は、トリトン族になかった。トリトンは複雑な思いで、平和で自由な海を歓迎する魚たちのもとへ帰る。

22) 小説 ガラスの仮面（白泉社、1982-3）8月-6月

原作・美内すずえ

横浜の万福軒に住み込みで働いている母と二人暮らしの北島マヤは出前の手伝い中、映画に夢中になる。公園で子供相手に場面を再現して見せているところを顔半分にはやけどを負った伝説の女優・月影千草にスカウトされる。大晦日に一人で出前をして手に入れた切符で、初めて姫川歌子の舞台劇『椿姫』を見て感激し、千草の前ですべてを再現して見せる。劇作家の尾崎一蓮が死ぬ前に託した『紅天女』の上演権を大都芸能が汚い手を使ってでも買い取ろうとするが、千草は主役を自分の手で育て上げる気だ。マヤは学校祭で道化の女役で主人公以上の注目を浴び、演じる楽しさを知る。家出して母親と縁を切って『劇団つきかげ』に入団。何度も平手打ちを食う厳しい特訓を受ける。第1回の発表会では『若草物語』の3女ベス役。普段から編み物に打ち込んでベスになりきり、クライマックスの猩紅熱の場面をリアルに演じるため一晩中雨にあたって40度の熱を出して舞台に上がる。大都芸能の陰謀で評論家が酷評して、2億円を融資した青柳芸能プロが演劇コンクールで優勝するよう厳命する。歌子の娘・姫川亜弓が所属する劇団オンディーヌは同じ『たけくらべ』を亜弓主演でぶつける嫌がらせに出る中、マヤは物置小屋に閉じ込められ、自分ならではの美登利を編み出す。亜弓の完璧な美登利が拍手喝采を受けた後、無邪気な下町娘を対照的に演じて観客と審査員を驚かせ、二劇団第1位、全国大会出場の奇跡を起こす。大都芸能の若社長真澄はマヤのファンになりバラの花束を贈っているが、マヤは「紫のバラの君」が誰かまだ知らない。

23) 南の虹のルーシー（秋元書房、1982）8月-10月

原案・フィリス・ビディングトン

1837年、イギリスから95日かけて移民船が南オーストラリアに到着。本国よりももっと大きな農場をもつ希望を抱いてアーサー・ポップルの一家が上陸する。5人の子供がいてテントでは足りず、カンガルーが飛び跳ねる

外で、末娘ルーシー・メイは姉のケイトと樽の中で寝る。動物好きでハムスターを連れて来たルーシーは、原住民の少年が飼うコアラに魅了される。一行は、海岸から10キロ先にある首都アデレードへ行くが、人口300人の、家もない建設中の町だった。運搬用の牛馬が希少なため、せっかく持ってきた組立式の家はわがままな大金持ちのペティウエルに売って、みすばらしい小屋があるきりの土地に落ち着く。ルーシー・メイはお隣が焼いてくれたパンを食べて満足する。

酒好きで酔って帰りの船に乗りそこねたデイトン医師が同居。ポップル一家は、家を増築し、さらには病院を兼ねた干しレンガの家を建てる。ルーシー・メイは、母ディンゴを殺されたリトルを育て、子羊スノーフレイクを守るまでに訓練したが、向かいに住むペティウエルの黒犬がリトルの正当防衛で死んでしまう。怒った金持ちは、ポップル農場になるはずだった土地を、金にものを言わせてわがものにする。1年かけた一家の夢は遠ざかるが、家族は美しい虹を見て希望を新たにします。

24) 3年B組貫八先生 (秋元書房、1982) 9月 - 11月

原作・岩間芳樹

昭和57年、夜間中学から昼の桜中学校に転任した神崎貫八(35歳)は8人兄弟の末っ子(母親は満州の引揚者)で働きながら夜間高校と大学の二部を出た苦労人。趣味は風揚げで喧嘩が強く、女性とゴキブリが苦手な涙もろい独身の国語教師。種田山頭火の俳句を引きながら人生を教え、何かと反抗する不良の木下、胸がなく「エグレ」とからかわれる恵、大衆演芸の親を持ち高校より役者になれと言われて困っている豊、事故で父を突然亡くした須藤など生徒たちを誠実に励ます。

夏休み中、4人が家出騒ぎを起こし、貫八はビンタをくわせ、一緒に反省するとバリカンで自分の頭を刈らせる。ディスコで不良に引き込まれたかおると令子は木下が救出。定期試験中、心因性の腹痛を我慢させ、さつきがショック症状を起こしたときは辞める覚悟だったが、3B生徒たちが引き止める。受験で苦しむ彼らを鼓舞しつつ、心を掴む。文化祭では貫八の半生を劇にして、木下が、恩師と出会って改心する不良の貫八を熱演する。

25) 宇宙戦艦ヤマト 完結編 (集英社、1982-3)

12月-3月 原作 監修・松本零士、西崎義展

X星雲が銀河系に接近して異変が起きている。調査に出たヤマトはガルマン・ガミラス本星が滅んでいるのを確認し、重力波を避けてフリーワープ。大洪水に見舞われているディンギル星に出て少年を救助するが、弱者を見捨てて逃げた都市衛星ウルクの艦隊からミサイルを撃ち込まれ、古代は瀕死の重傷で地球に帰還する。多く

の犠牲を出した責任を取って艦長を辞任すると、極秘に治療を受けて甦った初代沖田艦長が再びヤマトを指揮し、古代も戦闘班長に戻ってディンギル帝国と戦う。ノアの大洪水のときにディンギル星人に助けられその後その星を乗っ取った地球人を先祖とするルガール1世は力のみを信じ、水惑星アクエリアスをワープさせ水没した地球を自分たちの移住先にする計画だった。ヤマトはウルクで航海長の島が戦死するほどの激戦を戦うが、ワープは止められない。沖田は、古代とユキにすばらしい世の中にする結婚生活を説き、最後の任務につく。妨害しようとするルガール艦は、生きていたデスラーが助けに駆けつけて道連れに体当たりで爆発。沖田はトリチウムを積み込んだヤマトに残り、波動砲の引き金を引いてヤマトを自沈させ、アクエリアスの水柱から地球を守る。

26) 小説 ナイン (小学館、1983-4) 11月 - 4月

原作・あだち充

俺、新見克也は陸上短距離の中学新記録保持者、当然、青秀高校では陸上部に入るはずだったが、親友で県大会柔道チャンピオンの唐沢と、甲子園をめざす野球部監督の娘でマネージャーの中尾百合に一目惚れして野球部に入部する。父親に野球を禁じられて痴漢になり下がっていた全国中学野球大会優勝投手の倉橋も晴れて加わって、初勝利も実現。しかし、百合は強豪・武南の山中健太郎投手と幼なじみで二人は恋仲らしい。そして、青秀陸上部の美少女・安田雪美が俺にひたすら思いを寄せる。

俺と唐沢は、不良グループにからまれていた百合を助けるが、そのとき俺は足首を捻挫してしまう。予選で山中が投げる武南高校と対戦。このけがのため惜しくもサヨナラ負けしてしまう。すれ違いながらも百合は俺に好意を見せてくれて、文化祭ではフィナーレのフォークダンスと一緒に踊ることができたが、不良グループから俺を守って刺されるほど熱愛してくれている雪美が嫉妬して、俺をデートに誘いキスしてきた。

雪美は妹みたいで悪い気はしなかった。そこへ山中の弟二郎が野球部に入部。グラウンドで雪美に一目惚れして、本気でアタックしつつける。優柔不断の俺は見習うべきだと反省し、百合が好きだとはっきり表明する。雪美はやけを起こすが、そのうち二郎を受け入れるようになる。俺には、交通事故で亡くした兄の面影を重ねていたのだ。雪美は、夏の高校野球県予選でチアガール団を結成して応援してくれた。そして準決勝、武南の山中と対決することになる。

山中兄は二郎をからかって手を負傷していた。俺はセーフティ・バントで出塁して同点ホームを踏み、倉橋のホームランで武南に勝利するが、倉橋もデッドボールで指を負傷しており、甲子園には行けなかった。夏休み、

男子は山へ遊びに行き、熊谷女子高のグループと親しくなる。俺は、百合が浮気を疑い嫉妬していることを知り、発作的に彼女にキスする。山中はドラフト会議前に百合にプロポーズ。あきらめかけた俺の前に現われた百合は断って来たと告げる。俺たちは正式の恋人同士になる。

山中は8千万円で西武ライオンズ入り。青秀野球部はどうしても甲子園に行きたい監督の陰謀で、永井和正という美少年選手（じつは心臓に欠陥がある代打専門）を得て練習に力が入る。夏の予選を勝ち進んで、負けたら女子庭球部と伊豆の海で合同合宿すると気楽に臨んだ決勝で、山中のいなくなった武南に勝って甲子園に行く。準々決勝で敗退するが、唐沢はホームランを打ち、俺は完全盗塁を決める活躍を見せた。百合とはディープキスを交わす仲になり、唐沢の初恋成就と一緒に見届ける。百合は不良から助けてもらったときに俺と結ばれることを心に決めていたと明かし、俺は幸せの絶頂を感じる。

27) **グーデの紋章**（大陸書房、1990）2月

原作・ひかわ玲子

傭兵稼業の女戦士二人が薬を盛られて奴隷船に乗せられている。剣の天才ジリオラはムアール帝国の開祖オカ

レスク大帝の血を引く元皇女。相棒のエフェラは魔道士のなり損ないながらリダレーン（幽体離脱）ができる。男勝りの二人組は、陰謀で乗せられたグラフトン公国のキリアン王子から脱出時に同行させてほしいと頼まれて、《グーデの紋章》が彫られた炎華玉石のペンダントを渡される。作戦は失敗して王子は殺されてしまうが、改めてそのペンダントを報酬に、今度は3兄妹の生き残りで人質にされていたユリオン王子とルビエラ王女を、領土拡張中のフォード神聖皇国の追っ手から警護して祖国に送り届ける仕事を引き受ける。しかし、ルビエラが馬車から鳥人にさらわれてしまう。神聖皇国の中核となっているフォード神殿の謎の《皇母》の正体は魂を封じ込める子宮の化物だった。ジリオラは、兵士たちを指揮するセルディオン男爵と勝負してとどめを刺し、化物と戦う。エフェラは瀕死のユリオンに《気》を送り、《皇母》の後継者として胎内で眠らされたルビエラ王女に呼びかけるのを助ける。ペンダントが光って声が通じる。王女が目覚めて《皇母》は崩壊。ユリオンは力尽きて死ぬが、ジリオラとエフェラは、ルビエラ王女が祖国グラフトンへ帰っていくのを見送り、息の合った口論を始めて新たな旅路につく。

Ken WAKASAKI's Novelization: Japan's Best Anime and Manga Stories around the Early 1980s

Koichi YOKOYAMA

Ken WAKASAKI (1947-) novelized as many as 27 titles of Japan's popular anime, manga, and TV dramas from 1978 to 1990. As a multi-talented novelist who graduated from Tokyo University, he was able to create unique books retaining the very essence of the original visual works by using his knowledge of not only science, but also human beings both male and female. So, it was quite natural that the intelligent author became very popular among young Japanese from junior high school to high school students as soon as his novel version of the epoch-making anime movie *Farewell to Space Battleship Yamato* came out in August, 1978.

Just after the success of this book, he was recognized as a master hand at novelization. His works include *The Galaxy Express 999*, *Mu's White Whale*, and *Triton of the Sea*, not to mention all the *Space Battleship Yamato* series. In addition to these major heroic fantasies, he also novelized the TV animations of King Arthur and Marco Polo, both of which are now almost completely forgotten in Japan. WAKASAKI's less known novelizations of manga and TV dramas dealing with everyday lives of junior high school baseball players, junior high school teachers, girl actresses, and high school baseball players with beautiful female students are respectively Akio CHIBA's *Captain*, Tokyo Broadcasting System Television's *1-B Class Teacher Shinpachi-sensei*, Suzue MIUCHI's *Glass Mask*, and Mitsuru ADACHI's *Nine*, all of which are masterpieces as novels. Which means you can enjoy reading them without knowing the originals.

While Japan's Agency for Cultural Affairs boasts of "Cool Japan" anime and manga, it ignores the important contribution of WAKASAKI's hard work. It is lamentable that his old books have become less and less accessible at online bookstores and even in public libraries. Now is the time when his novels are properly stored for future generations of those who love Japanese pop culture, regardless of nationalities.

戦後復興期の群馬県の蚕糸業

— 稚蚕共同飼育を中心として —

石関 正典*

(2022 年 11 月 16 日受理)

1. はじめに

本校が所在する群馬県の蚕糸業は、近世初頭には農民の副業として営まれ、幕府による生産奨励もあり、享保年間以降県内全域で営まれるようになった。また、絹織物業は、近世初頭より桐生を中心に営まれ、京都から高機が導入されると、生産性が向上し、「西の西陣、東の桐生」といわれるまでに高級絹織物が生産可能となった。幕末の横浜開港以降、群馬県では生糸を集荷して横浜へ売り込む「荷主」や生糸を横浜の外国商館へ売却する「売込商人」が多数生まれ、当時生糸は日本の輸出品第 1 位となった。

明治政府は生糸の輸出振興を主政策のひとつに掲げ、近代的な生産方式により産業を育成することを企図し、官営製糸場の設立を協議した。そして、1872 (明治 5) 年に官営富岡製糸場が設置された。その目的は、粗製乱造により評判を落とした日本生糸の名誉挽回、官営模範伝習工場として日本各地から工女を募集し、製糸技術伝習後、国内製糸の指導者としての活躍を期待したものであった。

富岡製糸場は、官営模範工場としての役目を終えた後も、民間に払い下げられて、当時の建物内で操業が続けられた。1987 (昭和 62) 年に操業を停止するが、建物や設備は最後の所有者であった片倉工業 (株) の手により管理され、往時の姿をそのまま現在に伝えてきた。2000 年代に入ると県内各地で富岡製糸場の世界遺産登録を目指す運動が展開され、その結果、2014 (平成 26) 年 6 月 21 日、ユネスコの世界遺産委員会で「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、田島弥平旧宅、高山社跡、荒船風穴とともに世界文化遺産に登録された。また、群馬県では県内各地に所在する蚕糸絹関連の遺産や史跡を「ぐんま絹遺産」に登録し、世界遺産とともに PR している。

従来、蚕糸絹に関わる遺産は、世界遺産構成資産である

富岡製糸場や田島弥平旧宅など、普遍的な歴史的価値があり、観光資源としても期待される建造物や施設が積極的に保存・活用される傾向にあった。

しかし、蚕糸業は蚕の餌となる桑を栽培する「栽桑業」、蚕の卵を製造する「蚕種業」、蚕を飼育し繭を作らせる「養蚕業」、繭から糸を挽く「製糸業」などから構成されており、単体の建造物を保存するだけではその歴史的な意義やシステムを理解することは不可能である。また、群馬県の蚕糸業の沿革を扱った書籍として、群馬県内務部 (1903) 『群馬縣蠶絲業沿革調査書』や、群馬県蚕糸業史編纂委員会 (1955) 『群馬県蚕糸業史』 (上巻。下巻は 1956 年刊行) などが挙げられるが、これ以降連続的・統一的に沿革史を整理した書籍は出版されていない。

したがって、戦後復興期以降、群馬県の蚕糸業がどのような発展過程をたどり、どのように縮小していったのかに関する研究や、身近な地域の歴史の中に埋もれてしまった蚕糸絹に関わる遺構や文化、信仰、習俗なども含めた調査や研究が必要になると考える。

本稿では第二次世界大戦後、群馬県の蚕糸業の復興を推し進めた要因のひとつである「稚蚕共同飼育」を中心に、戦後復興期の群馬県の蚕糸業がどのような経緯をたどったのか、『群馬県史』や県内の市町村史 (誌)、『現代群馬県政史』等の書籍や、『群馬県統計年鑑』等の資料を用いて整理し、今後の研究の足掛かりとしたい。

2. 群馬県の蚕糸業の復興

2. 1 蚕糸業復興計画の策定

第二次世界大戦はわが国の蚕糸業を大きく衰退させた。第一次世界大戦以降、日本の主要な生糸輸出先はア

* 一般教科 (人文科学)

表 1. 群馬県蚕糸復興計画と繭生産の実績

年次(年)	計 画		実 績	
	繭生産(貫)	反当り 収繭量(貫)	繭生産(貫)	反当り 収繭量(貫)
1946	2,500,000	10.0	2,485,185	10.1
1947	2,950,000	12.0	2,088,615	8.3
1948	3,195,000	13.0	2,406,538	9.3
1949	3,609,000	14.0	2,584,119	9.0
1950	4,220,000	15.0	3,367,687	12.2
1951	4,864,000	16.0	4,040,851	14.9

出所：『群馬県蚕糸業史』下巻 p. 729 をもとに作成。

1 貫は 3.75 kg。

アメリカ合衆国（以下、アメリカと記す）であったが、1939（昭和 14）年、日本の中国侵略に抗議するとしてアメリカから日米通商航海条約の破棄が通告され、日米間に通商条約がない状態となった。さらに 1941 年 7 月、日本軍の南部仏印進出に対する報復措置として在米日本資産凍結命令が出され、同年 12 月には日米開戦により、アメリカに対する生糸輸出は完全に途絶した。

一方、日中戦争の長期化に伴い、国内では各種産業の統制が進められたが、1941 年 3 月には蚕糸業においても「蚕糸業統制法」が制定され、同年 5 月には日本蚕糸統制株式会社が設立されて、蚕種、繭、生糸などの一元的な集荷・配給が行われた。こうした統制の狙いは食糧の増産にあり、政府により桑園整理計画が立てられ、全国で桑園が掘り起こされて陸稲や芋類などの食糧増産に充てられた。

1945 年 8 月、第二次世界大戦が終結すると、わが国はアメリカを中心とする連合国総司令部（GHQ）の占領統治下に置かれたが、深刻な食糧不足にあり、アメリカから大量の食糧援助が行われた。その見返り物資として GHQ は生糸に着目し、同年 10 月、日本政府に対し戦時中の桑園縮小政策の中止や戦時統制会社の解体を命じた。

1946 年 8 月、政府は「蚕糸業復興五か年計画」を閣議決定し、生糸生産の奨励に乗り出した。その目標は 1951 年までに繭の生産 13.8 万トン、生糸の生産 27.3 万俵を目指すというものであった。

群馬県ではこの五か年計画に先立ち、1946 年 1 月に「群馬県蚕糸業復興計画」を策定した¹⁾。これは 1951 年までに総収繭量を 250 万貫（9,375 トン）から 450 万貫（16,875 トン）以上へと増加させることを目標としたもので、養蚕農家戸数、桑園面積の目標数値など 8 つの項目を柱としていた（表 1）。

しかし、蚕糸業の復興が唱えられても、桑園面積の増加は進まなかった。終戦直後の食糧難の時代であり、食

表 2. 第二次世界大戦後の群馬県の養蚕と製糸の概要

年次(年)	収繭高(kg)	桑園面積(ha)	桑園10a当り 収繭量(kg)	生糸 生産高(kg)
1947	7,832	24,333	37	655,433
1948	9,024	26,213	33	1,055,483
1949	9,323	25,062	45	932,303
1950	11,374	25,639	50	1,022,059
1951	12,657	25,032	62	1,236,825
1952	15,663	25,085	50	1,347,780
1953	11,833	23,514	60	1,205,415
1954	14,688	24,110	74	1,257,720
1955	18,318	24,415	63	1,576,733

出所：『群馬県統計年鑑』各年版をもとに作成。

生糸生産高は器械製糸のもの。

糧の闇価格が繭価格よりも高かったため、農家は養蚕より畑作を優先したのである²⁾。製糸業が順調に復興する一方で、その原料となる繭を生産する養蚕業の復興は遅れ、蚕糸業復興期に慢性的な繭不足をもたらした。繭の増産が始まったのは 1949 年以降であり、1950 年からの特需景気に乗って著しく生産量が増加した（表 2）。

なお、1953 年の各指標の数値がやや低下しているが、これはこの年の 4 月・5 月に凍霜害が発生したためで、作付面積 26,203 町に対し被害面積 19,643 町という大規模なものであった³⁾。

その後、養蚕業の復興が軌道に乗ると、群馬県では 1950 年に「群馬県蚕糸振興対策要綱」を策定、さらに 1953 年には「蚕糸業振興計画」が立てられ、1956 年までの三か年に桑園の増反、養蚕団体を強化し共同桑苗圃、稚蚕共同飼育などにより経営技術の向上をはかること、蚕業試験場・蚕業技術指導所の充実をはかり科学技術の研究と普及浸透に努めることなどが目指された。

だが、戦前と戦後では生糸の需要には大きな差があった。これはアメリカで人絹に加えナイロンなどの化学繊維が本格生産されるようになったためで、第一次世界大戦後、アメリカでは絹の靴下が流行していたが、化学繊維は靴下の素材としても使用されるようになっていた。このため生糸需要の主流も、靴下用の細糸から一般織物用の太糸へと変わった。輸出品に占める生糸のシェアは低下し、1955 年段階では輸出用 3 割、国内用 7 割と完全にその地位が逆転している。

また、群馬県の繭や生糸の生産量を戦前と戦後で比較すると、1939 年の収繭量が 803 万貫、生糸生産高が 75 万貫に対し 1946 年には収繭量 249 万貫、生糸生産高 15 万貫にまで低下した⁴⁾。その後、蚕糸業復興政策により 1957 年には収繭量 589 万貫、生糸生産高 63 万貫まで回

表 3. 群馬県の製糸業の復興状況

年度	器械製糸			座繰製糸			玉糸製糸		
	工場数 (軒)	設備台数 (台)	生糸生産高 (kg)	業者数 (軒)	許可釜数 (釜)	生糸生産高 (kg)	業者数 (軒)	許可釜数 (釜)	生糸生産高 (kg)
1945	23	4,028	151,628	…	…	6,971	…	…	52,804
1946	29	5,244	466,035	…	…	44,130	…	…	59,239
1947	31	5,552	655,433	202	2,914	39,548	28	1,969	112,920
1948	31	5,518	1,055,483	380	3,602	28,665	65	1,563	69,101
1949	32	5,588	932,303	456	3,657	66,000	56	1,516	112,815
1950	31	5,588	1,022,059	527	3,504	181,361	53	1,512	189,930
1951	31	5,650	1,236,825	515	3,440	235,785	46	1,482	277,931
1952	29	5,614	1,347,780	494	3,399	316,830	46	1,472	282,495
1953	30	5,534	1,205,415	492	3,385	322,241	46	1,472	178,890
1954	30	5,313	1,257,720	488	3,380	398,426	48	1,472	276,439
1955	29	5,210	1,576,733	…	…	…	…	…	…

出所：『群馬県統計年鑑』各年版をもとに作成。

復したが、戦前の7～8割程度にとどまっている。

2. 2 県内製糸業の復興

わが国の製糸業は第二次世界大戦中、戦力増強のための企業整備という至上命令の下、機械（器械）製糸工場は軍需工場に転換された。とりわけ、1942年以降、軍需生産拡充や軍需工場疎開のため、製糸工場、蚕種製造所、乾繭工場などで転換要請を受けるものが著しく増え、製糸業をそのままの形態で存続させておくことが困難となっていた。

このため製糸業を統合してひとつの企業にまとめようとする構想が浮上し、製糸経営機構確立要綱が決定されて製糸業の統合が進められることになった。こうして残存工場は「日本蚕糸製造株式会社」下に全国一本の企業体となり、これに加入することを決めた工場は後に「全国共栄蚕糸組合」を結成した。

戦後、GHQは占領政策の中で、経済的措置として日本の蚕糸業を最も重視していた。原料繭から生糸までを一貫して国内で製造でき、また、戦前から戦時中にかけて貿易が途絶える中で、絹製品の不足に悩まされ続けたアメリカにとって、日本の生糸は最も価値ある資産のひとつであった。このためGHQは絹糸資材の全面的調査や絹織物の奨励に乗り出すとともに、1945年9月には生糸、絹織物を輸出用に向けて凍結、GHQの特別な許可が無い限り国内向けの使用を禁止した⁵⁾。そして同年10月には日本蚕糸製造株式会社および全国共栄蚕糸組合が解体され、各製糸業は戦前の個々の企業体に還元されることとなった。

1945年、GHQの指示により蚕糸業統制の民間中枢団体として日本蚕糸業会が結成され、1947年11月に閉鎖機

関に指定されるまで統制事業を行ってきた⁶⁾。同会は国の援助の下、製糸工場の復元を促進するため設備費の80%の資金を融資し、5か年賦償還とする、1946年10月末までに完成した多条繰糸機⁷⁾に対して1台当たり1,000円の奨励金を交付する、復元工場の生産生糸は既存工場の生産生糸より1俵あたりおよそ300円の割増金を上乗せするなどの優遇措置を講じた⁸⁾。

この時期の群馬県内の製糸業の復興状況を見ると（表3）、機械製糸工場数は1945年の23件から1949年の32件と9工場が増えたにすぎず、設備釜数も4,028台から5,588台と1.3倍程度の増加にとどまっているが、生糸生産高は151,628 kgから932,303 kgへと6倍以上に急増しており、優遇措置により多条繰糸機が導入されたことで、生産効率が高まったことが考察される。

また、1955年頃から製糸機械の設備台数が減少傾向に転じるが、自動繰糸機の導入など労働力の合理化や省力化が始まったためと考えられる。

1950年に朝鮮戦争が勃発すると、わが国は特需景気に沸くことになった。蚕糸業会でも生糸価格が暴騰し、いわゆる「糸へん景気」の中で製糸会社は設備の拡張や生産量の増加に努めたが、2.1で述べたように原料繭は不足傾向にあったため、繭仲買業者による繭価のつり上げが横行したり、県外の製糸事業者も巻き込んだ原料繭の争奪が展開されたりした。

こうした混乱を抑えるため、1951年12月に「繭糸価格安定法」が制定された。これは繭及び生糸の価格の異常な変動を防止することを目的とするもので、生糸の最高価格と最低価格を設定して政府が生糸の買い入れ・放出を行うことで価格調整を図ろうとするものだった。

一方、生糸価格が高騰する中で、県内では座繰（ざぐり）製糸が再び復興し、生糸生産に進出する傾向が見られた。「座繰」とは繰糸者が椅子に座って繰糸（繭糸数本を合わせ1本の生糸として繰取る作業）を行う方法で、手回し式や足踏み式の機械が用いられる。座繰は国内用生糸の生産が主であったが、輸出に代わって国内需要の割合が高くなったことや、機械製糸に比べ資本設備が安く済むことから、糸価高の中で容易に設備投資が行われたものと考えられる。表3から、1947年には業者数202軒、生糸生産高も39,548 kgだった座繰製糸は、1950年には業者数527軒、生糸生産高181,361 kgに増加した。さらに1953年には、業者数は492軒とやや減少するも、生糸生産高は322,241 kgにまで増加している。

また、燃料事情の好転や家庭用モーターの普及に伴い、座繰製糸業者の中には繰糸設備にボイラーやモーターを使用し効率を高めるものも現れた。これは本来製糸業法上違法となる行為であるが（器械製糸業者は主務大臣の免許を受ける必要がある）、機械力の応用が一般化する中で自然的動向であるとし、1948年3月、農林次官通牒に基づき追認する形でこれらの業者を認めることとなった⁹⁾。このような座繰製糸業者の中には、原料繭購入時には機械製糸業者と激しく競合するものもあったという。しかし、生糸価格が低落すると経営困難となり、座繰製糸は再び衰退していった¹⁰⁾。

3. 稚蚕共同飼育の普及と群馬式簡易稚蚕共同飼育法

3. 1 稚蚕共同飼育の普及

第二次世界大戦後の群馬県の蚕糸業復興を推し進めた重要な要素のひとつが、稚蚕共同飼育の普及である。

稚蚕共同飼育とは、保温や給桑に神経を使い、また病害虫にも弱く飼育が困難な稚蚕期（1齢～2齢）の蚕の幼虫を、十数戸の養蚕農家が交互に労働力や桑葉を提供して共同で飼育にあたる方法である。養蚕の当たり外れは稚蚕飼育に大きく左右されるため、近代以降清温育、温暖育、いぶし飼いなどさまざまな飼育法が開発されてきた¹¹⁾。また、掃き立て（毛蚕を蚕卵紙から掃きおろし蚕座に移す作業）の後、2眠の頃までは飼育が上手な家に頼んで飼ってもらったこともあったという¹²⁾。

稚蚕共同飼育では熟達した指導者がつき、蚕作安定に必要な諸条件を整えて飼育するため、個人で飼育するよりもすぐれた蚕を得ることができた。

また、農家は桑葉の収穫や運搬、掃き立てなどの養蚕労働から解放されるという利点もあった。とりわけ稚蚕飼育を担っていたのは女性であったため、彼女らの過重な労働を軽減するのに役立った。

表4. 群馬県内の稚蚕共同飼育所の設置状況

年度 (年)	飼育所数 (箇所)	飼育箱数割合 (%)	
		二齢まで	三齢まで
1958	85	28.6	...
1960	100	30.0	3.0
1965	597	39.0	22.0
1968	870	55.3	38.1

出所：『現代群馬県政史 第2巻』p.591をもとに作成。

さらに、1951年当時の報告によると、個人飼育の36%の経費で飼育が可能であり¹³⁾、桑葉代、光熱費などの諸経費の節減、個人の蚕具（養蚕に必要な道具）の消耗軽減にも大きく貢献した。

こうした稚蚕共同飼育は、群馬県内では早くから取り組まれており、吾妻郡原町（現・吾妻郡東吾妻町）で1915（大正4）年に、個人の家に有志が蚕具、蚕種などを持ち寄って飼育を行った記録（日誌）が存在する¹⁴⁾。共同飼育所を設置し村落全体で飼育を行うようになったのは1930年代からで、戦時中も日本蚕糸統制株式会社が稚蚕共同飼育を奨励した。戦後は、物資が不足する中で、燃料や労働時間を節約するため数件の養蚕農家が一緒に稚蚕飼育を行ったこともあったという¹⁵⁾。

3. 2 群馬式簡易稚蚕共同飼育法の開発

1950（昭和25）年、体系的な稚蚕共同飼育技術として登場したのが群馬県蚕業試験場（現・蚕糸技術センター）で開発された「群馬式簡易稚蚕共同飼育法」、通称「土室（どむろ）育」である。当時の蚕業試験場長、日高八十七が中心となり、養蚕農家の生産意欲向上や女性の過重労働を取り除くことなどを目的として確立されたもので、その飼育室の構造は、間口1.1m、奥行・高さともに1.8mの木造・土壁づくりの土室であった¹⁶⁾。天井や地下には土管の換気口が設けられ、保温は木炭または電熱を用いた。室の内部に11段程度の棚を設け、蚕箔（蚕を飼育する容器）を入れて飼育する蚕架式蚕室で、一室1200グラム程度の飼育を行うことができた。簡素な構造のため少額の資本で設置することが可能で、飼育規模に応じて横に土室を連結することもできる構造となっている。

また、この飼育法のために「簡易稚蚕共同飼育室春蚕飼育標準表」、「簡易稚蚕共同飼育室夏秋蚕飼育標準表」も作成された。飼育標準表には季節や蚕齢に応じた給桑量や回数、温度や湿度の管理、飼育上の注意事項などが記されていた。群馬式簡易稚蚕共同飼育法の普及によ



写真 1. 西国分稚蚕共同飼育所 (2022. 8. 28 撮影)

り、県内では稚蚕共同飼育が急速に発展した(表 4)。

稚蚕共同飼育は養蚕近代化の要請から、農業構造改善事業などの補助奨励施策により、集落を単位とした普及が進められ¹⁷⁾、適切な技術指導による蚕作の向上や省力化が図られた。また、昭和 30 年代後半以降、自動温湿度調整装置や自動給桑機が共同飼育所に導入され、機械化も進められていった。

さらに、この「群馬式」は新たな飼育方法を求めている全国の養蚕農家にも受け入れられ、長野、愛知、岐阜、山形、宮城、高知などの各県にも普及している。

その後、1961 年に勢多郡宮城村(現・前橋市)の養蚕家・豊島源之助がこれを改良し、軽石ブロックを使用することで、土室育と当時農林省で研究されていた電気温床育(電気温床ケーブルを熱源として飼育室を保温する)の長所を組み合わせた安価な共同飼育所を建設した。壁はブロック積み、保温には電気温床を用いるこの方式は「ブロック電床育」とよばれ、良好な飼育成果をおさめたため、1962 年の春蚕期には群馬県内で新たに 20 か所の同形式の共同飼育所が建設されたという¹⁸⁾。

4. 現存する稚蚕共同飼育所の建物

3.2 で述べたように、「群馬式簡易稚蚕共同飼育法」の普及により、県内各地に稚蚕共同飼育所が建設された。しかし、その後の国産絹糸の需要減少や労働力の高齢化のため、養蚕農家が減少する中で、次第に共同飼育所も役目を終えていった。現在では宅地開発などのため取り壊されてしまったものも多いが、以下、本校近隣に現存する稚蚕共同飼育所跡の事例をいくつか取り上げる。これらの建物のすべてを保存することは想定できないが、地域の蚕糸絹の歴史に関わる遺構として、早急な調査や記録が望まれる(写真はすべて筆者撮影)。



写真 2. 疋間稚蚕共同飼育所 (2022. 11. 12 撮影)

①西国分稚蚕共同飼育所(高崎市西国分町)

上野国分寺跡からほど近い高崎市西国分町に所在するブロック電床育方式、二列型の飼育所跡。現在は家具などを製造する木工所として使われている。この飼育所の西側にある熊野神社の境内には「蠶影太神」と刻まれた石碑があり、この地域が養蚕で栄えた地であることをうかがわせる(写真 1)。

②疋間稚蚕共同飼育所(高崎市引間町)

本校から北西へ 2.5km ほどの場所にある稚蚕共同飼育所の跡。会社の事務所として使用された後、現在はカフェレストランとなっているが、建物自体は当時のものを改装して使用しているようである。稚蚕飼育の役目を終えた後、取り壊されたり放置されたりしている建物が多い中で、ユニークな活用事例といえよう(写真 2)。

③箕郷中央稚蚕共同飼育所(高崎市箕郷町東明屋)

箕輪城跡からほど近い箕郷町東明屋に所在する共同飼育所跡。敷地南側と北側に、ほぼ同様の構造の 2 階建ての建物 2 棟から構成される大規模なもので、1 階部分が半地下式の貯桑室となっている。この場所をインターネットの地図で検索すると「箕輪芸術祭みさと館」と表示されることから何らかの施設として活用されていたようであるが、詳細は不明である(写真 3)。

④はぐくみ農業協同組合稚蚕人工飼育所(高崎市金古町)

蚕の幼虫は桑葉を主食として成長するが、現在は稚蚕期に飼育所で無菌状態を保ち人工飼料を与えて飼育され、その後の壮蚕期に個々の農家で桑の葉を与えて飼育することで丈夫に成長し、品質の良い繭が収穫できるよう工夫されている。この建物は壁面に掲げられた看板に「平成 3 年度 養蚕主産地育成総合整備対策事業(養蚕



写真3. 箕郷中央稚蚕共同飼育所 (2022. 8. 28 撮影)



写真4. はぐくみ農業協同組合稚蚕人工飼育所 (2022. 11. 3 撮影)



写真5. 上野田南町稚蚕共同飼育所 (2020. 12. 2 撮影)



写真6. 北下第一稚蚕共同飼育所 (2020. 12. 2 撮影)

地域施設整備事業)事業主体「群馬町農業協同組合」とあることから、群馬県内でも比較的後期に整備された施設で、他の共同飼育所と比べてもアーチ型の屋根など近代的な造りとなっている(写真4)。

⑤上野田南町稚蚕共同飼育所(吉岡町上野田)

群馬県のほぼ中央、北群馬郡に属する吉岡町(1991(平成3)年4月の町制施行以前は吉岡村)では、1961(昭和36)年度に陣場地区で最初の群馬式土室の稚蚕共同飼育所が建設され、1980年頃には村内各地域に19か所の飼育所が存在していた。『吉岡村誌』によると(以下、吉岡町内の共同飼育所の概要は同資料による)、上野田南町稚蚕共同飼育所は1967年3月の設置で、1980年当時の利用戸数は17戸、掃立箱数は205.5箱であった。現在は建設会社の資材置き場として使用されている(写真5)。

⑥北下第一稚蚕共同飼育所(吉岡町北下)

吉岡町北下地区は、1712(正徳2)年にわが国最古級の養蚕指導書である『蚕養育手鑑』を著した馬場重久の出身地としても知られる。北下第一稚蚕共同飼育所は軽石ブロックの互い違い積みで、軒が低く換気用の高窓やベンチレーターが設置されていないのが特徴である。1962年3月の設置で、利用戸数は40戸、掃立箱数は553.5箱。飼育所西側に所在する諏訪神社の境内には日高八十七の撰文による「馬場三太夫重久翁顕彰碑」(1958年11月建碑)が設置されている(写真6)。

⑦大久保中町稚蚕共同飼育所(吉岡町大久保)

前橋市のベッドタウンとして近年開発が進む大久保地区に所在した共同飼育所。1968年7月設置、利用戸数は20戸、掃立箱数は440.0箱。元々は中央に貯桑場があり、蚕室が両側に伸びる構造だったようであるが、現在は大部分が取り壊され、南側の蚕室の一部が農業用倉庫



写真7. 大久保中町稚蚕共同飼育所 (2020. 11. 30 撮影)

として使用されている。現存部分に貯桑場につながる通路を塞いだような跡（東・西・南側はブロック積みの壁であるのに対し、北側はサイディングと透明波板で塞がれている。写真参照）や換気用の高窓が残されており、共同飼育所の跡であることがわかる（写真7）。

⑧榛東村農協人工飼料育稚蚕共同飼育所（榛東村広馬場）

榛名山東麓に位置する榛東村では、群馬式簡易稚蚕共同飼育法の指導を受け、1960年頃から蚕糸振興事業や農業構造改善事業の一環として共同飼育所が建設された。

広馬場地区に所在するこの建物は、現在は建設会社の資材置き場として使用されているが、壁面に「榛東村農協人工飼料育稚蚕共同飼育所」の文字を確認することができる（写真8）。

人工飼料とは乾燥した桑葉の粉末とデンプン、脱脂大豆粉末、ビタミンなどを混合し羊糞状にしたものである。稚蚕期の蚕は非常に病気に弱いため、衛生環境が管理された共同飼育所で、人工飼料により飼育することでそのリスクを低減することができる。かつて県内ではこうした飼育所が各地にみられたが、次第にその数を減らしていった。栃木、茨城、千葉に稚蚕を出荷していた前橋市内の施設が2021年に閉鎖され、現在は小野稚蚕人工飼料育センター（富岡市）が群馬県唯一の施設となり、県内をはじめ関東一円の養蚕を支える拠点となっている。

5. おわりに

本稿では、『群馬県史』や県内の市町村史(誌)等を用いて、戦後復興期の群馬県内の蚕糸業がどのように復興・展開されてきたのかを整理した。



写真8. 榛東村農協人工飼料育稚蚕共同飼育所 (2022. 8. 28 撮影)

第二次世界大戦後の群馬県では、製糸業の復興は順調に進んだが、原料となる繭を生産する養蚕業の復興は遅れた。これは、終戦直後の食糧難という時代背景があり、農家は養蚕より畑作を優先したためである。繭の増産が始まったのは1949年以降であり、特需景気に乗って繭価が高騰すると著しく生産量が増加した。

しかしながら、復興後の生産の伸び率も製糸業に比べて養蚕は低調であった。農業である養蚕の復興の遅れと、工業である製糸業との生産力の格差が、慢性的な繭不足をもたらした。

また、戦後の群馬県の蚕糸業復興を推し進めた重要な要素のひとつが、稚蚕共同飼育の普及である。養蚕は稚蚕期の飼育に大きく左右されることから、これまで様々な飼育方法が考案されてきた。1950年代に群馬県蚕業試験場で「群馬式簡易稚蚕共同飼育法」が開発されたことで、県内では稚蚕共同飼育が急速に普及し、蚕作安定や農家の養蚕労働の軽減、桑葉代、光熱費などの諸経費の節減に大きく貢献したのである。

今後の研究課題は2点あり、まず1点目は本稿では概要を述べるにとどまった稚蚕共同飼育について、県蚕糸課の資料や蚕業試験場の年報などの文献調査を進め、いつ、どこに、何か所共同飼育所が建設されたのか、建設に際しどのような助成があったのかなどを系統的に整理していきたいと考える。また、あわせて現存する施設への現地調査や記録も継続して行っていく予定である。

2点目は蚕糸業縮小期の状況に関する研究である。1980年代以降、絹に対する需要が減退を続け、絹製品の市場が狭くなっていく一方で、狭くなった市場を安価な外国産の生糸や絹製品が侵食してくるという状況が続いた。そうした中で、これまで振興や増産の方向で働きかけてきた蚕糸業に関する政策が、どのように変化していったのか、関係者への聞き取りなども含めて調査したい

と考えている。

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」や日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」（2015年4月、文化庁が認定。桐生市、甘楽町、中之条町、片品村の蚕糸絹関連の文化財13件が登録されている）が華やかにPRされ、富岡製糸場や蚕糸業がわが国の近代化に果たした役割に注目が集まる一方で、群馬県の蚕糸業がその後どのように推移していったのか、なぜ現在のように衰退したのかということまで目を向けられる機会は少ないように感じる。今後も継続して調査や資料収集を行い、戦後復興期以降の群馬県の蚕糸業の推移について検討を進めていきたい。

注

- 1) 群馬県政史編纂委員会（1959）『現代群馬県政史』第1巻、p. 883による。
- 2) 群馬県史編さん委員会（1989）『群馬県史』通史編8、p. 772による。
- 3) 前掲注1)の資料、p. 890による。
- 4) 前掲注1)の資料、p. 882による。
- 5) 牧田（2017）、p. 64による。なお、絹の凍結は1947年8月に解除された。
- 6) 「日本蚕糸会の解散に関する件（農林省）」（『片山内閣閣議書類（その4）昭和22年8月21日～9月30日』所収、国立公文書館所蔵）による。
- 7) 繰糸効率を上げるためには、繰取る速度を上げるか条数（生糸を巻き取る小枠の数）を増やすかのどちらかの方法しかないが、速度を上げると繭糸の切断回数が増えたり生糸の品質が低下したりした。そこで繰取る速度を遅くする代わりに条数を増やすことで繰糸効率を高めたのが「多条繰糸機」である。1907（明治40）年に御法川直三郎が発明した「御法川式多条繰糸機」、戦後用いられた「増澤式多条繰糸機」などがあり、わが国独自の開発技術として世界に普及した。
- 8) 前掲注1)の資料、p. 898による。
- 9) 前掲注1)の資料、p. 904による。
- 10) 前掲注2)の資料、p. 771による。
- 11) 群馬県教育委員会（1972）『群馬県の養蚕習俗』pp. 61-77に収録されているものだけでも29種類の稚蚕飼育法が紹介されている。
- 12) 吉岡村誌編纂室（1980）『吉岡村誌』、p. 719による。

- 13) 『上毛蚕報』昭和26年1月号（『後閑縫之介家文書』所収、群馬県立文書館所蔵）による。
- 14) 『吾妻郡原町下之町稚蚕共同飼育所日誌』（群馬県史編さん委員会（1985）『群馬県史』資料編23所収、pp. 175-178）による。
- 15) 前掲注12)に同じ。
- 16) 田原（1971）、p. 106による。
- 17) 榛東村誌編さん室（1988）『榛東村誌』、p. 515による。
- 18) 飼育法第2研究室（1963）、p. 25による。

参考文献

- 群馬県教育委員会（1972）『群馬県の養蚕習俗』、群馬県教育委員会事務局。
- 群馬県蚕糸業史編纂委員会（1955）『群馬県蚕糸業史』上巻、群馬県蚕糸業協会。
- 群馬県蚕糸業史編纂委員会（1956）『群馬県蚕糸業史』下巻、群馬県蚕糸業協会。
- 群馬県史編さん委員会（1985）『群馬県史』資料編23近代現代7、群馬県。
- 群馬県史編さん委員会（1989）『群馬県史』通史編8近代現代、群馬県。
- 群馬県政史編纂委員会（1959）『現代群馬県政史』第1巻、群馬県。
- 群馬県政史編纂委員会（1982）『現代群馬県政史』第2巻、群馬県。
- 群馬県内務部（1903）『群馬縣蠶絲業沿革調査書』、群馬県内務部。
- 飼育法第2研究室（1963）ブロック電床装置の調査、蠶絲研究、45号、pp. 24-30。
- 榛東村誌編さん室（1988）『榛東村誌』、榛東村。
- 高木 賢（2014）『日本の蚕糸のものがたり』、大成出版社。
- 高崎市市史編さん委員会（2004）『新編 高崎市史』通史編4 近代現代、高崎市。
- 田原虎次（1971）養蚕における施設の現状と問題点、農業施設、第1巻 第1-2号、pp. 102-111。
- 牧田久美（2017）戦後日本繊維産業復興期におけるGHQのデザイン育成政策：絹輸出貿易における販売促進企画を中心に、デザイン理論、70号、pp. 63-77。
- 吉岡村誌編纂委員会（1980）『吉岡村誌』、吉岡村。

The Silk Industry in Gunma Prefecture in the Post-War Reconstruction Period

—Focusing on joint rearing of juvenile silkworms—

Masanori ISHIZEKI

In Gunma Prefecture after World War II, the revival of the silk industry progressed smoothly, but the revival of the sericulture industry, which produces the cocoons used as raw materials, was delayed. This is because farmers prioritized field farming over sericulture in the context of food shortages immediately after the end of the war. It was after 1949 that the production of cocoons began to increase. However, the growth rate of production after reconstruction was slower in sericulture than in the silk industry. The slow recovery of sericulture, which is agriculture, and the gap in productivity with the silk industry, which is industry, have resulted in a chronic shortage of cocoons. In addition, one of the important factors that promoted the revival of the silkworm industry in Gunma Prefecture after the war was the popularization of communal rearing of juvenile silkworms. Since sericulture is greatly influenced by rearing of young silkworms, various rearing methods have been devised. In the 1950s, the Gunma Sericulture Experiment Station developed the “Gunma-style simple co-raising method for juvenile silkworms,” which rapidly spread within the prefecture. It contributed greatly to the reduction of various expenses such as utility bills.

Hidden symmetries of hyperbolic reflection groups

吉田 はん*

(2022 年 11 月 22 日 受理)

1. 序

$\text{Isom}(\mathbb{H}^3)$ の部分群 G, G' について $|G : G \cap G'| < \infty, |G' : G \cap G'| < \infty$ のとき G と G' は commensurable であるという. ある $g \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3)$ が存在して gGg^{-1} と G' が commensurable であるとき, G と G' は広い意味で commensurable であるという. 以下「広い意味」というのは省略する. commensurable というのは同値関係になる. 軌道体の言葉で言い換えると G, G' が commensurable ならば $\mathbb{H}^3/G$ と $\mathbb{H}^3/G'$ が共通の有限被覆を持つ.

$$C(G) = \{g \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid gGg^{-1} \text{ と } G \text{ が commensurable}\}$$

を G の commensurator という. この commensurator $C(G)$ は G と commensurable なものをすべて含む. 特に $N(G)$ を G の normalizer group すなわち

$$N(G) = \{g \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid gGg^{-1} = G\}$$

とすると $C(G) > N(G)$ となる. $C(G) \neq N(G)$ のとき G は hidden symmetry を持つという. G が non-arithmetic であることと $C(G)$ が離散的であることが同値であると G. Margulis が [5] で証明している. よって arithmetic ならば hidden symmetry をもつ. hidden symmetry を持つような non-arithmetic, non-cocompact な例はいくつか知られている ([7], [9]). この論文では non-arithmetic, cocompact なもので hidden symmetry をもつものが無限個あることを示す.

2. Löbell polyhedron

$H_n \subset \mathbb{H}^3$ を 図-1 のような面角が $\pi/2, \pi/4, \pi/n$ である 6 面体とする. H_n を $2n$ 個張り合わせて得られる図-2 のような面角がすべて直角である多面体 $L_n \subset \mathbb{H}^3$ を Löbell polyhedron という. $P_n \subset \mathbb{H}^3$ を 図-3 のような多面体,

すなわち H_n を n 個張り合わせて得られる多面体とする. ($n \geq 5$)

$\Gamma(L_n)$ (resp. $\Gamma(P_n), \Gamma(H_n)$) を L_n (resp. P_n, H_n) の各面に関する鏡映変換で生成される群とする. この論文では

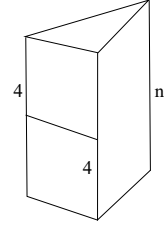


図-1: 六面体 H_n . $n, 4$ というラベルがついている辺での面角は各々 $\pi/n, \pi/4$. 他の面角は $\pi/2$.

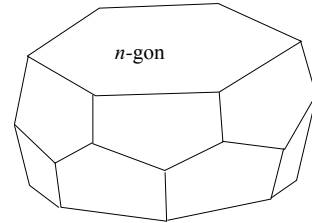


図-2: Löbell polyhedron ($n = 6$)

以下のことを証明する.

Theorem 1. $n \neq 5, 6, 8$ ならば $\Gamma(P_n)$ は non-arithmetic で hidden symmetry をもつ.

3. Theorem 1 の証明

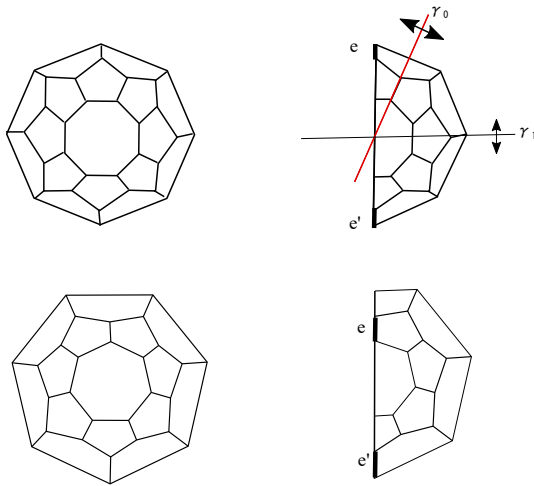
S を $\Gamma(P_n)$ の singular 集合とする. すなわち

$$S = \{x \in \mathbb{H}^3 \mid \gamma(x) = x \text{ for some } \gamma \in \Gamma(P_n) \setminus \{\text{id}\}\}$$

とする.

$$N(\Gamma(P_n)) < \{\gamma \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid \gamma(S) = S\}$$

* 一般教科 (自然)

図-3: L_n と P_n ($n = 7, 8$).

となる. n が偶数の時 γ_1 を図-3 のような面に関する鏡映変換とする.

$$N(\Gamma(P_n)) = \begin{cases} \Gamma(P_n) & \text{if } n : \text{odd}, \\ \langle \Gamma(P_n), \gamma_1 \rangle & \text{if } n : \text{even} \end{cases}$$

を示す.

$\gamma \in \{\gamma \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid \gamma(S) = S\}$ とする. ある $\gamma_P \in \Gamma(P_n)$ が存在して $\gamma\gamma_P(P_n) = P_n$ となる. P_n で面角が $\pi/4$ であるのは図-3 の辺 e, e' だけである. よって $\gamma\gamma_P(e) = e$ または e' となる.

Case 1. n が奇数の時. $\gamma\gamma_P(e) = e'$ かつ $\gamma\gamma_P(P_n) = P_n$ となることはない. $\gamma\gamma_P(e) = e$ かつ $\gamma\gamma_P(P_n) = P_n$ のとき $\gamma\gamma_P = \text{id}$. よって $\gamma = \gamma_P^{-1} \in \Gamma(P_n)$. ゆえに $N(\Gamma(P_n)) < \{\gamma \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid \gamma(S) = S\} < \Gamma(P_n)$. よって $N(\Gamma(P_n)) = \Gamma(P_n)$ が得られる.

Case 2. n が偶数のとき. $\gamma\gamma_P(e) = e'$ かつ $\gamma\gamma_P(P_n) = P_n$ ならば $\gamma\gamma_P = \gamma_1$ なので $\gamma = \gamma_1\gamma_P^{-1} \in \langle \Gamma(P_n), \gamma_1 \rangle$ となる. $\gamma\gamma_P(e) = e$ のときは Case 1 と同様にして $\gamma \in \Gamma(P_n)$. ゆえに $N(\Gamma(P_n)) < \{\gamma \in \text{Isom}(\mathbb{H}^3) \mid \gamma(S) = S\} < \langle \Gamma(P_n), \gamma_1 \rangle$.

γ_0 を図-3 のような面に関する鏡映変換とする. $\gamma_0 \in \Gamma(H_n)$ であり, $\gamma_0 \notin N(\Gamma(P_n))$ であるので

$$N(\Gamma(P_n)) \neq \Gamma(H_n).$$

$\Gamma(P_n)$ と $\Gamma(H_n)$ は commensurable なので $\Gamma(H_n) \subset C(\Gamma(P_n))$ よって $N(\Gamma(P_n)) \neq C(\Gamma(P_n))$. $\Gamma(P_n)$ は hidden symmetry を持つ.

また, [8] で $n \neq 5, 6, 8$ ならば $\Gamma(L_n)$ が non-arithmetic であることが証明されている. $\Gamma(L_n)$ と $\Gamma(P_n)$ は commensurable なので $n \neq 5, 6, 8$ ならば $\Gamma(P_n)$ は non-arithmetic.

参考文献

- [1] O. Camarena, G. Maloney, R. Roeder, Computing arithmetic invariants for hyperbolic reflection groups <http://www.math.iupui.edu/~roederr/reflections.pdf>
- [2] E. Chesebro, J. DeBlois, Hidden symmetries via hidden extensions, <https://arxiv.org/pdf/1501.00726.pdf>
- [3] C. Gyurek, R. Roeder, Problem on Mutant Pairs of Hyperbolic Polyhedra, <https://arxiv.org/pdf/1906.08723.pdf>
- [4] C. Maclachlan, A. Reid, The Arithmetic of Hyperbolic 3-Manifolds. Graduate Texts in Mathematics 219, Springer (2003).
- [5] G. Margulis, Discrete Subgroups of Semi-simple Lie Groups, Ergeb. der Math. 17, Springer-Verlag (1989).
- [6] M. Macasieb, T. W. Mattman, Commensurability classes of $(-2; 3; n)$ pretzel knot complements. Algebraic Geom. Topol. 8(3): 1833–1853, (2008)
- [7] J. Meyer, C. Millichap R. Trapp, Arithmeticity and hidden symmetries of fully augmented pretzel link complements, New York Journal of Mathematics, Volume 26, 149-183. (2020)
- [8] A. Yu. Vesnin, Three-dimensional hyperbolic manifolds with a common fundamental polyhedron (translation). Math. Notes, 49(5-6):575–577, (1991)
- [9] H. Yoshida, Hidden symmetries of hyperbolic links Proc. Japan Acad. Ser. A Math. Sci. 98(9): 73-77 (November 2022)

Hidden symmetries of hyperbolic reflection groups

Han Yoshida

Arithmetic subgroups of $\text{Isom}(\mathbb{H}^3)$ have hidden symmetries. Some non-arithmetic non-cocompact subgroups of $\text{Isom}(\mathbb{H}^3)$ are known. In this paper, we construct infinitely many non-arithmetic cocompact subgroups of $\text{Isom}(\mathbb{H}^3)$.

野外採取ホンモンジゴケからの初代培養確立方法の検討

大岡 久子* 渡邊 一冨* 高原 美規**

(2022 年 11 月 30 日受理)

1. はじめに

コケ植物は一次遷移の初期にみられる先駆植物の代表である。土壌のない裸地のような厳しい環境下においても、生育が可能であるコケ植物は存在する。このような環境ストレスに耐性をもつコケ植物の中には、社会に貢献しているものも存在する。乾燥耐性をもち緑化材として用いられているコケ植物やコケの原糸体を用いた金属回収技術であるブライオフィルトレーションで研究が進められているコケ植物などである¹⁾。地球上には環境ストレスに耐性をもつさらに多くのコケ植物が存在しており、それらのストレス耐性機構の解明は他の植物においても多くの知見を得ることに繋がるため、これらの解明に向けて研究は進められるべきである。

コケ植物に限らず無菌的な条件で植物を培養することは、生育環境を人工的に制御できるため、植物の生育特性などを明らかにするためには有効な手段である。コケ植物は小さく、地面に近いところに存在している。土壌には多くの微生物が存在しており、野外から採取したコケ植物にも多くの微生物が付着している。そのためコケ植物の詳細な研究のためには、無菌体を得るための初代培養を確立する必要がある。一般的な手法として、コケ植物の孢子体ごと殺菌し、孢子体の中の孢子を無菌的に取り出して孢子から原糸体を発芽させることにより無菌体を得る方法があるが、常に孢子体を形成する種類ばかりではない。さらに、ホンモンジゴケのように孢子体をめったにつけないコケ植物も存在する²⁾。このようなコケ植物には、孢子体殺菌による無菌体を得る方法は適用できない。またコケ植物は小さく、葉身は細胞が一層であることから、表面を殺菌して、

殺菌した部分を切り落として内部の殺菌剤が浸透していない部分を培養材料として使用することもできない。

ホンモンジゴケ (*Scopelophila cataractae*) は、自然界において乾燥重量当たり 10,000 ppm を超える銅を蓄積することもあり³⁾、銅に対する高い耐性と高い蓄積能を有していることからブライオフィルトレーションへの応用も期待できる。しかしホンモンジゴケの銅耐性や蓄積能に関するいくつかの報告はあるものの、その詳細は明らかにされていない。そこで本研究では、野外から採取したホンモンジゴケを用いて、無菌体を得るための初代培養を確立する方法を検討した。初代培養の重要なポイントは、雑菌等の混入(以下、コンタミ)を排除することと、健康な原糸体を得ることである。野外採取ホンモンジゴケの茎葉体を殺菌剤やろ過による処理を行った後に培養し、コンタミ率や原糸体の発生率などを求めて各処理における有用性を評価した。

2. 材料および研究方法

2.1 ホンモンジゴケの採取

ホンモンジゴケは東京都江東区の亀戸香取神社および栃木県日光市の足尾銅山から採取した。

2.2 ホンモンジゴケの同定

野外から採取したホンモンジゴケの同定のため外観の観察とパラフィン包埋切片によるガイドセルの確認を行った。パラフィン包埋切片の観察のため、採取後洗浄し水気を切った後に FAA で固定した。エタノールと 2-メチル-2-プロパノールによる脱水、シリーズにより 2-メチル-2-プロパノールに置換後、

パラフィン置換を行った。その後、パラフィン包埋・成形し、ミクロトームを用いて 8 μm の連続切片を作成し、スライドガラスに貼付した。キシレンによる脱パラフィン、エタノールと水によるシリーズにより水への置換後 0.05 %トレイジンブルーOで染色した。再びエタノールと水によるシリーズにより脱水後キシレン置換し、カナダバルサムを用いて永久プレパラートを作成した。

2.3 殺菌剤による方法の検討

エタノールと次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いてそれぞれの殺菌時間の検討を行った。殺菌条件 A～C を表-1 に示す。

表-1 殺菌剤による殺菌条件

殺菌条件	殺菌時間 (秒)	
	70 % エタノール	次亜塩素酸ナトリウム溶液 (有効塩素濃度 1 %)
A	90	30
B	100	40
C	100	50

野外から採取したホンモンジゴケの茎葉体を水洗いし脱気後、各殺菌条件で処理を行い、滅菌水で濯いだ。これらの茎葉体を Knop 培地⁴⁾ (1%ゲランガムを加えて固体培地としたもの) に置床し、人工気象器 (LH-220N , NK システム) にて 14 時間日長, 25 $^{\circ}\text{C}$ で培養した。

2.4 ろ過による方法の検討

ろ過による方法では、0.5 mL と 2.0 mL のマイクロチューブとメッシュ (水切りネット, BOX-63, ニッコー株式会社, 図-1) を用いてろ過装置を作製した。作製したろ過装置をオートクレーブ (121 $^{\circ}\text{C}$, 20min) で滅菌して用いた。野外から採取したホンモンジゴケの茎葉体を水洗いし脱気後、ろ過装置のメッシュ内に入れた。茎葉体の上から滅菌水を加え、0.5 mL マイクロチューブの蓋をした後、新しい滅菌

済み 2.0 mL マイクロチューブに移した。遠心分離 (25 $^{\circ}\text{C}$, 15,000 rpm, 5 min) によってろ過を行った後、0.5 mL マイクロチューブを新しい滅菌済み 2.0 mL マイクロチューブに移した。再度滅菌水を加え、同様の操作を繰り返した後 (遠心分離の回数は 5 回行った), 茎葉体を Knop 培地⁴⁾ (1%ゲランガムを加えて固体培地としたもの) に置床し、人工気象器 (LH-220N , NK システム) にて 14 時間日長, 25 $^{\circ}\text{C}$ で培養した。

ろ液について、LB 培地 (396-00871, ダイゴ) (1.5%寒天を加えて固体培地としたもの) に 100 μL ずつ塗布しコロニーを観察した。

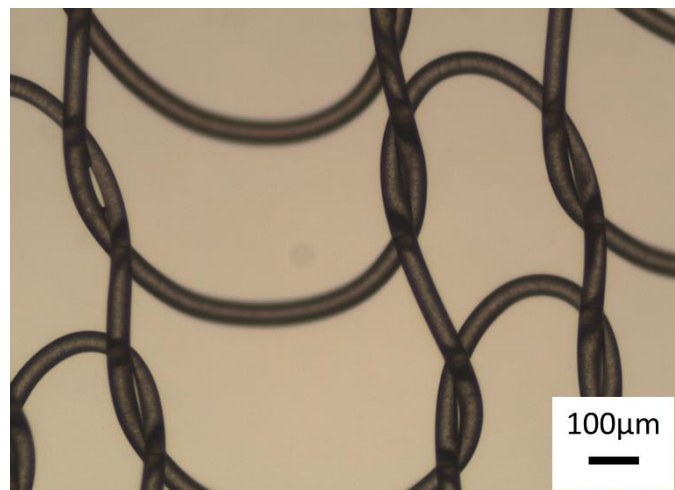


図-1 使用したメッシュの様子

3. 結果と考察

ホンモンジゴケは蘚類センボンゴケ科であり茎はほとんど分枝しない直立性の茎葉体である⁵⁾。野外から採取したホンモンジゴケの外観の様子、細胞の顕微鏡観察の結果を図-2 に示す。茎葉体の長さについて、それぞれ 10 本を計測した結果、香取神社で採取したものは 2.3～5.0 mm で平均約 3.5 mm であり、足尾銅山で採取したものは 4.8～7.0 mm で平均約 5.7 mm であった。茎葉体の外観の様子では、どちらも分枝せず直立性であった。また、どちらの葉も楕円状披針形で先は尖った形状であり、全縁も

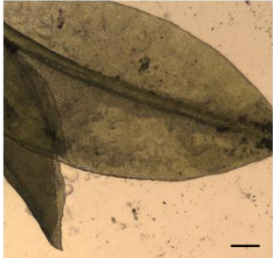
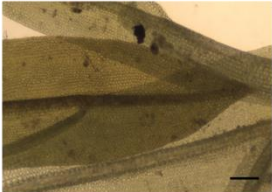
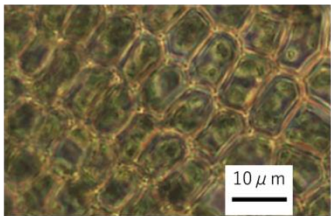
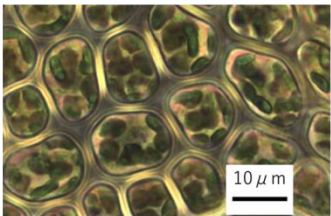
採取場所	香取神社	足尾銅山
外観 (茎葉体)		
葉	 Bar:100 µm	 Bar:100 µm
細胞	 10 µm	 10 µm

図-2 採取したコケ植物の様子

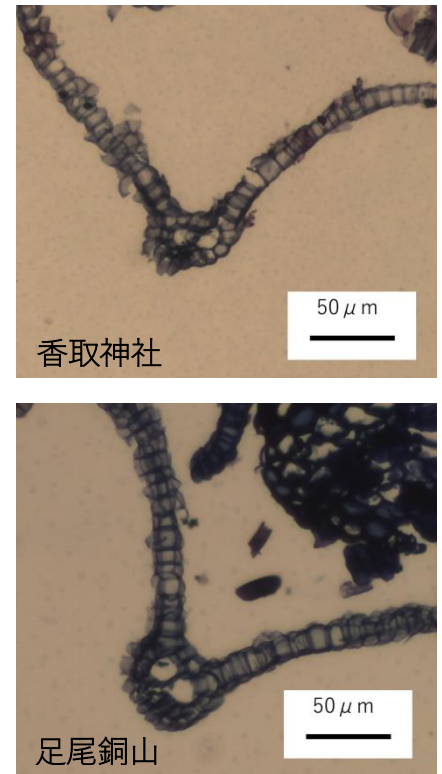


図-3 切片の顕微鏡写真

しくは上部にわずかに微鈍鋸歯がみられ、中肋は1本で先端まで伸びている様子がみられた⁵⁾ 6)。また基部から少しねじれる様子もみられた。葉の細胞はどちらも丸みをおびた方形～六角形～短い矩形であった⁵⁾。細胞壁は香取神社で採取したものはやや薄く、足尾銅山で採取したものはやや肥厚しているようにみえた。これらの細胞の特徴もホンモンジゴケの特徴と一致していた⁵⁾。採取場所における群落の様子はいずれも、濃い緑色で、茎葉体は密に存在しふかふかとした弾力のある群落であり、ホンモンジゴケの特徴を示していた⁶⁾ 7)。

パラフィン包埋切片の顕微鏡観察の結果を図-3に示す。図-3に示した写真は、葉の横断切片で、中央のふくらみが中肋であり、その両側に伸びる1層の細胞が葉身である。ホンモンジゴケは、中肋に大きな2つの細胞(ガイドセル)が存在する。本研究の結果においても、いずれの切片においてもガイドセルが確認できた。以上の形態的特徴より、ホンモンジゴケであると同定した⁵⁾。

本研究では、ホンモンジゴケの無菌体を得るために殺菌剤による方法とろ過による方法の2つの方法を検討した。野外から採取したホンモンジゴケから雑菌等を殺菌する方法と取り除く方法である。処理後の茎葉体を培地に置床して培養することによって、雑菌等の混入を「コンタミ」、茎葉体から原糸体の伸長がみられたものを「原糸体」、コンタミも原糸体もみられなかったものを「変化なし」として生育状態を観察した。

初めに殺菌剤による方法について報告する。殺菌剤による処理後、培地に置床してから約2週間後の生育状態の割合を図-4に示す。香取神社採取のホンモンジゴケを用いて、殺菌条件A～Cについて検討を行った結果、殺菌条件Aではコンタミ率が97%であり、殺菌効果はほとんどないことが明らかにされた。殺菌条件B、Cを比較すると、次亜塩素酸ナトリウム溶液の殺菌時間を長くすることでコンタミ率を17%まで抑えることができた。しかし、コンタミは抑えられたものの原糸体も発生しない「変化

なし」の割合が 57%と高くなってしまい、香取神社採取のホンモンジゴケにとって殺菌条件 C は高い障害をもたらす条件であり、コケ植物自体も生育できない状態（枯死）を導く条件であったと考えられる。一方で、殺菌条件 B, C の原糸体発生率は約 25%程度であり、無菌体を得る条件としては有効であると考えられた。

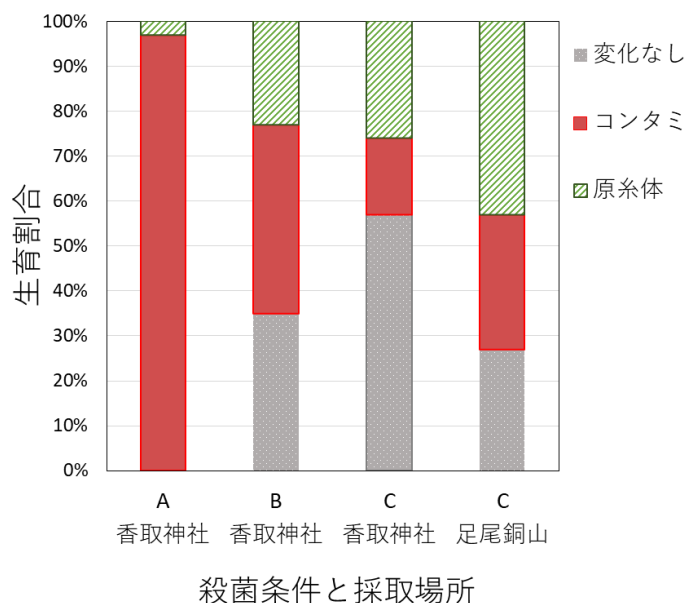


図-4 殺菌剤による方法の結果

足尾銅山で採取したホンモンジゴケを用いて、殺菌条件 C で処理を行ったところ、原糸体発生率は 43%と高い値を示した。香取神社で採取したホンモンジゴケの結果と比較すると、足尾銅山で採取したホンモンジゴケの方が原糸体発生率は約 1.7 倍であった。香取神社と足尾銅山のホンモンジゴケを比較すると、足尾銅山の茎葉体の方が大きいことが分かる（図-2）。このため、殺菌剤によるダメージから逃れた部分から原糸体が発生した可能性が考えられた。一方で、コンタミ率も足尾銅山で採取したホンモンジゴケの方が約 1.8 倍と高い結果となった。これも茎葉体が大きいために付着している雑菌も多く、殺菌剤による殺菌も十分に行き渡らなかったためだと考えられる。しかし、43%の高い原糸体発生率が示されたことから、他の場所から採取されたホンモンジゴケにおいても殺菌条件 C は有効である

といえる。また原糸体発生率は、ホンモンジゴケの茎葉体の大きさに依存することが示唆されたため、殺菌条件 C を基本条件として、茎葉体の大きさに応じて殺菌時間を調整することで無菌的な原糸体を得ることが可能であると考えられる。

次にろ過による方法について報告する。コケ植物は図-3の切片の顕微鏡写真からもわかるように葉身の細胞が一層であり、植物体全体から水分を吸収することから、殺菌剤によるダメージはダイレクトに受ける。実際に、小さめの茎葉体である香取神社採取のホンモンジゴケでは、殺菌時間のわずかな延長によりコケ植物自体が生育しなくなる様子（図-4）がみられた。そこで、殺菌剤を使用せずに無菌体を得るろ過による方法を試みた。作製したろ過装置を図-5に示す。このろ過装置を用いて遠心分離機を用いたろ過を行い、雑菌等を取り除くことを試みたが、すべてのシャーレにおいてコンタミがみられた。

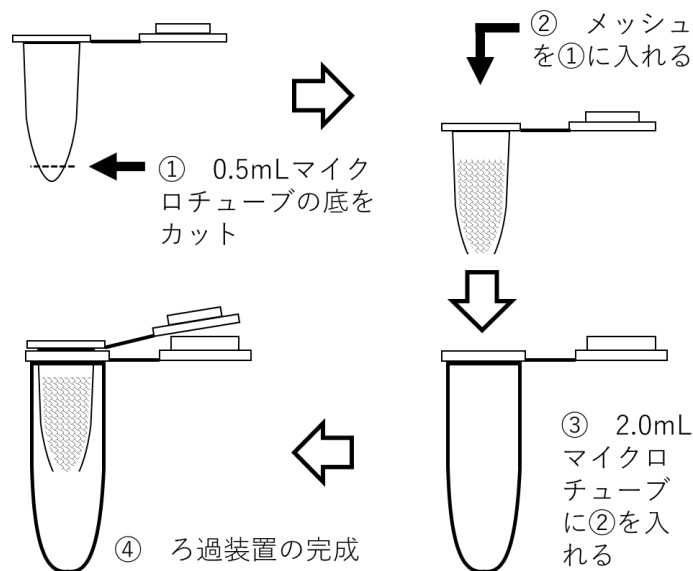


図-5 作製したろ過装置

コンタミは細菌やカビなど様々な種類がみられた。今回用いたメッシュの目開きは 100 μm 以上であり（図-1）、一般的な細菌（数 μm ）やカビの胞子（数 μm ～数十 μm ）の大きさのものは除くことができるはずである。そこで、ろ過後のろ液に含まれるコンタミ菌の数を調べ、遠心回数に対するコロニー

数の対数を図-6に示した。この結果、遠心回数が多くなるに従いコンタミ菌のコロニー数は減少傾向がみられ、ろ過によって一部の微生物が除かれていることが分かった。すべてのシャーレにおいてコンタミは生じたものの、原糸体の伸長もみられた。殺菌剤を用いた方法では約2週間後に原糸体が観察されたが、ろ過を用いた方法では約1週間後に原糸体が観察された。これは殺菌剤によるダメージがないためだと考えられる。今回のろ過による方法では雑菌等を完全に除くことはできなかったが、今後この方法を改良することによってダメージを受けない原糸体を得ることが可能になると考えられる。

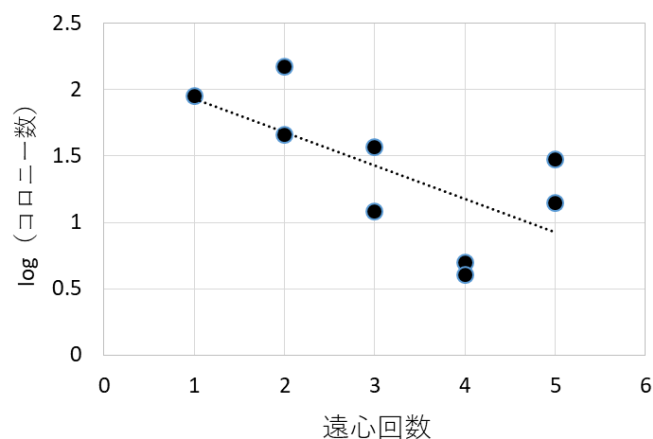


図-6 遠心回数に対するろ液に含まれる微生物

4. まとめ

本研究では、殺菌剤による方法とろ過による方法で野外から採取したホンモンジゴケから無菌的な原糸体を得ることを試みた。その結果、70%エタノール 100 秒、有効塩素濃度 1%の次亜塩素酸ナトリ

ウム溶液 50 秒の条件で効率的に無菌的な原糸体を得られることが分かった。原糸体発生率は茎葉体の大きさに依存する可能性があるが、この殺菌条件を基本とすることで他のコケ植物においても無菌体を得ることが可能であると考えられる。ろ過による方法では、実験したすべてのシャーレにおいてコンタミを生じたが、殺菌剤によるダメージのない健康な原糸体を得られることが期待できる。

謝辞

本論文に対してご助言いただきました Ameer Shafiq Bin Armeec 氏に感謝の意を表します。

参考文献

- 1) 野村俊尚, 井藤賀操, 榊原均「植物の生物機能を用いた金属回収技術 コケ植物を用いた金属回収技術の開発と展望」化学と生物, Vol.52, No.2, pp.121-126, 2014.
- 2) 鶴沢美穂子, 佐竹研一「秩父山地で再発見されたホンモンジゴケの胞子体及び生殖器官の形成について」蘚苔類研究, 10(1), pp.10-12, 2010.
- 3) 佐竹研一「銅ゴケの不思議」pp.13-22, 株式会社イセブ, 2013
- 4) 大澤勝次, 江面浩「植物バイオテクの基礎知識」農山漁村文化協会, p.66, 2005.
- 5) 岩月善之助編「日本の野生植物コケ」平凡社, p.90, 2001.
- 6) 井上浩「フィールド図鑑コケ」東海大学出版会, p.8, 1986.
- 7) 藤井久子「コケ図鑑」家の光協会, p.60, 2017.

Investigation of methods to establish aseptic primary culture from field-collected copper moss, *Scopelophila cataractae*

Hisako OOKA, Issa WATANABE and Yoshinori TAKAHARA

Bryophytes are plants that can grow in various environments on earth. Some bryophytes live in dry areas, while others live in areas with high concentrations of heavy metals. Bryophytes which are resistant to these environmental stresses should be studied in more detail, but detailed studies have not progressed. In order to study bryophytes in detail, sterile experimental materials are needed. This is because their growing environment can be artificially controlled. However, bryophytes living outdoors are contaminated with many microorganisms because they share the same growing environmental conditions. Therefore, we investigated how to obtain aseptic protonemata from field-grown bryophytes. Primary cultures of the copper-tolerant moss *Scopelophila cataractae* were attempted using a bactericides method and a filtration method. The important points in primary cultures are to eliminate contaminants such as microorganisms and obtain healthy protonemata. In this study, we found the suitable conditions for obtaining sterile protonemata from field-collected bryophytes.

徳富蘆花記念文学館蔵『伊香保縁起』解題・翻刻

大島 由紀夫 *

(二〇二二年一月三〇日受理)

解題

『伊香保縁起』は、伊香保大明神(伊香保神社)と伊香保温泉の由来を説く縁起物語であり、その内容は『神道集』巻七・四十二「上野国第三宮伊香保大明神事」や『水沢寺之縁起』と密接に関連する。十四世紀半ばには成立していたと考えられる『神道集』(全五十話)には上野国関係話が八話収載されており、それらと内容の関連する在地縁起資料が、これまでに数多く報告されている。中でも『赤城山大明神縁起』『赤城山御本地』など、巻七・四十一「上野勢多郡鎮守赤城大明神事」と内容の関連する在地縁起の伝本は三十数本に及んでいる。『神道集』の赤城大明神・伊香保大明神の縁起物語は、配列のみならず、内容も連接するものであり、宝永七年(一七一〇)写・水沢寺蔵『水沢寺之縁起』では内題「水沢寺之縁起」の下に「又^ハ云^ニ赤城ノ縁起^ト 又^ハ号^ニ伊香保ノ縁起^ト」^云と注記^注する。この注記から、「赤城ノ縁起」とは別に「伊香保ノ縁起」を語る在地資料の存在したことが想定されていたが、近年まで学界では確認されていなかった。現在、確認できる『伊香保縁起』の伝本は、次の三本である。

- 1 徳田和夫氏蔵 写本一冊 元文五年(一七四〇)写
外題・内題なし
- 2 後藤氏書写・木村氏旧蔵 写本一冊 寛保二年(一七四二)写
内題「伊香保縁起」 * 「赤城縁起」「水沢縁起」と合綴
- 3 徳富蘆花記念文学館蔵 写本一冊 明和六年(一七六九)写
* 詳細は後述

* 人文科学系・日本文学

1 徳田氏蔵本は、拙稿^{注2}で報告したとおり、末尾の識語によって転写過程を辿ることができる。再述すれば、

(1) 延宝五年(一六七七)夏、忍藩士の宮崎射太夫勝隆が伊香保温泉に湯治で滞在した折、嶋田氏秘蔵の縁起を借り出して書写した。

(2) 元禄十六年(一七〇三)秋、宮崎勝隆が湯治のため再度伊香保温泉を訪れたところ、先に縁起を見せてくれた嶋田某は亡くなっており、その縁起も火事で焼失していた。そこで延宝五年に書写した縁起を改めて写し、現在の当主に渡した。

(3) 元文五年(一七四〇)七月、その本を平野長左衛門頼久が書写した。ということであった。

2 は、青木祐子氏によって紹介された伝本で^{注3}、現在、原本の所在は不明であるものの、電子複写が残されていたため、その内容を知ることができる。奥付によれば、「西上州群馬郡石原村(現・渋川市石原)」の後藤氏によって寛保二年(一七四二)に書写されたもので、その後、渋川市中村の木村氏が蔵するところとなった。「赤城縁起」「水沢縁起」と合綴されているところに享受意識が窺われる。1と2の本文関係はかなり近いが、直接の書承関係は認められない。2の方が漢字表記の多いことを青木氏が指摘されている。

小稿で紹介・翻刻する3は、徳富蘆花記念文学館(渋川市伊香保町)が所蔵する明和六年(一七六九)に書写された伝本で、1・2に比して本文の異同がやや大きく、『伊香保縁起』の生成・展開の過程を考察する上で、重要な視点を提供するものである。

次にその書誌を簡略に記す。

写本一冊 料紙 楮紙 袋綴

縦二三・三 cm 横一四・七 cm

墨付十二丁 字高二・〇 cm 半丁十行

外題 表紙(後補)左肩に「伊香保縁起」と打ち付け書き

元表紙中央に「西上野 伊香保縁起」と打ち付け書き

*「西上野」に「西上州」と上書き

内題 「伊香保縁起」

奥付 「明和六^己七月 大家嶋田権右衛門方^ニ而^ニ写之^一」(十二丁裏)

一丁表右肩に「内山文庫」の朱文方印

裏表紙見返しに白文方印^(注4)・朱文方印(「内山之印」とよむか)

十一丁裏で「伊香保縁起畢」として「伊香保縁起」は終わるが、続けて「温泉之効能」を一つ書きで十項目掲げた後に奥付があり、さらに洗髪に関することなどのメモ書きを付す。「内山文庫」等の蔵書印は旧蔵者を示していると思われるが、伝来の詳細については未詳である。

奥付に「明和六^己七月 大家嶋田権右衛門方^ニ而^ニ写之^一」とあることは、この本の伝来を示唆するものとして注目される。1の識語の中にも「嶋田氏に秘し置れしを、入湯の雨中、徒然の餘、漸借出し、写留^ニとあつて、1は嶋田氏が所蔵していた『伊香保縁起』の書写本であった。この嶋田氏は、近世期に伊香保温泉の小間口権(引湯権)を所有した「大家」である。大家十四軒のうち、嶋田氏には三家があり、そのうち権右衛門家は分家である。1に記される嶋田氏が本家(左衛門家)なのか、分家(左衛門家・権右衛門家)なのか、不明であるが、嶋田氏は『伊香保縁起』の管理に関わっていたと考えられる。大槻文彦編輯『伊香保志』(明治十五年(一八八二)の巻三「村民八氏の事」)には次のように記される^(注5)。

当村民の古くより住居する者は、木暮、岸、島田^{以上三氏は皆本家戸あり}、大島、千明、永井、後閑、福田の八氏にして、本末合せて十四戸あり。土人これを大屋と称し、当村々高二百四十余石、并に山林等、土地所有の民は、此十四戸に限り。その外、古くより譜代門屋と称する者、八十四戸ありて、皆八氏の従属なりしが、維新の後は一様の村民となり、又、他より移り住める者もあれど^{今更々}、土地を持つ者は今尚大屋十四戸に限り。

八氏の家は、大抵、天正年中、白井の長尾氏の遺臣にして、後に郷士となる。徳川氏の始、当村に三国往還の関所^{中巻に}を設け、村民をして守らしめ、

岩鼻代官の支配とす。然れども給料なく、唯、槍、鉄砲等の武器を給せられしのみ。延享三年丙寅、官より帯刀改めありし時、当村には口留番所あるに依り、十三人の者^{福田氏開ける}の内に、年番の者のみ二人づゝ帯刀すべき旨、代官^{伊香保左衛門}より申渡され、夫より関所の勤めに係りては、尚苗字帯刀して、維新の初に至れり。又、その頃は、十四家の者、常に村内の年寄と称し、その内に福田氏と嶋田氏の分家権右衛門と称する者とを除き、他の十二家の者二人づゝ年番にて名主と称し、関所を守れり。但し、十二家を十二支に当て、その当れる年を本番として勤めたり。

『伊香保志』歴史篇では、『伊香保便覧』(明治十七年(一八八四)の次の記事を引くものの、「これがどのような資料に基づいて記されたものであるのか明らかでない」としている^(注6)。

嶋田氏は平左エ門、当時平八郎を以て本家とす。其の祖新十郎初め武田氏に従い、武田氏亡びて白井の長尾家に属し、後又井伊直政に従い慶長五年佐和山の役に戦死す。世世伊香保の住民にして菩提寺はもと白井村曹洞宗双林寺なりしが、天正後徳川氏関東入国の頃同所は川向いにて差つかゆるとて渋川村真光寺に転宗せしという。

安政二年(一八五五)に嶋田権右衛門を筆頭に大家十三名が代官所へ提出した文書^(注7)では、「私共の先祖は、新田・上杉・長野(箕輪)・井伊に仕え、関ヶ原の陣、大坂の陣、佐和山の役にも従軍した」と記している。近世初頭以前の嶋田氏の実態は不明であるが、『伊香保志』が「嶋田氏は承応の検地帳の耕地面積および温泉利用権からみて、木暮氏、岸氏に準じて有力であつたと推定される」と述べるように、近世初頭の当地において相応の権益を有していたものと考えられる^(注8)。

さて、『伊香保縁起』は延宝五年(一六七七)の時点で嶋田氏所蔵本の存したことが確認されるが、さらに遡って寛永十六年(一六三九)に伊香保温泉の旅亭で「縁起」を見た『伊香保記』が記している。『伊香保記』は、豊後国岡城主中川内膳正久盛の室が伊香保への入湯の旅に出た折の紀行である。総社の光厳寺(前橋市総社町)で那波八郎大明神の縁起(岩屋縁起であろう)を見た後、水沢観音に詣でて伊香保に到着している。当該箇所を次に掲げる^(注9)。

さて、総社を立ち出でて行くほどに、水沢といふ所になりぬ。これに観音立たせ給ひて、(中略)御前に参りて見奉れば、中尊は如意輪観音にてわたらせ給ふ。左には地藏、右に夜叉明王、御後ろのかたには千手、いま一方には十一面立たせ給ふ。この堂は、孝謙天皇の御宇に高光中将といひし人、

上野国の国司にておはしけるが、その菩提所とかや。かの高光卿は、本地薬師如来にてわたらせ給ふゆへに、諸病悉除のため、伊香保の里の滝の湯は出ださせ給ふとなり。さてこそ、かの滝の上に薬師は立たせ給ふなれ。北の御方伊香保の姫と申せしは、則ち、観音の再誕にてわたらせ給ふと、詳しく縁起に見へたり。これは、後、伊香保の宿にて見侍りしなり。

彼女の見た「縁起」が『伊香保縁起』であつたかどうかは不明であるが、彼女の記す概要は『伊香保縁起』『水沢寺之縁起』のそれと一致する。「縁起」を見た場所が水沢寺ではなく、「伊香保の宿」であつたことに注意すべきであろう。また、伊香保社に隣接する薬師堂(伊香保大明神・男体の本地堂・湯泉寺)についても次のように記している。

……かの滝の上に立たせ給ふ薬師は、湯の本地にてわたらせ給へば、誰も参るよし聞きて、ある昼つかた、忍びて参りけるに、蠟燭してし出だして御明かしかが、御帳上げて心経、普門品など、いとたうとく読み終はりて、やかて帰りければ、……薬師堂の口のかたには湯前立たせ給ふ。坂の下に阿弥陀堂おはします。湯前の別当は、則ち、寺号湯泉寺とて、やかて引き続き寺あり。此の別当には老いたる母ありけるが、すすけたる綿かづき、古めかしき衣ども重ね着て、袂に手ひき入れ、田舎めき、恥づかしげなるものから、さすがに寄り来て、よしばみたる口つきして物言ひたるこそ、おかしかりつれ。薬師堂の別当は、いわよしとて、坂より下に寺の軒見へけるが、その際に湯の流れ来る所ありて、それより懸樋を懸け渡し、町中へ取りけるとぞ、人々語りける。

この叙述から、近世初頭の伊香保社周辺の情景を窺うことができる。伊香保温泉は近世期に数度の大火に見舞われており、情景も変わったことと思われるが、参考までに文化文政年間の境内の様子を描く「伊香保医王寺境内図」を次頁に掲載した。

以上、延宝年間に温泉の大家である島田氏が縁起を所蔵していたこと、寛永年間に縁起を所持する旅亭のあったことなどを中心に、『伊香保縁起』に関して若干の検討を加えた。先に、1・2に比して3は本文の異同がやや大きいと述べたが、冒頭部・結末部の三本の比較は注1の拙稿に掲げたので、最後に「伊香保姫が入水する場面」の一部について1・3の本文を対照して掲げる。

1 いとま申て人々よ。しう／＼の契約はさて也。しんめいのかたちとならん其後は、をなし心のやくもんに趣き給へと、御泪もせきあへず仰

られければ、二人の御前たち、同じ御声にてなげかせ給ひけり。如何に我君、さやう^三覚しめし給ふそや。……

3 いとま申そ人々よ。此世の縁ハ是迄なり。長き誓の願力をわすれ給ふな、必と、涙にむせひ給へける。二人の姫、聞給ひ、御神にすかりつゝ、誠にさやうにおもひ定給ふかや。……

このような本文の異同については、転写過程での改変という書承上の問題として捉えるだけではなく、口頭での縁起語りの影響も考慮して考えるべきであろう。『伊香保縁起』の三伝本、『水沢寺之縁起』『神道集』の詳細な比較検討は今後の課題とする。

注

1 引用は、大島由紀夫編・伝承文学資料集成6『神道縁起物語(二)』(二〇〇二年・三弥井書店)収載の翻刻による。

2 大島由紀夫『伊香保縁起』(徳田氏蔵本)解題・翻刻・『伝承文学研究』第七十一号(二〇二二年八月)。

3 青木祐子「新出資料 後藤本『伊香保縁起』『赤城大明神縁起』『水沢縁起』について」・『伝承文学研究』第六十七号(二〇一八年八月)。

4 白文方印の隸字判読は今後の課題とする。

5 引用は、『伊香保志(下巻)』(一九八九年・みやま文庫)の復刻影印による。

6 伊香保町教育委員会編『伊香保誌』(一九七〇年・伊香保町役場)。

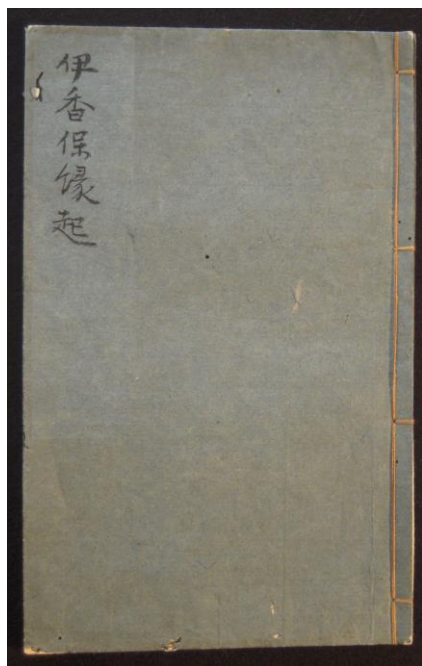
7 関根芳明家文書「乍恐以書付奉申上候」一状(群馬県立文書館所蔵・県史複製資料EG3-16-31近世2/108による)。

8 木暮氏・岸氏の営む旅館は今日に至っているが、島田氏は明治末期に權益を譲渡している。

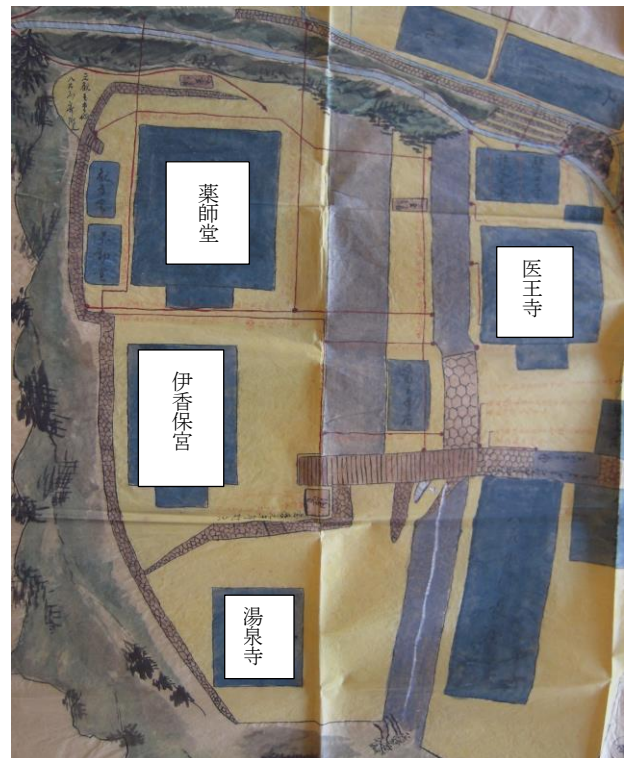
9 引用は、『群馬県史料集』第六巻・日記篇2(一九七一年・群馬県文化事業振興会)所収・萩原進校注「伊香保記」による。

《謝辞》

所蔵資料の閲覧・撮影・掲載にあたって種々高配を賜った徳富蘆花記念文学館関係各位、並びに同館へ仲介くださった安博博史氏に厚く御礼を申し上げます。

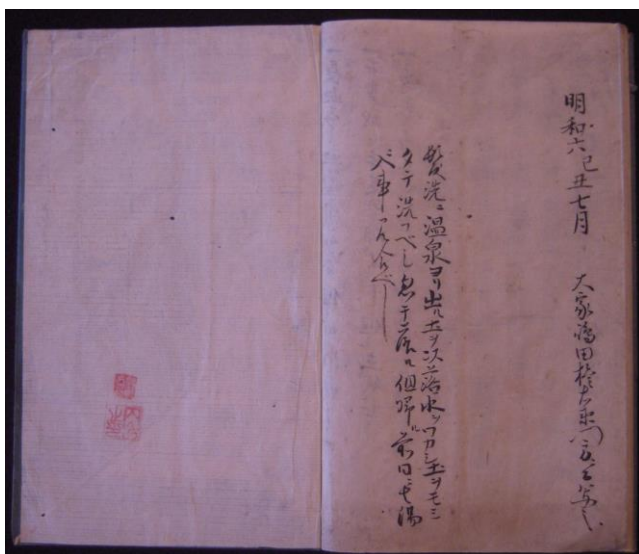


表紙(後補)

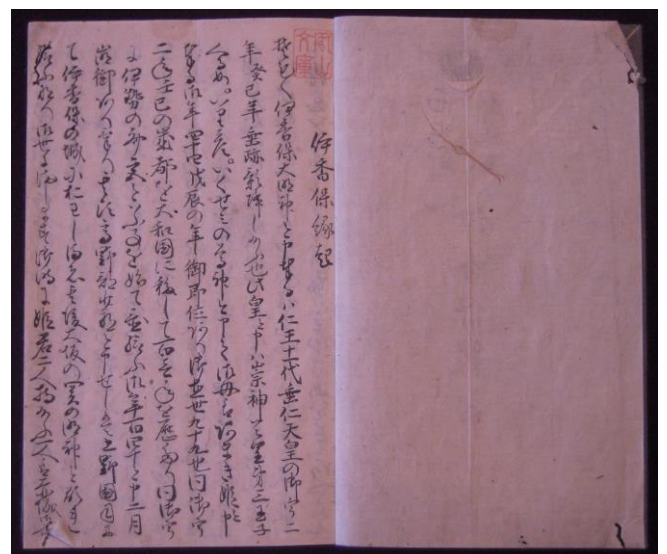


伊香保医王寺境内図(徳富蘆花記念文学館蔵)

* 上が西



末 尾



冒 頭

翻刻

〈凡例〉

○改行は原本のとおりとし、改丁箇所は「一才」のように示した。

○読解の便を考慮して私に句読点を施した。

○漢字は原則として現行の字体を用いるが、一部に旧字を用いた。尚、翻刻にあたっては、筆写者の書き癖を考慮した。*例えば、「悲」の上部は「愛」のくずし字の上部と混同しているようである。

○原本に付されたルビはそのまま記した。

○脱落があつて読解に支障をきたす場合は、想定される字を（ ）書きで補うが、それが必要最小限にとどめた。

○読解に著しく支障をきたす誤字については、右側に「ママ」と傍記したが、これも必要最小限にとどめた。

〈翻刻〉

伊香保縁起

そもく、伊香保大明神と申奉るハ、仁王十一代垂仁天皇の御宇二

年^{癸巳}年、垂迹影降し給ふ也。此皇と申ハ、崇神天皇第三ノ王子

くるめいり彦いくせみの尊神と申て、御母はあまき姫と申

奉る。御年四十四、戊辰の年、御即位あり。御在世九十九也。同御宇

二年壬巳の歳、都を大和国に移して百老年を歴たり。同御宇

に伊勢の斎宮といふ事を始て置給ふ。御年百四十と申二月、

崩御ありけり。其比、高野部少将と申せしは、上野国司に

て、伊香保の城におわしまし、其後、大坂の関の明神と顕れ

給ふなり。御世にまします御時に、姫君二人持給ふ。一人は赤城御前「一才

と申て、東上野に御住居あり。後には赤城明神と顕れ給ふ。

御妹伊香保の姫と申せしハ、高光中将殿にけいやくましまして、

御跡を譲り給ふなり。妹背御中不浅過行給ふ程に、姫君一人

おハします。然る所に、都より大友佐大将殿と申人、上野の国司を承りて下向し給ふ也。前の国司高光中将殿ハ、御台、姫君

引具して、有馬郷の里に住給ふ。其後、伊香保姫ハ父母の御亡魂

の祭りにとて、藤名明神に奉幣して帰らせ給ふ折節に、当

の国司大友の佐大将殿、川狩に出させ給ふ。御簾、吹風の隙よ

りも此姫君を一目見給て、難忘思われける。媒の便を求め

て消息を参らせけれども、我ハ主あるものをとて、あへてな「一ウ

びく気色もなし。此事はやほに出ぬれハ、せんかたなくて、佐大将

殿、われハ当国司なれハ威勢おもし。人は故職なれハたれ

か随べき。押寄て奪取んとおもへ立、大勢を引具して、ありま

郷の里に押寄ける。伊香保の姫につき奉る大夫が子とも

九人、賀三人、大将として防ぎ戦へとも、国司の勢ハ大勢

なり。有馬ハわつかの仮の宿り、折節防く勢もなし。終に

打負給へける。九人の子共、三人の賀も打れけれハ、伊香保大夫

ハ、北の方、同姫君、女方蟻の御前、御孫石とう姫を引具し

て、有馬の上なる横まくら、伊香保の山に隠居、くるまの

内なる子持山へぞ入給ふ。扱、高光中将殿と大夫が嫡子と「二才

もろともに猛火の中へ飛入てこそ失給ふ。当国司佐大将ハしい

だしたる事もなく、国の軍兵ハ申及す、都より供したる家

の子、郎等百余騎打れ、我か身も数多の痛手をゑて、

七十日と申にハ、年三十七にして終に空敷成り給ふ。其後、

伊香保の大夫ハ五人の女郎達^{マヤ}を赤城御前に預ケ参らせて、

我が身一人忍ひ出て、都に上り、参内し、事の子細を委く

そうし申されける。御門驚かせ給ひて太夫を召れ、かへすく
 神妙なりと、御恩の宣旨を下さるゝ。夫よりいにしへも賢
 臣ハ天竺、震旦、我が朝迄、其例多しといへとも、汝が忠義、
 一度ならず、さらしなが時と云けれ、^{ママ}継母の悪行といへ、高^二二ウ
 野辺の少将といひ、度々において伊香保姫をはごくミ、忠を
 つくす事、ためしすくなき賢臣なり。急き下向仕り、汝、
 目代として伊香保の姫がちゃんはいに任せ、かれが心に随ひ、
 汝が姫をハ都へ参らせよ。都人にかしづかせて、召仕ふべし。
 又、伊香保の姫にも申べし、あかぬわかれの歎き、不便に
 おもふなり。高光が後世を心の儘にとむらうべしと、難有
 勅定にて、大夫も悦ひ、下向あるよし聞こへしかバ、子共孫
 ハ不及申、死残りたる郎等とも、われ先にと争ひ、御迎
 にこそ出にける。大夫の女方北の方を始奉り、白井の子持山
 を出させ給ふ。赤城より山人達を指添て、伊香保へ入らせ」三才
 給へけり。国中の人々ハ、此由をつたへ聞、我先にとて参りけれ
 ハ、伊香保ひろしといへとも、野にも山にも並居つゝ、駒の
 立ともなかりける。当国司佐大将殿の北の方、同子共ちりく
 に逃隠れ給ひける。都より供したる郎等ハ皆打れ、
 国の軍兵ハ伊香保の威勢に恐れて随ハす、哀れなり
 けるありさまなり。去程に、大夫殿、姫君に国の政事を
 任せつゝ、其身ハ目代として心の儘に国を治給ひける。扱、
 其後に打死したる九人の子ともを九ヶ所の御霊とあが
 めさせ、へいはくを捧げ、供養をなす。三人の賀ともをハ

三ほうてんと号して、瀬田の郡にあかめさせ給ふ。高光中」三ウ
 将殿の御為に、有馬の上、横まくら、伊香保の山の南の麓、
 岩瀧沢の北の峯、寺岳といふ処に寺を建て、くるまの
 郡を寺領に定置、高光中将成等正覚と祈り給ふ。
 其後、中将殿の姫君、十五歳と申時、都へ上せ給ふ。姫君、
 内裏へ参り給へハ、頓而薄衣召れつゝ、玉体に近づき奉り
 給ふ。これによつて、伊香保の御位勢、日々にまし、年月
 送らせ給ふ程に、大夫九十八、女方ハ八十九才にて空敷成り
 給ふ。蟻の御前、石どう御前とて、二人の女郎達^{ママ}ハ、北の
 方につきそひ給いて、明し暮させ給ふ。去程に、高光殿の
 御おひに恵観僧正とて、御僧まします。都より下り」四才
 御感あつて勅願寺と号して震毫^{ママ}の額を下さるゝ。岩
 瀧沢の峯なれハ、五徳山水沢寺となされける。本尊ハ伊香保
 の大夫の持尊千手観音を安置し奉る。伊香保の姫、彼
 御堂に籠り給いて、高光殿の生所をしめたまへと日々
 普門品を三十三巻読誦まします。蟻の御前、石どう御前
 も同く籠り給ひつゝ、ともに祈誓を懸給ふ。誠に大悲
 の悲願を尋るに、三十応身の春の花ハ香わぬ里もなく、
 十九説法の秋の月、照らさぬ境もなし。いかに我くが願い」四ウ
 を空敷捨て給んや。仰きねがはくハ、高光殿の生所を
 夢にも知らせて給はれと、ふししつミなけるゝ。誠に恩あ
 いの悲しさはよその袂もしぼりける。此人々の誓願浅からず、
 去るにより、大夫夫婦、九人の子とも、三人の賀、其外数多のぐ

ぶのもの、いくわん正敷、花やかに出立、人々の枕に立より、あら難

有や、御経誦誦の功德により、此山／＼の山神、伊香保沼の

龍神、其外せん現、しう神等にかしつかれて、只今顕れ参

りたり。殊に中将殿ハ、其利益深くして、我／＼圍繞渴仰

し奉る。あれ見給へとて、風簾を卷上けれハ、中将殿、衣冠

正敷、木賊色の狩衣、すきひたいの冠りにて、誠にけだ「五才

かく見へ給ふ。北の方にちかつき給い、いかに我が妻、結ひも

果ぬしゆくせの帯、わかれし時の悲しミハ、ちやうなぼんじが

まにしう女にわかれ、くうたんくうが中有のたひ、思ひ合て、

うかりしが、御とむらいのくとかにより、四悪道の苦をま

ぬかれ、忉利天に生を請、やうらく玉の台に安座せり。

猶／＼功德をなし給へ。我ももろとも衆生さいとの願

をとけ、正覚成就の仏となり、国土を猶も救ふべし。

いとま申そ、さらばとて、夢は其儘醒にけり。此人々ハ、

声／＼に、たとへ夢の勢りなりとも、せめてしバしは醒す

ともあれかしと歎き悲しみ給ひける。哀れ成ける」五ウ

事ともなり。扱、其後、別当を始て、三百余坊の衆徒集り、さ

ま／＼なくさめ奉る。されとも浅からず、衆徒もろとも墨

染の衣の袖をぞしほりける。あまり思ひにたへかねて、二人

の姫君を右左に置給ひ、なミたとともに仰けるハ、夫、人界

のありさま、無常のさかい、まぬかれず。愛別離苦のかなしミ、

こゝろをくるしめ、長き苦界にしつむ事、おろかなりとハ知り

伊香保の沼に身をしつめ、大悲の願力に任せ奉り、高光

殿ともろともに、忉利天に生を受けて、衆生を利益せんとお

もひ定めしなり。此沢より南をハ、石堂御前に参らする。」六才

乃、建立忘れ給ふなよ。いとま申そ、人々よ。此世の縁ハ是迄なり。

長き誓の願力をわすれ給ふな、必と、涙にむせひ給へける。

二人の姫、聞給ひ、御神にすかりつゝ、誠にさやうにおもひ定

給ふかや。君に別れ奉り、国所領もなにかせん。我／＼も

諸共に同じ道に連れ給へと、かきくとき泣給ふ。北の御方、

聞し召、実にもさやうにあるならば、とても浮世ハ仮の宿、

長きとうりの玉の床に、同くともなひ参らせんと、三人

の人々、伊香保の沼に望みつゝ、御経誦誦ましまして、心

静かに誓ひある。若為大水所漂称其名号即得浅処」六ウ

といふ文になりて、北の方ハ其儘沼に飛入給ふ。二人の姫もおくれし

と、同く飛入給ひける。別当も衆徒も驚きさわき、沼のみ

きわに並居て、いか／＼せんともたゆれとも、ちいろの底に沈ミ

給へハ、せんかたなくて、泣／＼帰り給いける。其後、御死骸をおかへ

打上給ふにより、ミな／＼集り、とりおさめ、無常の煙りとなし

給ふ。伊香保の山に紫雲たなひき、波底に音楽ひ／＼き、

いきやうくんじて、有難き事ともなり。誠に人々の願力空

しからず、忉利天に生れ、玉の台に至り給ふ事、疑なし

とて、聞及虫撰□る者迄も信心きもにめいじける。其後、別

当僧正の御夢に、北の方顕れ給ふ事、われをハ神に」七才

いおうべし。此寺の鎮守とならむ。疑いあらば、明て枕を見

給へとて、夢ハ其儘覺にける。別当、枕を見給へハ、巻物一卷あり。急き披見あらに、北の方ハ伊香保の明神、高光殿ハ薬師如来、大夫ハはやお大明神、女方ハしゆくの明神、蟻の御前ハ正観音、父の跡を守らんとて、有馬の号に立給ふ。石堂御前ハいしつの明神と願れて、有馬のかうの内、けんちやうの村に立給ふ。扱又、都に上り、后に立給ふ姫君ハ、御門崩御の後、国に下給ふを、是も伊香保の御子なれハとて、若伊香保の明神とぞいわひける。水沢寺守護の鎮守となり給ふ。夫より歳霜すき、人王四十一代智統天王の御宇「七ウに、上野の国司をハつる橋の左大将国高卿と申なり。国司の威勢に任せて、伊香保山に入、七日まき狩し給い、其上にあまつさへ伊香保の沼にて馬を洗、鹿を解、沼をけかすのミならず、あみをおろして沼の内なる魚を取んと支度ある。あらふしきや、一夜の内、此沼の深さめくりにひとしき大山一つわき出て、元の沼は西の方に隠れ、山は東より願ける。今の沼か嶽、是也。国司、是に驚き給ふ。御供の人々も肝魂を失ひ、ほうく遑て、里に下り給ひける。おり節、岩瀧沢の横まくらより、鹿を三頭追出、彼の沢の北について下る程に、水沢寺の本堂へぞ追ひ入ける。三百余坊衆徒、忽に驚集り、「八才こわ狼藉なり。当山は忝も垂仁天皇の勅願寺たり。然るに山中にてかゝる殺生、未其例なし。いわんや堂内にて如何様の狼藉ある上は、国司なりともあますなとて、大衆の中に追取込てそ戦ひける。終に彼の鹿を奪取、しやう

ずがくぼといふ清き水の辺りに埋ミ、塚を築ておかれける。国司もかり装束にて戦ひ給ふ故、痛手数多受給ふ。国司いよ／＼いかりをなし、衆徒耄人もらすなとて、国中の軍兵おひ／＼に召集、数千の勢にて責にける。大衆も命をおしますふせき戦ひ給へとも、国司ハあらて入かへせめにける。大衆ハ多打死す。次第につかれ「八ウて叶ハねハ、終に打負、山中深く籠ける。国司はなをもいかりをなし、さらは堂塔焼払へとて、三百余坊に火を懸たり。折節、三月半の事なれば、たつミ風はけしく、猛火さかんに吹かけしかハ、本堂を始として、講堂、金堂、常行堂、ぎやくへつそう院、六観音院、真言院、利益院、慈恩寺講且阿弥陀堂、伊香保姫の報恩院、藤名の姫のきやうやう院、赤城御前の結縁堂、いかほの大夫の逆修院、九人の子共の教善院、夫婦離別塔六大院、三人の功養院、蟻の御前の非業院、石塔御前の報恩堂、高光殿の宝蔵院、御堂の数ハ三十余坊、三百余仏の「9才数ハ合て千式百余体、只一時の灰となり、風に吹れてちり／＼に跡かたもなく成行。法滅のありさま、哀れともなか／＼に目もあてられぬ事とも也。衆徒わつかに残しも、皆／＼遑隠れ、失ぬれハ、別当多羅行上人、都に上り、奏聞有る。御門大さ(に)驚かせましまして、つかハしか乱行、仏法破滅の悪人、五逆罪の頭人たり。海をへだて流すべしとて、北陸道の国のすへ、佐渡が嶋へそ流さ

れける。去程に、僧正通圓ハ智統天皇より勅を蒙りて

下向ある。今少し山深く入べしとて、廿町余奥深く入、あの

高峯の南のくぼ、戸沢の横枕に御堂を建立給ふ。」9ウ

其後、つかはし左大将、年月を送りて、佐渡が嶋にて、伽藍

建立あるよしをほのかにつたへ聞、僧正の御方へ手を合て

まいられける。僧正、あわれミ、終に赦免の宣旨を申下さるゝ。

扱、夫より参詣の人々、つかれを止め、病をじせん為にとて、伊

香保大明神、しゆく祢の明神の方便にて出し給ふ御湯

なり。彼湯の内より震動雷でんして、左大将国高を

獄卒かしやくするよし、云伝へたり。然るに、伊香保の

山中に七つの嶽有り。其内に石櫃嶽ハ火どう地獄の

蓋となり、北の谷ハこくぢやう地獄の谷となり、湯の

事たへやらす。そもく、地獄は悪をいましめ、善を進」十才

る境界なり。迷ひの人を見るに、本覚真如、都を出、六道

四生のちまたに生れ、無明の闇におこわれ、法性の月を

かくし、五障三毒のともに引れて、三的^{マヤ}五戒をわする。

哀れ、おろかなる事どもなり。唯ねかわくハ、諸共に

罪業を懺悔し、煩惱の雲晴て、三ゐん仏生の

月の光りに誘れ、終に明覚の台に至るべし。

いかにいわんや、此湯ハ伊香保、しゆくねの御方便の事

なれハ、一度此湯に身をふるゝ輩ハ、有漏の垢を洗、

無漏の正身をあらわし、煩惱の業病、忽にぬ

け、四大堅固にして、寿命を延ん事、何のうたかいあらん。」十ウ

いかにいわんや、医王善逝の御ちかひ、衆生利益の願なれ

ハ、二世安樂の名湯なり。然るに、水沢寺ハ人王十一代垂仁

天皇の勅願、開山ハ恵観僧正、伊香保姫の建立なり。

再興ハ人王四十二代文武天皇の勅を受けて、道圓僧正

の建立、大宝二年壬寅三月十八日午の刻の供養なり。其

後、天平年中に至りて、行基菩薩、再興ことくおわる。

かなしきかなや、末世におよんて仏法もすたれ、王法も

かるくなり、如是の道場たへなん事をや。そもく伊

香保大明神、男体ハ薬師、女体ハ十一面くわん音、しゆく祢

ハ千手、是伊香保と同体なり。蟻の御前ハ正観音。石」十一才

塔御前ハ如意輪、はやお大明神ハ馬頭観音なり。まさ

に知るべし、是皆諸仏の方便にて、衆生利益の為に

とて、和光同ぢんし給ふ垂跡の神なり。誠にたへなる

大悲の願、不取正覚のちかひ、あ二たれかハもるゝもの

あらん。有難かりし事ともなり。伊香保縁起畢

温泉之効能

一 婦人治病に吉。但シくわいにんせさるに寄妙なり。

一 中風、中氣、半身かなわざるに吉。但シ即時ニ入レハ速ニ本快ス。」十一ウ

一 長血、しら血、腰氣に吉。但シかん病によし。

一 打身、或は手足の痛ニよし。但シ立処ニ直ル。

一 疱瘡あしきよし。酒湯ニ入れハ跡なし。

一 一切のきん瘡によし。頭痛に妙なり。

一 脱肛、痔漏によし。もろくの湿瘡^ニよし。

一 せんき、すはく、腰のいたみによし。

一 もろくのたんによし。

一 一切のつかへによし。但悪病^ニハ悪し。」十二才

明和六^己七月 大家嶋田権右衛門方^ニ而写之

髪洗^ニ、温泉ヨリ出ル土ヲ以落水ヲワカシ、土ヲモミ

タテ、洗フベシ。忽チ落ル。但、帰ル前日^ニ其湯

ニ入事、見合ベシ。

「十二ウ

An Introduction and a Reprint of *Ikaho-Engi*

Yukio OSHIMA

Ikaho-Engi (伊香保縁起) is a story which narrates the legendary origin of Ikahojinja (伊香保神社) shrine and Ikaho-Onsen (伊香保温泉). Its' contents relate closely to *Ikahodaimyōjinnokoto* (伊香保大明神の事) in *Shitōsyū* (神道集). It has been confirmed that there are the following three manuscripts of the story.

Manuscript 1 (M1) Untitled manuscript Possessor: Mr. Kazuo TOKUDA

A manuscript book copied by hand in 1740

Manuscript 2 (M2) Title: Ikahoengi Former possessor*: Mr. Rinpei KIMURA

A manuscript book copied by hand in 1742

*The whereabouts of original is unknown, and an electronic copy of it has survived.

Manuscript 3 (M3) Title: Ikahoengi Possessor: Tokutomi Roka Kinen Bungakukan (徳富蘆花記念文学館)

A manuscript book copied by hand in 1769

M1 was introduced and reprinted by Yukio OSHIMA in *Denshōbungakukenyū* (伝承文学研究) vol.71 in 2022. M2 was introduced by Yuko AOKI in *Denshōbungakukenyū* vol.67 in 2018.

In this paper, I have reprinted the text of M3 and given a bibliographical introduction to it.

『讃岐典侍日記』——「タブー」の境界線——

太田 たまき*

(二〇二二年二月三〇日受理)

一 はじめに

「物忌み」や「方違え」など、平安時代にはさまざまな穢れやタブーが存在した。『讃岐典侍日記』ではその中でも最大の「穢れ」である「死」、しかも「天皇の死」という、ごく一部のしか関与せず、一般には知り得ないものがそれに至るまでの経過とともに語られており、その特異性が作品の中心であるかのように言われてきた。

『讃岐典侍日記』が「天皇の死」を語ることができたのは、作者藤原長子が内侍司二等官「典侍」という天皇付き上臈女房であったこと、そして本文に決定的な言及はないものの、彼女が堀河天皇と男女の関係にあったことに起因する。天皇の最側近女房という典侍の特性として、天皇と関係を持つことがその職務の一部であるか否かについては線引きが難しいところだが、こういった作者と堀河天皇の特異な関係性が、「天皇の死」といったタブーを書き綴り、作品として公開することを可能にしたのは確かである。しかし後述するように、作者藤原長子は決して「天皇の死を語ること」自体を目的として本作品を残したわけではない。それは「天皇の死の瞬間」や遺体の死後硬直といった変化までを、后妃ですらない、あくまで「女房(女官)」であった彼女が、自分と堀河天皇の関係を土台に執筆したという特異性が加わったことにより、結果的に本作が「タブーを解禁した作者」

によるセンセーショナルな作品と認識をされてしまっただけなのである。

それでは、作者は「タブー」に関して当時の一般常識とは異なる感覚を持っていたのだろうか。時代は下るものの、同じ天皇経験者との関係と別離を描いた『とはずがたり』に比べれば、本作の描写は一定の節度が感じられる。よって、描かれた事象の表面上の衝撃度をもって、作者の「タブー」に対する抵抗感の低さを証明することにはならない。もちろん、本作が前掲のように現代のわれわれでも躊躇するような描写をしている点は特筆すべきだろう。しかし、作品の細部を「タブー」という観点から読み解いていくと、非常識にも見える題材を意図的、積極的に取り上げているわけではないことが見えてくる。

『讃岐典侍日記』は、一般的に言われる、「死を見つめた作品」「死を題材にした作品」なのか。多くのタブーに踏み込んだ作品なのか。そして、作者藤原長子は「タブー」に対する感覚が同時代の一般的傾向とは異なる、ある種の破天荒さを持つ人物だったのだろうか。以上の観点から、本稿では作品内部でのさまざまな「タブー」の扱いに焦点を当て、作者が一般的に「タブー」とされる事象を描くに至った理由、そして彼女の「タブー」に対する感覚、取捨選択の境界線について見ていく。本考察をとおし、想定以上に「常識人」であった作者が、それでも「天皇の発病から死」、「遺体の描写」までを描いた実情を探る。

*一般教科人文

二 手段としての「天皇の死」描写

まず、作品内部での「堀河天皇の死」の描かれ方を確認する。

ともすれば、「大神宮、助けさせたまへ」と申させたまへど、そのしるしなく、むげに御目など変はりゆく。
(四一七) (注一)

かばかりの人の、一心に心に入れて、「年ごろ仏につかうまつりて、六十余年になりぬるに、まだされども仏法つきず、すみやかにこの御目なほさせたまへ」と、人などをいふやうに、「おそし、おそし」とあれど、何のしるしもなくて、御口のかぎりなん念仏申させたまへるも、はたらかせたまはずならせたまひぬ。
(四一七)

かかるほどに、日はなばなと射し出でたり。日のたくるままに、御色の日ごろよりも白くはれさせたまへる御顔の清らかにて、御鬢のあたりなど、御けづりぐししたらんやうに見えて、ただ、大殿ごもりたるやうにたがふことなし。
(四一八)

御腕をさぐれば、いまだ、冷えながら、例の人のやうにたをやかにさぐらるれば、もしやとこころみがてら、しばしも、さらば、たがへまゐらせて、もののたまへかしと思へば、いたくもすすめで、もろとも御腕をとらへてゐたれば、いつのほどに変はるにか、ただすくみにすくみはてさせたまひぬ。
(四二四)

病苦から逃れようと神璽の入った箱を胸に置いたり(三九九)、物の怪が名のりわめき、それに答える天皇の様子など(三九四、四〇七)、ほんの数人しか知り得ない病床の間の様子を描きながら、作者は死に向かう天皇の姿を克明に描写していく。やがて経を読む声も途切れ、目も開かなくなり、

口も動かなくなった堀河天皇の顔の描写からは、長子が自身の顔を天皇の顔面にすり寄せているかのような距離感がうかがえ、ついには手に取った腕の体温が失われ、たおやかさもなくなり硬直していくまでの変化が臨場感をもって語られている。

「死」は最大の「穢れ」である。穢れは伝播し、死穢に触れることは本来最も忌避されるべきものであった。しかし長子は遺体に付き添い、その腕を取り、許される限りその場を離れない。いくら穢れを忌む平安時代といえども、死の衝撃を前に「それが穢れになるから」という冷静な判断のもと遺体への執着を断ち切ることはむずかしく、長子のような行動を取るのには自然な感情だろう。上下二巻からなる本作のうち、堀河朝が舞台となった上巻では結果的に堀河天皇の死が最大の山場となり、そこからうつつかわった静寂の中、上巻は一端の完結に向けて収束していく。

このように、緩急見事な筆致と臨場感から天皇の死がリアリティをもって語られているわけだが、この「特異性」を彼女がどこまで意識していたかはわからない。もともと蒲柳の質であった堀河天皇の看病はすでに長子の中では日常であり、重篤、臨終もその延長線上にあった。長子の前半生のクライマックスは「堀河天皇の喪失」であり、何かを書き残そうとすればそれを避けることはできない。それは長子にとっての「必然」であり、そこに奇を衒った何かがあるとするのは穿ちすぎだろう。堀河天皇への追慕の念があることは確かだが、作品全体を見れば、長子は「天皇の死を見届けた自分」を語ることの方に余念がなかった。作品全体の構成を見ても、上巻は下巻の序章的な意味を持ち、結果的に下巻の鳥羽朝で自己の立ち位置、待遇を嘆く際の「嘆きの正当性」を担保するものになっている(注二)。

もともと、長子は自分と同じような立場、堀河天皇の思い出を共有できるような人物を本作の読者として想定していた(注三)。その範囲の人物への公開が前提であれば、堀河天皇を慕いながらも病床に付き添えなかった人たちとの「思い出の共有」も意識していただろうし、結果的にわずかに二日のできごとをあそこまで記録的な詳細さをもって描くことになったとも

考えられる。結果、それによって下巻で長子が訴え続ける「堀河朝での特権を失った自分」、「正当な扱いを受けていない鳥羽朝での自分」を際立たせることに成功しているのである。

天皇の死をめぐる描写について概観したが、たしかに上巻を独立させて読んだ場合、そのセンセーショナルさに目が奪われる。しかし、下巻まで読み進めることで、上巻に比べて地味な印象ではあるものの本作の執筆動機が下巻執筆にあることは明確で、それにより上巻で受けた「タブー」を扱った作品」という衝撃は薄れていく。そもそも、長子や彼女が想定した読者層にとって、上巻に書かれた情報は共通認識、追体験、補足に過ぎず、現代のわれわれが感じる斬新さや秘密の暴露に近い感覚は薄かったとも考えられる。

本作品が「タブー」を扱った作品」であることに異論はないが、それをもつて本作を「タブー」を打ち破った作品」と定義付けることや、作者を「タブー」を暴露することに躊躇しない」人物とすることにはできないのである。

三 葬儀の排除

堀河天皇との別れを詳細かつ衝撃的に語った長子であったが、堀河天皇の遺体を見守ったあとは、あつけないほどの短さで上巻は終わる。

御乳母たち立たれぬれば、因幡の内侍とて、明け暮れ、あまたの内侍のなかに、とりわきつかうまつりつきたりし人と二人、御かたはらに無期に近くさぶらふ。「あはれ、多くさぶらひつれど、契り深くもつかうまつりはてさせたまへる」などいひつづけて、いみじう泣かるるさまぞ、いともよほさるる心地して堪へがたき。

局より、いそぎたるけしきにて、「きとおはしませ。三位殿、絶え入らせたまひぬ」といひて、引き放けて、ゐて去ぬ。 (四二五)

崩御直後の混乱と人波も引き、遺体の変化を感じ取れるほどの間堀河天皇の遺体につき従っていた長子であったが、姉藤三位の失神の知らせで御前を下がる。これが上巻に描かれた長子と堀河天皇の同座の最後であるが、ここまでの過程に比べてもの物足りなさを感じるほどの淡白さである。そして三か月の空白を経て下巻は始まるのだが、この間に取り行われた一連の葬儀について、なぜ長子は一切語っていない。

天皇の発病から崩御をあれほど大胆に扱った作者が、崩御後の葬儀について一切触れなかったのはなぜか。従来言われてきた作者の「タブー」への鈍感さ」と照らし合わせると大きな矛盾とも感じられるが、これもまた前節で述べた「作品の執筆意図」「上巻の位置づけ」を考えることで整合性が保たれる。

納棺に始まる堀河天皇の崩御後一連の動向については別稿で論じたが（注四）、在位中に崩御を迎えた天皇の死とその後の諸儀式は、当然のことながら新帝の即位と同時に進行となる。そのため、とくに政権の中枢にいた人物たちはかなり多忙かつ煩雑なことになるが、天皇の代替わりには入れ替えが基本となる内侍司女官たちは、自分が仕えた天皇の葬儀のみに専従できるわけで、兼務が前提の男性官人より葬儀全体を通し、かつ細部まで知りえる立場にあった。その点からして、もしこの間の記述が本作に残されていたとしたらかなり貴重な資料となりえたのだが、残念ながら長子は下巻の回想部分ですら、葬儀への言及は一切していない。長子が「堀河天皇の死」「遺体の描写」を書いたのはそれ自体を描くことが目的ではなく、「すべてを知りえた自分」「天皇と自分の特別な距離感」を強調するための手段に過ぎなかったわけだが、すでに上巻でそれらを描き切った長子にとって、その名残のような葬儀の詳細を描き続ける情熱も必要も感じなかったのではないだろうか。上巻末尾を描き終わった時点で、彼女の意識は本作の中心である下巻を描くことに向かった。それにより葬儀の部分は排除されて下巻に突入することになり、結果的には本題へのスムーズな切り替えが可能になっていることから、構成の在り方としても成功してい

る。

「タブーへの踏み込み」「内情の暴露」が本作の執筆動機ではなく、あくまで「自己」を描くための手段として結果的に「天皇の死」を書くことになったまでであり、それを完遂した時点で、作者には下がった熱量を奮い立たせてまで情性的に葬儀の様子をつづる必要はなかったのである。

上巻で堀河天皇の死を詳細に記録しながらも、空白の三か月間に行われた葬儀関連の諸儀式を一切排除したことから、長子の取捨選択基準が「タブーを冒すかどうか」ということにはなかったことが明確になる。繰り返になるが、上巻の記事の特異性をもって、それが長子の「タブーへの踏み込み」「タブーに対するハードルの低さ」を示すことにはならないのである。

四 「褻」の取捨選択

それでは、長子が「タブー」とするものは何だったのか。

崩御に先立つこと一か月、堀河天皇は嘉承二年六月二十日、崩御の引き金となった体調不良に襲われる。

六月二十日のことぞかし、内は、例さまにもおぼしめされざれし御けしき、ともすればうち臥しがちに、「これを人はなやむとはいふ。など人々は目も見立てぬ」とおぼせられて、世をうらめしげにおぼしたりしものを、こと重らせさせたまはざりしをり、御祈りをし、つひにありける御ことどもをもゆづりまゐらせらるると、わがさたにもおよばぬことさへぞおぼゆる。

(三九二)

かくて、七月六日より御心地大事に重らせたまひぬれば、たれも、月ごろとても、例さまにおぼしめしたりつることは、かたきやうなりつれども、これがやうに苦しげに見まゐらすことはなくて、過ぐさ

せたまへる、かくおはしませば、いかならんずるにかと、胸つぶれて思ひあひたり。

(三九三)

本作品は崩御につながった堀河天皇の発病から始まっているが、ここにはすでに長子が避けた二点の「タブー」が見て取れる。一点は「排泄」という不浄要素の排除と、もう一点は「院政の黎明期」とも言われるこの時期、皇位継承問題に揺れた当時の「政治の内幕の暴露」というタブーである。

まず「不浄の排除」についてであるが、前掲の七月六日の記事では触れられていないが、関白右大臣藤原忠実の日記『殿暦』には、「主上極重御、仍候御前、御樋殿ニ渡給程、於道不覚御也、返々不便」という記述が残っている。つまり堀河天皇は当時里内裏として使用していた堀河院内部の厠に渡り、その道中で人事不省に陥ったという(注五)。崩御の直接の原因といっているこの出来事を、長子はなぜか排除している(注六)。崩御の起点となったのであるから当時も大きな騒ぎになったであろうし、樋殿には誰が付き添い、どのような形で発見され、そこからどうやって御座所まで運ばれたのか。それらが一切書かれていないのである。

もちろん、ここから書き起こすには必然的に樋殿の場所や詳細、天皇の排泄の状況や手順などまで言及することになるだろう。当時の常識からそのようなことへの言及は憚られるため、長子にしても「排泄」と直結する表現や「樋殿」の語を持ち出すことは避けるべきという判断があったのだろう。事実、これ以降、崩御に至るまで堀河天皇は病床から起き上がることも難しくなっていくのだから、排泄の問題は当然出たはずだ。長子ら典侍がどのような形でそれに関わるのかは不明だが、天皇の病床に近づけるのは上臈のみであることから、何らかの形で関与したと考えられる。それにも関わらず作品全体をとおしてほめかしすぎらないのは、まさに長子の「タブー」を回避する感覚が当時の常識の範囲から逸脱していないことを示している。

一方で、同じ「褻」に属するもので長子がタブーを冒したものもある。

清涼殿の丑寅の隅の、北のへだてなる御障子は、荒海のかた、生きたる物どものおそろしげなる、手長足長などぞかきたる。上の御局の戸を押し開けたれば、常に目に見ゆるを、(中略)上のこなたにおはしませば、戸口の前なるほそき板敷にゐたまひて、物など申したまふ。御簾の内に、女房、桜の唐衣などもくつろかに脱ぎ垂れて、藤、山吹など、色々このまじうて、あまた小半部の御簾よりも押し出たるほど、昼の御座の方には、おものまゐる足音高し。(中略)果ての碁盤取りたる蔵人まゐりて、おもの奏すれば、中の戸よりわたらせたまふ。

御供に廂より大納言殿送りにまゐりたまひて、ありつる花のもとに帰りゐたまへり。宮の御前の、御几帳押しやりて、長押のもとに出でさせたまへるなど、何となく、ただめでたきを、(中略)げに千歳もあらまほしき御ありさまなるや。

配膳つかうまつる人の、をのこどもなど召すほどもなくわたらせたまひぬ。(注七)(四九)

おもものをりになりて、御髪上げまゐりて、蔵人ども、御まかなひの髪上げて、まゐらするほどは、へだてたりつる御屏風も押しあけつれば、かいま見の人、隠れ見の人隠れ衰取られたる心地して、あかずわびしければ、御簾と几帳との中に、柱の外よりぞ見たてまつる。

(二〇三)

右に挙げたのは、『枕草子』に描かれた天皇、中宮の「おももの」の風景である。平安時代の作品において、貴人が実際にものを口にする場面が描かれることほぼなく、食事風景の描写がタブー視されていることは広く知られている。前掲の「清涼殿の丑寅の隅の」の「おももの」は一条天皇のものであるため、中宮付き女房である清少納言がそれに立ち会うことはない。ここで興味深いのは、その間の中宮定子の動向である。当該場面は中宮が清

涼殿の上の御局に伺候した際のもので、中宮といえども彼女はあくまで「参入者」であり、天皇側から食事が供される気配はない。この場面を見るかぎり、天皇と中宮は食事を共にしていないのである。天皇の食事は神事に通じる儀式的側面が強いためなのかもしれないが、それではこのとき、中宮の食事はどうなっていたのか。考えられるのは、実際は食事をしたものの清少納言の付度からカットされたか、后妃は上の御局では食事をせず、自分の殿舎に戻ってから取ったのかのどちらかということになる。清少納言がそれを描かなかったことにより、どちらにしろ当時の貴人の「食事」がいかにタブーの度合いの高いものであったかがわかる。二つ目は宮定子自身の「おもものをり」の記述ではあるが、中宮がものを口にする瞬間は描いてはいない。

また、この二つは「おもものまゐり」の場面ではあるものの、ともに天皇や中宮の「ものを食べる瞬間」を描くことが目的なのではない。清少納言にとって、ここは「中宮の権威付け」「中の関白家の絶頂を描く」ための章段であって、「おももの」はあくまでそれを強調するための「話題」の一つに過ぎない。これは長子が堀河天皇の死や遺体を描写するときと同じ論法で、「そのこと自体を書くこと」が目的なのではなく、「それを見聞きできた立場にあった自分」を描くことが主眼だったのである。

このように、清少納言がそれほど慎重に扱った「貴人がものを口にする瞬間」に対するタブーを、なぜか『讃岐典侍日記』は簡単に冒している。

①すこし御かゆなど参らすれば、召しなどすれば、うれしさは何にかは似たる。(三九五)

②顔も見苦しからんと思へど、かくおどろかせたまへるをりだに、もの参らせこころみんとて、顔に手をまぎらはしながら、御枕がみに置きたる御かゆやひるなどを、もしやとくくめまゐらすれば、すこし召し、また大殿ごもりぬ。(三九九)

③ また、人、「のぼらせたまへ」と呼びに来たれば、参りぬ。もの参らせこころみんとてなりけり。大弐の三位、御うしろに抱きまゐらせて、「もの参らせよ」とあれば、小さき御盤にただつゆばかり、起き上がらせたまへるを見まゐらすれば、今日などは、いみじう苦しげによにならせたまひたると見ゆ。
(四〇〇)

④ 御前に、金まりに氷の多らかに入りたるを御覧じて、「あれ見れば、心地のさはやかにおぼゆる。氷の大きならん提子に入れて、人ども集めて食はせて見ん」とおほせらるれば、女房たち、みな立ち退きぬ。
(中略) 大臣殿、氷取りておのおのにたぶ。われも、せんとおぼしたるもてはやさんとなめりと見えて、ひとつ取りたまひぬ。
(四〇四)

⑤ 殿の御声にて、「ひさしくこそなりぬれ。御かゆなどはや参らせんや」とおほせらるるに、宮、聞かせたまひて、「今は、さは、帰りなん。明日の夜も」とおほせられて、帰らせたまひぬ。

例の、御かたはらに参りて、氷など参らす。
(四一〇)

⑥ 「御乳母たち、まだ六位にて、五位にならぬかぎりは、もの参らせぬことなり。この二十三日、六日、八日ぞよき日。とく、とく」
(四三〇)

⑦ 昼ははしたなき心地して、暮れてぞのぼる。「今宵よきに、もの参らせそめよ」といひに来たれば。御前の大殿油くららかにしなして、「こち」とあればすべり出でて参らする、昔にたがはず。御台のいと黒らかなる、御器なくて土器にてあるぞ、見ならはぬ心地する。
(四四〇)

⑧ 明けぬれば、(中略) ものなど参らすれば、けくにかして召すぞ、あ

はれなる。

(四四一)

①～⑤までは上巻の堀河朝、⑥～⑧が下巻の鳥羽朝のものである。④は公卿や大臣殿(源雅実)が氷を手にとったことまでで、実際にそれを口にする瞬間は書かれていない。それ以外の①②③⑤は、すでに食事のままならなくなった堀河天皇に「御かゆ」「ひる」などを給仕している場面で、「もしやとすすめまゐらすれば、すこし召し」「小さき御盤にただつゆばかり」など、比較的具体的にものを口にする様子が描写されている。ただし、これもあくまでも堀河天皇の病状の重篤さを強調するためのものであって、食したのも「御かゆ」や「ひる」といった、正式な食事というよりも看病の一部のようなものである。一方で、正式な食事風景については下巻の堀河朝回想部分で書かれている「いかなりし世に、「陪膳は、たそ」と問ひて、「それがし」と聞かせたまうては」(四四二)程度で、『枕草子』の例と同じように陪膳の場面を描きながらも直接天皇がものを食べる描写はない。よって、唯一といつていい食事風景は⑧の鳥羽天皇の「けくに」の部分のみとなるが、それも幼帝の幼さを強調するためのものと思われる。

このように、同じ「褻」に属するものであっても、排泄関係に比べて「貴人の食事」についてはタブーとしてのハードルは低かったのかもしれない。しかし、長子の中では「看病の一環」「堀河天皇の容態を語るうえで必要な要素」という認識であって、決して積極的にそれを破ろうとしているわけではなく、表に出している程度の「タブー」の解禁であったのだろう。これらも何かを語るためのきっかけ、手段に過ぎず、ここでもやはり彼女は「タブーを冒す」という点に積極的なわけではない。

五 政治をめぐる忖度

一方で、長子が忖度したのものもある。当時の政治をめぐる動向である。堀河天皇の御代は白河院による院政の黎明期といわれるが、白河院には

皇位継承者に足る親王は堀河天皇しかおらず、その堀河にも後継者は当時の東宮（鳥羽天皇）しかいなかった。一方で、白河院の異母弟輔仁親王への皇統移行を狙う勢力も残っており、堀河天皇の病状は政局を左右する大きな問題であった。前掲の上巻冒頭、六月二十日の条にある「こと重らせさせたまはざりしをり、御祈りをし、つひにありける御ことどもをもゆづりまゐらせらるる」なども、堀河天皇の譲位を示すものと言われている。

一般に、天皇の側近というと「蔵人」が浮かぶが、清涼殿内部では女房たちがその任にあたっていた。しかし、摂関クラスの最側近には出入りの制約はなかったようで、比較的自由に病床の間に出入りしている。病苦の中でもがきつつも、堀河天皇は自らの亡きあとの混乱を憂慮し、当時の関白右大臣藤原忠実、叔父にあたる内大臣源雅実などと呼び寄せてさまざまな指示を与え、父白河院への伝言を託していた。

「大臣はあるか」と問はせたまへば、大殿、入らせたまひて、さぶらひしよし申したまへば（中略）「参りて申せ。今は何ごとも益さぶらはじ。ただせさせたまふ、尊勝にて九段の護摩と懺法とのさぶらふべきなり。また、さぶらはんずらんことは、何事も今宵さぶらふべきぞ。明日明後日さぶらふべき心地しはべらず」（中略）大殿、帰り参らせたまひて、『されば。去年一昨年の御ことにも、さるさたにはさぶらひしかど、宮の御年のをさなくはしますによりて、今日までさぶらふにこそ』となんはべる」と奏せたるるにぞ、「何ごとも、ただ今宵定めはさぶらふべきにぞ」とおほせらるれば、さはこの御ことにこそありけれと、今ぞ心得る。（三九五）

明けぬれば、大臣殿参りたまひて、院の御使にてことどもありげなるけしきなれば、心なき心地しぬべければ、寝たり。何ごとか、こまやかに申させたまふ。御位ゆづりのことにやとぞ心得らるる。申しはてて、臥したる所にさし寄りて、「御かたはらに参らせたまへ」

といひかけて、立ちたまひぬ。

（四〇六）

これらの記述から、すでに数年前から堀河天皇は譲位を希望していたこと、それが東宮の年齢の問題から実現しないままの不本意な在位であったことなどがわかる。しかし、これらを見てみると、逆に言えば長子が触れたのは堀河天皇の「譲位」への執着のみであった。実際、白河院御所と堀河天皇御所の間で使者が頻繁に往来し、一時期は白河院が堀河院に近い「北の院」に渡ってきたという（注八）。しかし、白河院は最後まで病床の堀河天皇のもとを訪れることはなかった。一度の対面だけでもあれば、堀河天皇は憂慮するさまざまな問題や後事を託すことができただろうが、それもかなわない。繰り返し白河院側とコンタクトと取り続けたことからしても、懸案事項が「譲位」一択であったとは考えにくい。この作品の執筆当時、長子はすでに鳥羽天皇のもとに出仕していたと考えられる。堀河朝の典侍としての経験と、現役の鳥羽朝女房としての自覚と保身からか、堀河天皇危篤の状態の外で迎えていた政治の危機状況について、長子は内情を知りえた立場にありつつも垂れ流しのような暴露はしなかった。ここには「タブー」に関する長子のブレーキが作動していたのである。

同じように長子の配慮が見えるものとして、白河院の同母妹で堀河天皇の叔母にあたる、中宮篤子内親王との対面の場面が挙げられる。

参らせたまへば、昼つかたになるほどに、（中略）もし召すこともやと思へば、御障子のもとにさぶらふ。いかなることどもをか申せさせたまふらん。いかでかは知らん。しばしばかりありて、御扇打ち鳴らして召す、「それ取りて」とおぼせらるべきことありければ、召して、「なほ障子立ててよ」とおほせられる。（中略）

夕つかた、帰らせたまひぬれば、たれもたれも参りあひぬ。御けしき、うちつけにや、変はりてぞ見えさせたまふ。「今日しも、すこし夜の明けたる心地しておぼゆれ」とおほせらるる聞く心地のうれしさ、

何にかは似たる。

(四〇三)

「宮のぼらせたまひたり」と案内申せば、「いづら、いづこ」などおほせらるるは、むげに御耳も聞かせたまはぬにやと思ふに、心憂くおぼゆ。(中略)ものなど申させたまはんとぞおぼしめすらんと思へば、御あとかたにすべりおりぬ。ちがひて、長押のうへに宮のぼらせたまひ、しばしばかり何ごとにか申させたまふ。殿の御声にて、「ひさしくこそなりぬれ。御かゆなどはや参らせんや」とおほせらるるに、宮、聞かせたまひて、「今は、さは、帰りなん。明日の夜も」とおほせられて、帰らせたまひぬ。

(四一〇)

叔母であり十九歳年長の中宮篤子内親王は、堀河天皇にとって何よりも頼りになる人物だったのだろう。作品に書かれた二度にわたる対面は形式的なものではなく、数時間を要したようで、「今日しも、すこし夜の明けたる心地しておぼゆれ」という堀河天皇の安堵の表現からも、かなり込み入った会話がなされた様子が伝わってくる。

しかし、中宮との間で何が話されたのか、長子は一切を明らかにしていない。「聞こえなかった」という、物理的に不可能であったとして押し通している。これも、長子は「そのようなプライベートな場に立ち会えた自分」を書くことが主眼であったので内容まで漏らす必要がなかったことに加え、一種の中宮への義理立てであったのかもしれない。

それは前述の「讓位」言及の場面と比べてもわかる。前掲の大臣らとの会話場面では長子は添い臥しに近い形で控えており、会話が耳に入る距離にいた。だからこそ「讓位」限定ではあるものの堀河天皇や大臣たちの具体的な発言が書けたわけだが、中宮との一度目対面では長子は障子を隔ててはいたものの、扇を鳴らす音が聞こえる距離にいた。二度目はほぼ同座に近い形で、しかも堀河天皇は「むげに御耳も聞かせたまはぬにや」という状態で、当然、中宮もそれに配慮した音量で話したことになる。それで

も長子は「いかなることどもをか申せさせたまふ。いかでかは知らん」「しばしばかり何ごとにか申させたまふ」など、その内容を漏らすことはなかった。中宮との間で交わされたのは「讓位」などよりもプライベートな内容の可能性が高く、長子はそれを口外しなかった。ここでも「タブー」のフィルターが作用したのである。

六 後朝の描写

それでは『讃岐典侍日記』のもう一つの「タブー破り」の象徴と言われる、「後朝の描写」の場面についても見ていこう。

長子と堀河天皇が男女の関係あったというのはもはや定説だが、その直接的な根拠とされるのが、同衾をほめかすかのような次の記述である。

一年、かぎりのたびなりければにや、常より心に入れてもて興じて、参りの夜よりさわぎ歩かせたまひて、その夜、帳台の試などに夜ふけにしかば、つとめて、御朝寝の例よりもありしに、「雪降りたり」と聞かせたまうて、大殿ごもり起きて、皇后宮もそのをりにおはしまししかば、御かたがたに御文奉らせたまふとて、御前さぶらひしかば、日かげをもろともにつくりて、結びぬさせたまひたりしことなど、上の御局にて、昔思ひ出でられて、ものゆかしうもなき心地してまでなど。

(四六三)

雪の降りたるつとめて、まだ大殿ごもりたりしに、雪高く降りたるよし申すを聞こしめして、その夜御かたはらにさぶらひしかば、(中略)御前の立ちしは、せめてのわが心の見なしにや、かかやかしまきまでに見るに、わが寝きたれの姿、まばゆくおぼえしかば、「常よりもみめほしきつとめてかな」と申したりし、をかしげにおぼしめして、「いつもさぞ見ゆる」とおほせられて、

(四六四)

そのほかにも、皇后宮のもとから戻ってきた堀河天皇が、「とみに御手もふれさせたまはざりしものを」「すすめまゐらせしを」「今宵は明け方に何ごととせん。ねぶたし。寝なん」といった場面(四六八)などがあり、これらについてはかつて検証を加えた(注九)。堀河天皇と長子が男女の關係にあったことを否定するものではないが、長子が「典侍」である以上、宿直と同衾の關係性を「職掌」の内か外かと線引きすることは難しい。何をもつて「純粋な職務」「宿直」とするのか、そもそも「同衾」することは職務なのか自発的なものなのか。そしてそこに線引きする必要があるのかという問題もある。

例えば上巻の堀河天皇の病床の間での添ひ臥しについて、長子は、「何か。今たゆみたるぞ。今こころみん」とおほせられて、いみじう苦しげにおぼしたりければ、片時御かたはら離れまゐらせず、ただ、われ、乳母などのやうに添ひ臥しまゐらせて泣く(三九七)」と、天皇への添ひ臥しを乳母の添ひ寝に例えている。また、鳥羽天皇に出仕を開始した当初、「その夜も御かたはらにさぶらひたれば、いといはけなげに御衣がちにて臥せさせたまへる見るぞ、あはれなる。(四四一)」とも述べており、宿直は同衾と同義ではない。「御かたはらに臥したるも、かやうにてこそ、宮のぼらせたまはぬ夜などはさぶらひしかとおぼえて、あはれにのみぞ。(四五六)」という記述について、同衾を直接的に述べたものだといえる向きもあるが、そもそも、長子は前掲の中宮と堀河天皇の対面するときまで、中宮への目通りは許されておらず、中宮が参上している場に同席することはなかった。そう考えると、「宮のぼらせたまはぬ夜は」の表現にはそれほど深い意味はない可能性が高い。両者の同衾が日常的であればあるだけ純粋な宿直との線引きは不可能だが、これらの記述をすべてが「後朝」をほのめかす、長子の積極的なアピールとすることは早計であろう。

もちろん、これらが意図的な「ほのめかし」であった可能性は否定できない。ただ、そうだとでもかなり控えめな「ほのめかし」であって、後深草院二条が『とはずがたり』で書き綴った直接的な表現にはくらべようが

ないほどの上品さだ。もちろん、長子と二条とは、そもそも相手が在位中の天皇か上皇かという違いがある。長子が作品執筆時に現役の女官であった一方、二条はすでに御所から退いたしがらみのない立場であった。このことが、二条のあの「赤裸々さ」の大きな要因となったと考えられるが、それを差し引いても二条の「タブー」に対する垣根の低さは突出している。前掲の描写が本当に「後朝」を示すものであったとしても、それは本作品の執筆動機の一つである、「堀河天皇の寵愛の深さ」を描くためのものであり、それが「ほのめかし」程度に抑えられているという点からも長子の常識人としての感覚が伝わってくる。

七 内侍司女官と「穢れ」

最後に、今後の課題として「内侍司女官」と「穢れ」の關係性についても言及しておく。

現代社会でも今なお「タブー視」されている女性の月経は、内侍司女官として内侍所を預かり、神事を取り仕切る典侍や掌侍たち「女房」にとつて、職務遂行上の大きな障害であったと考えられる。神事にとつて血による穢れは最大の禁忌であり、その期間、宮中行事はもとより、天皇の御前に出ることすら禁じられた可能性は高い。しかし、当然のことながらそれらを明確に説明したものではなく、どのような規定でどのような対応をしたのかは不明で、本作品でもそれをほのめかす程度の記述すらない。

まず神事についてであるが、「月の穢れ」中の奉仕はほぼありえないと考えるのが一般的であろう。しかし、神事に奉仕することになっていた女官が、突発的に月経が起きることも考えられる。そのような場合どのように対応していたのだろうか。同様に、天皇の日常生活への奉仕についてはどうなのか。どちらにしろ、月の穢れの期間中は出仕停止になった場合、それを見越して出仕人数を確保する必要がある。作品の冒頭に「上臈たち、さはりありてさぶらはれず。あるは子うみ、あるは母の暇、いま一人は、と

くよりもこもりみて、この二、三年参られず（三九三）」とあるように、そもそも堀河朝では天皇に直接奉仕ができる上臈女房は十分でなかった。そこに「穢れ」の問題が加われば、出仕者のやりくりは相当困難だったと推察される。考えられるのは、簡易的な「祓」や形代など、何かしら超法規的措置とでもいべき逃げ道があつて、月経中も出仕が可能になっていたのかもしれないが、長子はもちろん、後続の『弁内侍日記』『中務内侍日記』などにも、わずかなヒントすら残されていない。内侍司女官の実態を解明するのには、このような点の検証も待たれる。

そこで現時点で可能な範囲で検討を試みる。女房の出仕サイクルは、常に出仕状態を続けている「定番」の女房と、一か月交代、月単位で入れ替わる「番」、そして何か大きな行事などで人手不足の場合に臨時的に招集される者などがいたらしい。長子の出仕形態は堀河朝では「定番」、鳥羽朝では「番」に変化したと考えられるが（注一〇）、そもそも「番」の場合は月単位の入れ替えであつて、基本的に当該月の一日からつごもりまでの一か月間であつた。その間、厳密に「月の穢れ」による出仕停止期間があつたとすると、実質一か月のうち御前への出仕可能なのは三週間程度となる。穢れによる出仕停止を厳密に守っていたとしたら、その間は宮中にいながらも局にとどまるなどの措置をしていたと考えられる。御所の円滑な運営の最大の障害はこの種の「穢れ」だと言つても過言ではないだろう。

天皇の臨終や遺体の変化、死穢を浴び続ける自分や同衾のほめかしなどをした長子であっても、この「月経による穢れ」は乗り越えることのできないタブーであつたのか、本文中では「ほめかし」程度の言及もない。わずかにその可能性があるものの一つとして挙げられるのが、長子の姉、藤三位の記述である。

藤三位は「ぬるみ心地わづらひて（三九三）」という状態にあつたが、堀河天皇重態の報を聞き、いてもたつてもいられずに体調を押して参内する。

かかるほどに、三位のもとより、むげに重くおはしますよし聞きて、

女房おこせて、こまかのこと聞きになりけり、「いませたまふとも、参りて、局ながらも聞きまゐらせん。よそにてしからせたまふ。のぼらせたまへ」といへば、やがて具して参りぬ。（四一三）

御前に参上できなくてもせめて局にいたいという涙ぐましい行動だが、藤三位は堀河天皇が危篤になつても局にとどまつており、結果的に御前に参上できたのは崩御後になつてしまった。この点については別稿で論じているが（注一一）、藤三位が参内して局まで来ていながら、崩御まで御前に行くことがかなわなつた「ぬるみ心地わづらひて」とは何なのか。月経による穢れとも考えられなくはないが、当時の藤三位の年齢からして安易に「月経による穢れ」としてよいものかは疑問の余地がある。ここではあくまで一つの可能性として取り上げた。

もう一つは、鳥羽朝の大嘗会に関する不自然な記述が挙げられる。

とまりてなど思ふほどに、「院より、『清暑堂の御神楽には、典侍二人さきざきも参る』とおほせられたるに、一人ぞ弁の典侍参る、いま一人は参らせたまひなんや」と、殿のおほせらるれば、その出で立ちにことつけて出でなんと思ひて、「むかへに人おこせよ」といはせたれば、暮るるままにおこせたり。（四六七）

この記述を信じれば、長子が清暑堂の御神楽に指名されたのは実施日の前日ということになる。大嘗会の神楽という重要な神事について、あらかじめ奉仕者が決定していない、前日の指名ということがあるのだろうか。神事という点からすれば、予定されていた他の女房が月経などの穢れによって奉仕が不可能になったための急な代役だったとも考えられる。

平安時代の感覚でいえば、公然と口にできるか否かという点では、「月経の穢れ」は「死穢」以上のタブーであつたかもしれない。タブーであるからこそ記録に残されることはなく、それが解明を妨げているのは事実だが、

女性と穢れの問題は文学研究にとっても今後解決すべき大きな問題である。

八 おわりに

『讃岐典侍日記』は、作者と堀河天皇の関係や舞台が院政の萌芽期に当たることなど、他作品にはない特性を有することから、その内容も他の女房日記にはない突出した特異性を持つている。それらを断片的に切り取り、羅列してしまえば確かにセンセーショナルな要素が散見され、それらがあたかも本作品の特性であるかのように語られてしまう。その誤った認識は、それが「平安時代」の雅やかなイメージから大きく離れているためにさらに強調され、ひいてはそれが「タブー」を破る「タブー」をタブーと感じない」作者の人格によるものだと結論づけられてしまうのである。しかし、これらの見かけ上の「奔放さ」はあくまで真に主張したいことの副産物、傍証としての破天荒さであって、作者が意図したものである、作者の「タブー」に対するハードルの低さ」を表すものではない。

作者藤原長子が主張する「堀河天皇からの別格の寵愛」「それを配慮した周囲からの扱い」は、清涼殿内部の中で限定的に与えられた、「典侍として」最大限の厚遇であった。そのことに長子自身がどの程度自覚していたのかは不明だが、鳥羽朝に出仕したのちも、彼女は前朝で与えられていた特権と待遇に執着し、その復権を願う。本作品の執筆の主眼は、堀河朝における自己の突出した優位性を主張するものにあつたが、それらを強調するための描写が、結果的にそれまでの平安文学作品には見られない「タブーへの踏み込み」として表れてしまっているだけであり、長子自身は「タブー」に対してごく一般的な感覚の持ち主にすぎなかったのである。

注一 『新編 日本古典文学全集 和泉式部日記 紫式部日記 讃岐典侍日記』（小学館 一九九四年九月）。以下、『讃岐典侍日記』の引用はすべて同書に拠り、末尾に頁を付した。

注二 拙稿『「讃岐典侍日記」——「隠される典侍」と「さらされる典侍」——』（『中央大学大学院研究年報 文学研究科編』第二八号 一九九八年三月）

注三 卷末（四七八）に「三かどの条件」として述べられている。ここにその条件に合致する人物として挙げられた「常陸殿」が堀河天皇の臨終に立ち会った記述は本作にはない。

注四 拙稿『「讃岐典侍日記」——「内侍司女官」から見た天皇の崩御と即位——』（『中央大学國文』第六二号 二〇一九年三月）

拙稿『「讃岐典侍日記」——非描出事項の考察——』（『洗足論叢』第三九号 二〇一一年三月）

注五 「桶殿」の設置場所や定義については、

寺田綾「ハ研究ノート」日本古代の排泄観念と樋洗童に関する一考察」（『白百合女子大学児童文化研究センター研究論文集』白百合女子大学児童文化研究センター 二〇一一年一月）にまとめられている。

注六 崩御『「讃岐典侍日記」——堀河天皇崩御前夜——』（『洗足論叢』第三六号 二〇〇八年三月）

注七 『新編 日本古典文学全集 枕草子』（小学館 二〇〇七年八月）に拠る。

注八 日の暮るるままに、絶へがたげにおぼしめしたれば、院にかくと案内申さず。「おろどかせたまひて、近くて御有様聞かんとて、にはかに北の院に御幸ありて」と奏す。（三九四）

「北の院」とは白河天皇皇女令子内親王御所。当時里内裏が置かれていた堀河院の北隣に位置した。

注九 拙稿『「讃岐典侍日記」——「すすめまらせし」もの——』（『洗足論叢』第三五号 二〇〇七年三月）

注一〇 注一〇 拙稿「御前ゆるされたる人々」の文学——「女房」の定義」（『中央大学國文』第五八号 二〇一五年三月）

注一一 注四に同じ

The Dairy of Sanuki-no-Suke
—The criteria for judging what is taboo—

Tamaki Ota

This book is about the death of emperor Horikawa(1079-1107). Since "the death of the emperor" is something that ordinary people cannot know, many people pay attention to it. As a result, the feature of this book is defined as ``writing the death of the emperor". And the author who wrote it is recognized as "a person who ignores taboos."

There were various taboos in the Heian period, and people paid close attention to them. Various taboos are also mentioned in this work. Therefore, if we look at them in detail, we recognize the author was a person of common sense.

This paper considers the author's motives for writing this work and why the taboo had to be broken.

群馬高専レビュー要項

(平成20年7月15日改訂)

1. 名称について

本誌の名称を、群馬高専レビュー (THE GUNMA-KOSEN REVIEW) と定める (通称「レビュー」と言う)。
「レビュー」の発行は、年1回年度末までに行う。

2. 編集発行事務について

「レビュー」の編集発行は、教育研究委員会がこれを行う。
教育研究委員会には、常任編集委員若干名をおき、教育研究委員会委員長がこれを総括する。
事務は、総務課総務係においてこれを処理する。

3. 内容と目的について

「レビュー」は、高専教育の向上と本校教職員の研究成果を公表することを主目的とし、オリジナリティーのある未発表の論文を原則とする。

4. 投稿資格について

投稿者は、原則として本校の専任教職員に限る。ただし、共同発表に関しては本校の専任教職員が代表者である場合に限り、外部の研究・教育及びそれに相当する機関に所属する者についてのみ許される。

また、論文の投稿者名は、事前に提出する申込書に記された投稿者と同一であることとする。

5. 体裁について

(1) 印刷上の体裁

A4判、本文10ptフォント、ヨコ2段組とする。なお、特別のタテ書き原稿はタテ2段組とする。

(2) 掲載順について

論文は、理工系・人文系に大別し、その掲載は受理日の順とする。ただし関連論文はなるべくまとめる。

(3) 体裁の統一について

執筆要領の詳細は別に定めるが、論文提出について、体裁の統一上必要な修正を編集委員から依頼することがある。

6. その他

(1) 原稿の執筆・投稿・受理に関しては、別に定める「群馬高専レビュー執筆・投稿要領」による。

(2) 別刷の作成は、原則として、自己の研究費負担とする。

群馬高専レビュー執筆・投稿要領

群馬 太郎* 高専 花子**

(2008年11月28日受理)

1. 原稿形式について

A4判の白上質紙を用い、和文ヨコ書き・和文タテ書き・欧文原稿のすべてにおいて、タイトルページは2つの部分で構成されます。

タイトル部分：1段組（題目、著者、受理年月日）

本文部分：2段組

1. 1 タイトル部分のレイアウトとフォント

全てのページのマージンはこのサンプルのように上辺25mm, 下辺30 mm, 左右ともに14mmに設定して下さい。

そして、以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

タイトル：ゴシック体20pt フォント、センタリング
(約10 mm のスペース)

著者名：明朝体14pt フォント、センタリング
(約5 mm のスペース)

受理年月日：明朝体12pt フォント、センタリング

著者と所属（フッタ）とは*印で対応づけて下さい。

1. 2 本文部分のレイアウトとフォント

本文と受理年月日の間に約10 mm のスペースを設けて下さい。

本文は2段組で、左右のマージンは14mm ずつ、段と段との間のスペースは約6mm とします。

和文ヨコ書き：25文字×48行程度

和文タテ書き：35文字×33行程度

欧文原稿：25文字×48行程度

本文には明朝体10pt フォントを用いて下さい。

1. 3 フッタ

著者に対応する所属を記入して下さい。なお、群馬高専に所属している場合には、学科名のみ記入して下さい。

1. 4 原稿枚数について

原稿枚数は、12ページ以内として下さい。

2. 見出し（見出しが1行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返す）

2. 1 見出しのレベル

見出しのレベルは章、節の2段階までとします。章の見出しはゴシック体とし、2. などの数字に続けて書きます。また、見出しの上下に1行程度のスペースを設けて下さい。ただしページや段が切り替わる部分は章の見出しが最上部に来るよう調整して下さい。

2. 2 節の見出し

節の見出しもゴシック体で、2. 1 などの数字に続けて書きます。見出しの上だけに1行程度のスペースを空けて下さい。

表-1 表のキャプションは表の上に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

資料番号	高さ h (m)	幅 w (m)
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65

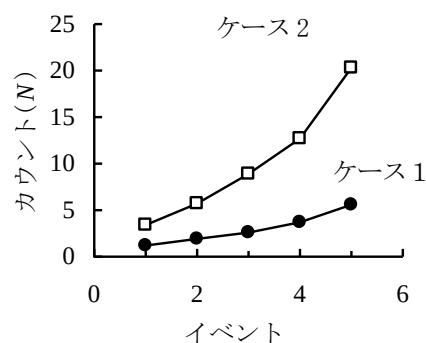


図-2 図のキャプションは図の下に置く

3. 図表および注

3. 1 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。図表の横幅は、「2段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表-1 や図-2 のように「1段の幅いっぱい」のいずれかとします。

3. 2 図表中の文字およびキャプション

図表のキャプションは、図の場合は下方に図-1、図-2のごとく、表の場合は、表の上方に表-1、表-2のごとく付記して下さい。欧文原稿の場合は、Fig. 1やTable 1として下さい。長いキャプションは表-1 のようにインデントして折り返します。

3. 3 注

注は脚注・章末注の2本だてとして下さい。引用文献の注記やその他くわしい注記は章末注にまとめ、脚注は最小限にとどめることとします。脚注番号は、*印で*、**のごとく、章末記号は、片バーレーンで1)、2)のごとく記して下さい。

4. 最終ページおよび英文要旨

原稿が和文の場合、または英語以外の外国語で書かれた場合には、英文による論文題目、著者名及び400語程度の論文要旨が必要となります。

最終ページに、英文のタイトル、著者名および要旨を横1段組で書きます。タイトルは、Times New RomanのBold(太字)で20pt、著者名は、Times New Romanで14pt、要旨は、Times New Romanで10ptとします。

なお、和文タテ書きの場合は、英語要旨は別ページにして下さい。

5. 原稿の提出・受理について

投稿希望者は、「群馬高専レビュー投稿申込書」を担当者に提出して下さい。

原稿は、締切日までに担当者に提出して下さい。原稿締切日を以て論文受理日付とします。その際、本論文にコピー1部を添付すると共に、電子ファイルを担当者に送付して下さい。

申込書や原稿が期日に遅れた場合は、受理されないことがあります。また、原稿締切日以降の原稿内容の変更は認めません。

6. 著作権

「群馬高専レビュー」に掲載された論文の著作権*のうち、複製権および公衆送信権は、群馬工業高等専門学校に帰属するものとします。

なお、営利を目的とせず、著作者自身が論文の複製および公衆送信を行う場合、群馬工業高等専門学校は、著作者からの申し出がなくてもこれを許諾します。その際、著作者は、出典(誌名・巻号・ページ・掲載年)を明記することとします。

*著作権法第21条から第28条に規定する権利

参考文献

- 1) 群馬太郎, 高専花子: 高等教育の展望, 教育研究センター, 第40巻, pp.40-46, 2006.
- 2) 日本研究協会: 高等教育・研究機関における最先端研究戦略, 工学部門編, pp.110-120, 2007.
- 3) Gunma, T. and Kousen, H.: A Study on the Evolution of Education and Research in the National College of Technology, Journal of Education Research Center, pp.110-120, 2007.

Print Sample for Japanese Manuscript for the GUNMA-KOUSEN REVIEW

Taro GUNMA and Hanako KOUSEN

The present paper has been made as a print sample of the Japanese manuscripts for the GUNMA-KOUSEN REVIEW. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts.

This English ABSTRACT has narrower width than the main text by 10 mm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font used here is Times-Roman 10pt. The length should be within 7 lines. It is preceded by the title and the authors; both are centered and the font size is 12pt.

群馬高専レビュー執筆・投稿要領（タテ書き）

群馬 太郎* 高専 花子**

（二〇〇八年一月二八日受理）

一、原稿形式について

A4判の白上質紙を使用してください。

全てのページのマージンはこのサンプルのように上辺25ミリ、下辺30ミリ、左右ともに14ミリ、に設定して下さい。

一、一 タイトル部分のレイアウトとフォント

タイトル部分は一段組にして下さい。

以下次の順にタイトル部分の構成要素を書いて下さい。

タイトル：ゴシック体 20ポイントフォント、センタリング

（約10ミリのスペース）

著者名：明朝体 14ポイントフォント、センタリング

（約5ミリのスペース）

受理年月日：明朝体 12ポイントフォント、センタリング

著者と所属（テキストボックス内）とは*印で対応づけて下さい。

一、二 本文部分のレイアウトとフォント

本文部分は二段組にして下さい。

本文と受理年月日の間に約10ミリのスペースを設けて下さい。

本文は二段組で、左右のマージンは14ミリずつ、段と段との間のスペースは約6ミリとします。

和文ヨコ書き：二五文字×四八行程度

和文タテ書き：三五文字×三三行程度

欧文原稿 二五文字×四八行程度

本文には明朝体10ポイントフォントを用いて下さい。

一、三 テキストボックス内

著者に対応する所属を記入して下さい。なお、群馬高専に所属している場合には、学科名のみを記入して下さい。

一、四 原稿枚数について

原稿枚数は、一二ページ以内として下さい。

二、見出し（見出しが一行以上に長くなるときはこの例のようにインデントし折り返す）

二、一 見出しのレベル

見出しのレベルは章、節の二段階までとします。章の見出しはゴシック体とし、二、などの数字に続けて書きます。また、見出しの左右に一行程度のスペースを設けて下さい。ただしページや段が切り替わる部分は章の見出しが最右部に来るよう調整して下さい。

二、二 節の見出し

節の見出しもゴシック体で、「二、一」などの数字に続けて書きます。見出しの右だけに一行程度のスペースを空けて下さい。

三、図表および注

三、一 図表の位置

図表はそれらを最初に引用する文章と同じページに置くことを原則とします。図表の横幅は、「二段ぶち抜き」あるいはこのサンプルの表や図のように「一段の幅いっぱい」のいずれかとします。

三、二 図表中の文字およびキャプション

表及び図のキャプションは、左におき、長くなる場合はインデントして折り返してください。

三、三 注

注は脚注・章末注の二本だてとして下さい。引用文献の注記やその他くわしい注記は論文本文の最後にまとめ、章末注にまとめ、脚注は最小限にとどめることとします。脚注番号は、*印で*、**のごとく、章末記号は(一)、(二)のごとく記して下さい。

資料番号	高さ h (m)	幅 w (m)
1	1.45	0.25
2	1.75	0.40
3	1.90	0.65
4	1.45	0.25
5	1.75	0.40
6	1.90	0.65
7	1.45	0.25
8	1.75	0.40
9	1.90	0.65
10	1.45	0.25
11	1.75	0.40
12	1.90	0.65
13	1.45	0.25
14	1.75	0.40
15	1.90	0.65
16	1.90	0.65

表1

表および図のキャプションは表の左に置く。このように長いときはインデントして折り返す。

四、最終ページおよび英文要旨

原稿が和文の場合、または英語以外の外国語で書かれた場合には、英文による論文題目、著者名及び四百語程度の論文要旨が必要となります。

別ページに、英文のタイトル、著者名および要旨を横一段組で書きます。

タイトルは、Times New RomanのBold(太字)で20ポイント、著者名は、Times New Romanで14ポイント、要旨は、Times New Romanで10ポイントとします。

五、原稿の提出・受理について

投稿希望者は、「群馬高専レビュー投稿申込書」を担当者に提出して下さい。

さい。

原稿は、締切日までに担当者に提出して下さい。提出日を以て論文受理日付とします。その際、本論文にコピー一部を添付すると共に、電子ファイルを担当者に送付してください。

申込書や原稿が期日に遅れた場合、投稿要領に著しく反している場合は受理されないことがあります。また、原稿締切日以降の原稿内容の変更は認めません。

六、著作権

「群馬高専レビュー」に掲載された論文の著作権*のうち、複製権及び公衆送信権は、群馬工業高等専門学校に帰属するものとします。

なお、営利を目的とせず、著作者自身が論文の複製および公衆送信を行う場合、群馬工業高等専門学校は、著作者からの申し出がなくてもこれを許諾します。その際、著作者は、出典（誌名・巻号・ページ・掲載年）を明記することとします。

* 著作権法第二一条から第二八条に規定する権利

参考文献

- (一) 群馬太郎、高専花子：高等教育の展望、教育研究センター、第四〇巻、四〇頁—四六頁、二〇〇六
- (二) 日本研究協会：高等教育・研究機関における最先端研究戦略、工学部門編、一一〇頁—一二〇頁、二〇〇七

Print Sample for Japanese Manuscript for the GUNMA-KOUSEN REVIEW

Taro GUNMA and Hanako KOUSEN

The present paper has been made as a print sample of the Japanese manuscripts for the GUNMA-KOUSEN REVIEW. Its text describes instructions to prepare the manuscripts: the layout; the font styles and sizes; and others. If you replace the text or the figures of the present file by your own ones, using CUT & PASTE procedures, you can easily make your own manuscripts.

This English ABSTRACT has narrower width than the main text by 10 mm from the left and the right margins of the main text, respectively. Font used here is Times-Roman 10pt. The length should be within 7 lines. It is preceded by the title and the authors; both are centered and the font size is 12p.

編集委員

委員長	堀尾	明宏
委員	矢口	久雄
〃	太田	たまき
〃	宮越	俊一
〃	五十嵐	睦夫
〃	渡邊	俊哉
〃	大和田	恭子
〃	井上	和真

群馬高専レビュー

第 41 号(2022)

発 行	令和 5 年 3 月 1 日
編 集 者	群馬工業高等専門学校教育研究委員会
発 行 者	群馬工業高等専門学校
	群馬県前橋市鳥羽町 580
	電話 (027) 254-9000(代)
